滿洲日報
夕刊　十月十八日
發行所　株式會社滿洲日報社　大連市東公園町一番地

樞密院の廢止により二院制度確立を期す
來議會にて烽火を揚ぐべく 革新、無產各派が準備

【東京特電十八日發】ロンドン軍縮條約に關する政府、樞府の對立を機會として政界各方面において樞府の機能に對し漸く注目し樞府改革或は樞府廢止の議論すら行はれたがロンドン條約通過後はこれらの運動も下火となり更に過日樞府內部より起つた

樞府改革 案の聲も漸く靜まらむとしてゐる、けれど來るべき議會において樞府、政府の對立の記憶新たなるを利し、樞府の職能に關し必ず一問題持ち上るものと觀られ殊に革新黨方面でもその意嚮を洩らし更に無產各黨においても議會における樞府改革或は廢止の運動に合流せむとしてゐる、就中社民黨では早くも

一、貴族院權限縮小
二、樞密院廢止

の二項目を掲げ議會に臨み輿論喚起の目的で院內に贊成者を募り衆議院として右

二項に關 し意思表示を爲すべく提案せむとしてゐるがその理由とする處は

合法的手段をもつて社會の改革を期せんがためには先づ立憲政治における封建的殘存物を精算し純粹の立憲政治を確立しなければならぬ、わが國における封建的殘存物の尤たるものは樞密院であり、これがためわが國の政治は二院制度といふも、その實は三院制度なるかの觀がある、よつて樞府を廢し、或はこれを儀禮的存在たらしむるに止め更に貴族院の權限を極度に縮小すべきである

といふにあり、右運動の實行方法は目下赤松書記長において講究中で腹案の成り次第片山、西尾兩代議士と協議の上院內における運動方法を正式に決定する筈

民政黨の新政策
社會政策委員會主張

【東京十八日發電通】豫算編成に當り民政黨は至急政務調査特別委員會の議を纏めこれを政府に進言することになつてゐるが、社會政策委員會にて大體一致せる主張は左の如くである

一、勞働組合法案は二、三の修正を以て內務省社會局原案を承認し是非來議會に提案せしむ
一、小作法制定はこの際小作人保護のため必要なるを以て農林省を督勵し來議會に提案せしむ
一、救護法の實施費は削除さるべきことなきやう政府に要望し是非來年度より實施を期す
一、國家事業を以て失業者救濟に當るべく道路河川港灣等の事業は打切繰延をなさず繼續し經費なければ失業公債を起して徹底的に行ふ
一、刻下の急務たる米價調節のため米價の最低値段最高値段を法律を以て定むる必要がある

大體以上の如く更に廿二日農林省より小作法案を聽取の豫定である

支那の國定稅率 明年一月から實施
わが貿易は打擊なし

【東京特電十八日發】確なる筋に達した情報によれば國民政府ではこの十月一日より實施する筈であつた釐金廢止が實際上南北戰その他の關係に制せられて實行不可能であつたゝめ一先づ自然的に

延期の外 なかつたが最近問題の時局は中央に有利に解決し國民政府の實勢力範圍も相當擴大され一般狀勢は漸く安定を告ぐるに至つたので、愈々內部的建設に邁進すべく先づその財政建て直しのため第一に關稅自主の實行を期して國定稅率の制定實施をなすこと〻なつたがこれには何れも釐金廢絕の條件が各國との間に附せられてゐるので、釐金廢止期限の決定をなすことになり先般來各地方省政府などにそれ〴〵これが準備方を命じつゝあつたがその結果、明春一月一日より釐金廢絕を斷行することに決定した從つてそれと同時に支那

國定稅率 の制定發布を見るはずで、目下國民政府財政部では着々これが準備を進めてゐる而してその成否は兎も角として假にそれが實施さるゝものとして右の結果によるわが國への影響は大體において過般の關稅協定中實際上互惠稅率に等しい部分が含まれてゐるので對支重要貿易品はさして重大な打擊を受るやうなことはあるまいと觀られてゐる

重要機關首腦は張氏の直系のみ
于、王兩氏等の不平

【北京特電十八日發】于學忠、王樹常氏等は重要機關に張學銘、鮑毓麟氏等張學良氏直系のみを配置したのでこれを不平となりさて憤慨してゐる

宋財政部長

【南京特電十八日發】宋子文氏は東北省の金融整理のため近く奉天に赴く由、東北軍出兵軍費の用務を帶びるは勿論であると

石軍、南軍に壓迫さる

【北京特電十八日發】馮玉祥氏の軍隊は山西に入らんとしたが糧食の供給不足にて收容の餘地なく石家莊を經て河南省內に入らんとしてゐる、張學良氏が閻軍を收容するか或は繳滅するか戰後の處置として注目されてゐる、なほ石友三軍は臙臟を黃色に代へ東北軍に加入したが、南軍に壓迫され閻軍と共に河北省に割込むものと見られる、閻、馮、汪三氏は目下太原に在る

山西軍は愈よ太原に退く
西北軍は潼關方面へ

【北京特電十八日發】閻、汪、馮氏らの石家莊會議は石家莊を明渡して太原に退くことを決定し閻馮兩軍は目下續々山西へ向ひつゝあり、一方反蔣派寢返り軍の吉鴻昌、張印相、梁冠英、張占魁等は目下何應欽氏の手で改編されてゐるが馮玉祥氏と共に河を渡つて北に撤退した部隊は直系軍隊約五萬、また宋哲元氏と共に潼關方面へ退いた西北軍は約三萬である、蔣介石氏は目下顧祝同、上官雲相氏をして追擊せしめてゐる

何鍵氏は結局下野せん

【南京特電十八日發】湖南の鄒建緒氏は第十五、第十六、第十九軍を統一指揮すべく命令され何鍵氏は專ら政治を擔任することになつたが鄒何兩氏の暗鬪甚だしく結局何氏は下野して湖南の時局も一段落を告げるであらうと見られてゐる

山西全軍 石家莊撤退

【北京十七日發電通】石家莊來電によれば、山西軍は今朝一部の治安維持部隊を留めて全軍石家莊を撤退した、山西軍後方司令李服膺氏は于學忠氏に對し奉天軍の石家莊接受方を打電した、なほ閻錫山氏の專用列車は奉天軍に抑留された、平漢線上の山西軍はこれを以て全く解決された

外交團改稱 今後は「國交團」

南京政府では嚢て外交團の名義を承認せざる旨聲明したが去る十月十日の双十節の祝日より國交團の新名義を使用することになつた(南京特信)

走馬燈
知坊生

天惠の利用者と逆用者 (一)

世に天惠といふ事がある、善男善女の佛神に欣求する者に、佛恩があり、神佑がある。何れも名を異にして、而も實を同じうする人間界の慾望だが、この頃の世態を通觀すると、さうした天惠も餘り有難がられてゐない

◇

第一は例の米の豐作だ、好景氣時代には米價が暴騰し、その結果米騷動が勃發したりしたが、本年度はその米が豐穰で、且つ價格も頗る低廉であつて、消費者側よりも、生產者の方が騷ぎ出した、食料の補給を唯一の國策のやうに絕叫してゐた者も、かうした餘剩を如何に處分すべきかに當惑してゐる、六七百萬石を他國にダンピングしても、米價下落に因る生活苦、市場の不況を救濟せねばならぬと考へてゐる、甚だしいのは三億圓で千五百萬石の米を買上げ、それを海外に棄賣しても米價を維持せよなど痛論してゐる、實に天下の奇觀だ、これでは天惠が天罰にならぬ、神佛も慈悲心を垂れた甲斐なく、アダム、イブの子孫等が、餘り氣儘になつたのに一驚を喫してゐるだらう。

◇

又最近關東州に西部日本水產大會が開かれた、種々專門的論議が闘はされるだらうが、州內近時の懸案に、漁撈物の多獲と、その販路擴張策とがある、數年前まで兎角不振を喞つた水產物は、近來俄にその漁獲高を激增し、生產者は魚價の低落に惱まされた、それが種々な方法によつて價格の維持を試みられ、生產者と消費者とは、その餘弊に苦められてゐる、換言すれば土地の住民は高價な品物で需要をみたし、生產物の大部は、低廉に奧地へ、若しくは南支へ賣捌かれねばならぬ事になる、此處にも或る意味での天惠逆用がある。

◇

これは屢々生產と配給との間に起る自然の必至的現象ではあるが、時と處によつては、利害そのものが全く反對の原則に支配される、この點事業家の活眼を開かねばならぬ所だが、しかもそれは本問題の主旨でなく、寧ろ私はかうした諸現象に對處するための、平素の準備が出來てゐない事を遺憾とする、米の外國輸出が一般に肯定され、その販路亦決して困難でないとされてゐるやうだが、さうした人々の胸の中には、南部歐洲は半米食國である、而も品質においては日本米は良好だ、良品を安價に賣るのは至極容易であらねばならぬといつた、觀察がないでもない、勿論南歐は米の需要國である、南米においても、コロンビヤ、ペルーの如きは從來支那米を輸入してゐる、更に米の國ヒリッピンさへ、年々シヤム米によつてその缺乏を補ふてゐる。」

◇

しかしさうした國々への貿易關係は急には開けない、且日本人の良適と考へてゐる米種は、必ずしも土產物に馴らされた味覺に、好適する良品だと速斷されぬ、水產物の大陸各地へ販路擴張せんとするについても、無論有望であり且つ必要な商策であるが、しかし其處には多年の準備が要る、私はわが國人が、思想的にも、產業的にも、有國傳來の習俗や、嗜好のみを中心として、極端に特性の維持に力めた結果、事の國際化されねばならぬ時に當り、驚くべき損失を、餘り豐でない中から敢てしつゝあることを惜みとする、天惠のない時にも、同じ天惠の有り過ぎた時にも、同じやうな狼狽振を示されねばならぬ處に、國人平素の氣分が廣くなるに反し、益々國土の狹隘を痛感せねばならぬ島國事情がある

故久邇元帥宮尊牌開眼法要

久邇宮大妃殿下同朝融王妃殿下には今回神奈川縣鶴見總持寺に御建立された故元帥宮尊牌開眼法要のため十四日午前十一時半同寺にお成り秋野管主大導師として勤修開眼法要が行はれた、寫眞前より大妃殿下、朝融王妃殿下(總持寺にて謹寫)

わが條約御批准書 紐育出帆レ號に積込み

【ニューヨーク十七日發電通】ヴァンクーバー、ニューヨーク間列車で百五時間を要する處を三十七時間二十二分で空輸された日本のロンドン條約御批准書は十六日アメリカ外務當局の手に移され十七日ニューヨーク港碇泊のレビアザン號に積み込まれた、レ號は十八日出帆、二十四日サザンプトン入港直にロンドンに送られる筈で旣報の如く同艦でジュネーヴに赴くアメリカ外務省西歐局次長ピエル、デ、ボール氏が託送の任を承つてゐる

安全瓣を失つた南京政府の內部
今後は奉天派調伏に一苦勞 一戰去つて一難來る

▼…鄭州陷落で戰局は先づ一段落を告げた、過般の奉軍入關がこの時期を早めたことはいふ迄もない、南京側が奉天の出兵を熱望しその出兵により戰局を縮めて南京政府の財政及び軍事上の負擔を少からず輕からしめた、これだけの點では南京の奉天に對する感謝は非常なものであるべき筈だが事實はさうでない、出兵の遲延や出兵の際の行動に關して中央軍側には相當の不滿があるやうだ

▼…蔣介石左右の一有力者は戰地で或人に「この際奉軍の行動は默認する」と語つたと、この默認の一語は無關心に聞き流せない言葉である、それは兎もあれ閻、馮兩氏の部下が如何に改編せられ何處に配置されるにせよ奉軍が入關した以上中央軍と直接相接する事となり蔣氏より閻氏へ閻氏より張氏への嫌惡は愈々著に認められて來る譯である、卽ち

▼…利害を異にする蔣、張兩氏が長く圓滿な握手を續け得ると誰も想像しないであらう、但し雙方とも性急に武を用ゐて勝敗を決する程の猪武者ではない、一方は國民黨の施政プログラムを表看板として東北當領袖連の地位を覆へすべく行進するであらうし他方では總ゆる反蔣勢力を近づけて對抗策を講ずるであらう滅多に見られぬ相撲は愈々これからだ

▼…行政院長譚延闓氏の死は一般的に左程重大視されぬが南京政府の或大官は現政府の一大損失だと嘆息し彼を鐵と鐵との間のゴムと評した、このゴムが無くなつたため鐵と鐵とが直接に擦れ合ふて火花を散らす可能性が多くなつた、幾つかの鐵をなして擦り合はしむるやう失意の政客が百方挑發すべきは火を睹るよりも明らかである、內に鐵の寄合世帶、外に奉天その他の危險が存在する、一戰去つて一難來る支那の時局は依然として安定から程遠い(南京特信)

滿鐵の新定員
各箇所を何れも減員 しかし淘汰はやらぬ

滿鐵では曩に職制を改正して各箇所の人員に異動があつたので暫行定員を定めて業務を遂行してゐるがもとより一時的のもので早晩改正されねばならぬので近く定員

審查委員 會を招集し新定員の查定に着手するが各箇所について代表者を出し夫々の業務を調査するので相當時日を要すべく本年度中には實施の運びには至るまいと觀られてゐる、因に新定員は經費節約のため極力各箇所の定員を減らすものと觀られてゐるがそれら減員は自然減員に待つこと〻し特にこの際淘汰する如きことは止めて退職希望者に對しては長期間勤續者と同樣の

恩典を與 へ退職したくても手當の關係上退職出來なかつた從來の矛盾を排除すること〻なつたから新定員制實施までには退職希望者は相當多數に上るだらうと觀測され、且つ本年度の新採用は技術方面その他止むを得ない方面の外は極力採用人員を減らしてゐると

製鋼所問題と武富參與官意見
有志招待會における

田中大連市長並に市會議員有志、商工會議所正副會頭、篠崎書記長等が十六日正午滿月に目下滯連中の武富拓務參與官一行を招待し懇談を張つた事は旣報の通りであるが、その席上昭和製鋼所問題に言及し

齋藤總督は朝鮮人の失業者救濟の意味から新義州設置を力說してゐるも、滿蒙開發の使命を帶びた滿鐵が滿鐵の資本を以つて設置する以上滿洲乃至州內に設置するのが當然で齋藤總督の主張は見當違ひである、滿洲關係からいつても多獅島に築港し新義州に設置するのは策の得たものでない、滿洲の統治中心が州內にある以上矢張り州內に設置するが至當であるまいか

の質問に對し武富參與官は

本問題は頗る重大である、仙石總裁は鞍山設置說を力說してゐるが、一部では新義州設置說を支持してゐると仄聞してゐる、朝鮮では朝鮮に有利な說を拜聽し當地ではまた當地に有益な話

聯絡會議委員會
鐵道省の二案を審議

日滿旅客聯絡會議委員會第二日(十八日)は午前十時より社員俱樂部において開催されたが伊藤議長は劈頭鐵道省提案の

●要償額表示制度及引渡期間制度の件

を議題として審議に入つたが東鐵側委員より該問題は各地方的には旣に實施されてゐるも運輸機關により統一したる制度が制定されてゐる(日本側運輸機關は本年四月一日より統一されたる本制度を實施する)相違しゐるため今直に本制度に統一すること困難であるといふ理由で次回まで保留することとなつた、但會議終了後成るべく速かに關係運輸機關は地方的規則を事務監理者たる鐵道省に通知し鐵道省はこれにより次回迄に充分研究をなすといふことに決議され、次に鐵道省提出第二案

●日滿聯絡運輸に於ける各關係運輸機關の金弗貨運賃割引の件

の審議に移つたが本問題は第七回及第八回會議に提案され未解決のまゝ今日に至つてゐるもので本會議においても東支側委員提案により特に鐵道省、滿鐵、東支の三運輸機關において非公式に懇談解決に對する下打合會を別室にて行ふこと〻し十一時二十分伊藤議長より休會を宣し右三運輸機關委員は別室に移つた

本問題は換算率の關係により日滿聯絡運賃よりも東支鐵道の地方的運賃が長春、哈爾賓に於て二十二パーセント割安といふことになつてゐて歐亞聯絡旅客に對しては密接なる利害關係を有する大問題だが東支鐵道にとつても被る影響は決して少くないだけにこれが改正は頗る難問題とされてゐる、一例を擧げると長春哈爾賓間一等聯絡運賃十四圓九十四錢に對し東支の地方的運賃現行換算率によれば十二圓二十四錢で地方的運賃は二圓七十錢だけ割安といふ聯絡旅客にとつては不合理な制度でこれが長距離になれば地方的運賃は更に格安となつてゐる、卽ち長春滿洲里間では十四圓五十九錢の開きで歐亞直通切符を買ふ人はこれだけの損で該制度が改正されれば面倒でも長春で切換えた旅行をせねばならぬことになる

國民政府要人と意見を交換
南京訪問の永井次官

【南京十七日發電通】渡支中の永井政務次官は十七日午前十時鐵道部長孫科氏を訪問し林出書記官の通譯で一時間會談し更に王正廷氏を訪ひ一時間餘會見、午後は立法院に胡漢民氏と二時間餘り會見日支諸問題につき隔意なき意見の交換を遂げそれより宋子文を訪問して財政問題、債務整理等の意見を聽取、午後八時からは王正廷氏主催の晚餐會に出席した、十八日は午後一時より孫文の墓を弔ひ同四時より蔣介石氏と會見の筈

シャム皇族 二十日頃御來連

シャム皇族カンペンペジャラ殿下御一行七名は九月二日上海に到着南支方面の御視察中であるが本月二十日頃よりドイツ汽船クルメランド號にて御來連、同船は數時間碇泊後天津に赴き北京その他を御視察の上北寧線で奉天に赴かれ林總領事を御訪問、安奉線にて朝鮮經由日本に赴かせられる御豫定であると、なほ殿下には駐日シャム公使夫妻及日本人田村氏も隨行の由

電通卅年記念 三大事業

【東京十八日發電】日本電報通信社は來る十一月十一日を以て創立三十周年に當るので同日記念式典を擧げると共に左の如き記念事業を行ふに決定した

一、全國新聞社三十年勤續者表彰 全國新聞社三十年勤續者百四十七氏に對し朝野名士の贊助の下に表彰する
二、新聞廣告獎勵會創設 從來我國に廣告事業の進步發達に卽した實際的機關無かりしに鑑み新聞廣告獎勵會を創設し各一年間の新聞廣告を審查し優良廣告は優等、商工大臣賞、副賞三千圓一等、金盃、副賞一千圓、二等賞金五百圓、三等二百圓を贈る本會名譽會長俵商工大臣、委員長光永星郎、顧問日本商工會議所會頭郷誠之助男、日本新聞協會長清浦奎吾伯
三、記念號「日本電報」發行

青島の近情
鈴木青島會頭談

青島商工會議所會頭鈴木格三郎氏は十八日入港大連丸で來連したが約一週間の豫定で遼東ホテル投宿滯在すると同氏は船中語る

青島も不景氣ですだが膠濟鐵路は時局がどうやら落ついたので好い成績をあげつゝあるやうです、日本人側は困つてゐますが皆我慢してやつてます、新市長胡若愚氏も日本に對し好い感情をもつてゐるのでこれから巧く行くと思ひます、今度は仕事の都合で鞍山まで行きたいと考へてゐます、青島の紡績界ですか仕事はやつてますよ、それに南京政府側がやかましいので工人も餘り騷がないやうです

內大臣秘書官長

【東京十八日發電通】岡部長景子の辭任に伴ふ內大臣秘書官長の後任はこの程產業合理局事務官木戶幸一侯爵を起用するに內定し一兩日中に發令することゝなつた

辭令

【東京十八日發電通】本日左の如く發令された

任關東廳教育主事(高等官七等待遇)　山本壽喜太
長春商業學校教諭兼舍監
任同教諭(高等官七等待遇)　濱田增人

「ばいかる丸」　十九日午前七時大連港外着の豫定

人事

▲原田敬氏(陸軍少將)　十八日出帆の香港丸にて內地へ
▲橫須賀海兵團一行　同上
▲廣島縣農會議員一行八名　同上
▲岸田正記氏(代議士)　同上
▲藤田臣直氏(昌光ガラス常務)　同上
▲京都高等蠶業學校一行二十二名　同上
▲佐賀縣立農學校旅行團一行五十一名　同上
▲谷信近氏(實業家)　同上
▲猪輪壽三郎氏(實業家)　同上
▲平野博三氏(ツーリストビウロー大連主事)　十八日入港大連丸で歸連
▲鈴木格三郎氏(青島商工會議所會頭)　同上來連
▲李達氏(朝鮮駐在副領事)　同上來連仁川經由京城へ
▲小林英一氏(滿鐵交涉部資料動務)　十八日市內播磨町九〇番地に轉居

大觀小觀

大元帥陛下、今日も御發艦、御召艦「霧島」にて海軍大演習御統監あそばさる。

◇

非募債主義の看板、卸す、卸さぬが問題となる。

◇

併し時代の要求を顧みず、名目に囚はれて動きの取れぬは「君子」の名を汚すにあらずや。

◇

永井次官、南京に國民政府巨頭連を訪問す、川崎次官、鮮滿視察の途に上る。

◇

日本政局、安定の兆、而して問題は依然として豐作貧乏、失業救濟にあり。

◇

早慶戰、依然として人氣わく〳〵

天氣豫報

十八日夜(南の風)曇、驟雨模樣
十九日(北西の風)曇、後晴

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	一八、八	二〇、二
旅順	一九、六	二〇、五
營口	一八、二	二一、二
奉天	一八、二	二一、〇
長春	一五、九	二一、四

滿潮　午前七時五十五分　午後八時卅分
干潮　午前一時五分　午後二時五分

海軍大演習御統裁に 聖上、けふ御西下
皇禮砲轟く中を『霧島』に召させ 橫須賀港を御發航

【東京十八日發電通】天皇陛下にはロンドン條約を以て本年度最初に試みられたる本州西南洋上の海軍特別大演習御統裁並に二十六日神戸沖にて艦艇百六十五隻の大觀艦式を御親閲あらせらるべく時雨模樣の十八日朝、御政務を悉く御親裁あつてのち午前九時十分陛下には御凜々しき海軍大元帥の御軍裝に燦たる大勳位章を御佩用一木宮相、鈴木侍從長、奈良同武官長以下供奉、御車寄まで御見送りの皇后陛下、照宮樣と御別れを告げさせて宮城御出門略式自動車鹵簿にて近衞、第一兩師團儀仗隊と市民堵列の行幸道路を東京驛に着御、皇太后陛下御使入江皇太后宮大夫初め各皇族殿下と御對面、午前九時二十分東京驛御發、山本兩大勳位、濱口首相以下文武官奉送裡に御召列車にて御機嫌麗しく橫須賀軍港に向け御發輦遊ばされた

【橫須賀十八日發電通】十八日朝東京驛御發輦の天皇陛下には橫須賀市長、大角鎭守府司令長官等の御出迎へを受けさせ十時三十五分橫須賀驛御着車、御徒歩にて逸見棧橋に御到着、四十分御召艇にて晴れの御召艦霧島に藤澤艦長の御先導にて御移乘遊ばされた、港内からは君ケ代の奏樂莊嚴に鳴り渡り供奉の第三十四驅逐隊如月、卯月、睦月の發する皇禮砲轟く中を正午大洋に御發航遊ばされた

全國の人氣を集め 早慶戰の火蓋切る
早大多勢・慶應上野を プレートに送り對陣

【東京特電十八日發】神宮球場を埋め盡した觀衆が早慶兩軍の入場を今や遲しとまつ間もなく、正午腰本監督、岡田主將を先頭に慶應ナインが入場するや一壘側に陣取つた慶應側の應援團から先づ萬雷の如き拍手が起る、腰本監督指導のもとに型の如くフリーバッテングが開始されたが宮武、山下、井川らの攻擊主力はいづれも物凄い當りを見せ殊に宮武は外野席に大飛球を飛ばして慶應ファンをやんやといはす、零時四十分森主將以下一抹悲壯の氣を面上にたゞよはせた早大選手が入場するや全觀衆は總立ちとなつてこれを迎へ場内の空氣は彌がうへにも緊張の度をましてゆく

かくて兩軍のバッテング守備の練習も鮮かに終了するや午後二時天知（球）錢村、橫澤（壘）三氏審判のもとに早大先攻でこの歴史的大試合の幕は切つて落された、兩軍メムバー並に第六回までの得點左の如し

早大　佐伯5　矢島9　三原4　伊達2　佐藤7　多勢1　今井8　富永6　西村3

慶應　堀9　楠見8　山下3　井川7　三谷4　小川2　川瀬5　上野1　牧野6

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
早大	2	1	0	0	0	0				
慶大	0	0	0	3	2	0				

朝六時頃から ファン目白押し
三百餘名の警官隊で 野球場を嚴重警戒

【東京十八日發電通】物凄い野球狂時代の全日本ファンの視聽を集めた早慶野球戰は愈々本日午後二時より第一回戰を神宮球場に於て擧行する事となつた、夜來の雨はやんだが降りみ降らずみの氣遣はしい天候にもめげず辛くも待ち得た入場券を持つた紅紫色とりどりのウルトラモダンの女性を始め一般ファンは早朝六時頃から續々と球場目がけて押し寄せ開門の時を待つ、慶應の應援團は早大の入場券騷擾を他所に林田團長引率の下に早くも午前九時半一壘側の內野外野に分れて陣取つたが、三壘側の早大應援席は十時に至るもガラ空の奇觀を呈し頗る物淋しい、かくて午前九時四十分一般ファンの入場を許し十一時には一壘側及び三壘側ともに滿員となつた、なほ警視廳では警戒のため早川監察官の指揮する四谷、青山兩署の警官三百餘名を野球場の周圍に配置し入場券を持たぬ者は一歩も球場に近附けず警戒嚴重を極めてゐる

入場券を返却 學校當局に宣戰

【東京十八日發電通】早大學生聯合會は十八日午前十一時各級毎に協議の末、今明日の早慶戰を應援に行かぬと決定し學校側提供の入場券四千枚全部返却し左の決議を發表した

一、不買同盟絕對支持
二、學生聯合委員會支持
三、全學生の支持なき體育會を認めず
四、今回の問題に犧牲者を出さぬこと
五、豫告なき臨時休校に對し學校當局の釋明を求む

體育會員 一千名入場 應援團席に着く

【東京十八日發電通】午前十時に至るや早大應援團波多野團長以下幹部は早大の應援なきは淋しきなりとし體育會々員一千餘名と共に三壘側內野席に陣取り校歌を合唱しエールを唱へて氣勢を擧げ早大ファンは素より慶應側も拍手を以てこれを迎へた

寥々たる 早大席

【東京十八日發電通】三壘側內野早大席は學生が入場しないため寥々たるものであるに反し慶應學生は一壘側に陣取り今年より開始した「拍手の綾」と稱する音樂的拍手の應援を送るべく練習してゐる 貴賓席には澄宮、朝香宮、賀陽宮若宮、東久邇若宮の各殿下御台臨、町田、松田兩相も顏を見せる朝來天候怪しかつた爲めリーグ側は午後一時二十分サイレンを鳴らしゲーム擧行を一般に知らせたプレミアム稼ぎの入場券賣りは外苑附近に出沒してゐるが相場は外野五圓、內野十圓である

日支競技出場の 支那選手着連す
今夜の籠球戰を皮切りに 愈よ對抗戰始まる

いよ／＼今十八日午後七時より滿鐵明高女屋內コートに於て擧行される籠球戰を皮切りとして日支對抗競技に出場する支那側選手一行四十二名は華北體育聯合會幹事、東北大學教授郝更生氏引率の下に十八日八時着列車で滿洲體育協會林田學主事及び日本側出場選手多數の出迎へを受け大元氣で着連、直に奥町中華棧に投宿したが郝氏は語る

今度の チームの中心は東北大學である、東北大學は未だ遠征したことがないし、また大學部の方は餘り運動もしないので、實は皆樣の期待にそへるかどうか甚だ疑問に思つて居る、幸ひ岡部平太氏が非常に盡力して下すつたので思ひ切つて遠征して來ました、四種目中籠球と蹴球とは支那の國技とも稱すべきスポーツだからいさゝかの自信はありますが日本の方もなかなか強いとの話だからウンと頑張つて見る考へだ

庭球は 全然問題ぢやないと思ふ、ただ私達は日本の方々にコーチしてもらふ考へで進んで庭球も對抗競技種目に入れて頂いた樣な譯だ、先日御紙で岡部さんの豫想の記事を拜見して私達は實に恐縮してゐる始末だ この競技會が年々各種目にまたがつて行はれるやうに希望もして居りますし、先進國の日本チームに總て教へてもらひ又練習もして頂くといふやうな考へで今後どし／＼やつて頂かうと思ふのです

けさ着連の蹴球支那選手

庭球戰優勝盃

なほ庭球戰は支那側役員と協議の結果、左記の如く變更され各種目の優勝チームには優勝盃が授與されることになつた

▲庭球三シングルス、二ダブルス▲優勝盃庭球東北大學副總長（劉風竹盃）體育ボール（同上）籠球滿洲體育協會長（大森吉五郎盃）

米海軍の二大發明
潜水艦遭難救助に關し
水深半哩迄は聽える通信裝置と救護品を供給するチューヴ

【東京特電十八日發】ニューロンドン十七日發電によれば米海軍ニューロンドン造艦研究所に於て潜水艦遭難救助に關する二大發明が完成され十七日上司に報告された、その一つは海底に沈沒した潜水艦と海上艦艇との通信裝置で水深半哩以內の距離ならば極めて明瞭に送受することが出來最近の試驗で良好なる成績を納めた、從來潜水艦沈沒の場合は潜水夫が潜つて行き艦內からの艦を叩く音の有無で生存者の有無を推定するといふ極めて迂遠な方法しかなかつたがこの裝置の完成により沈沒艦と援護艦艇との連絡が完全にされる結果犧牲者が激減する見込みである、第二は遭難潜水艦に對する救護品供給チューブの發明で第一の發明と相俟つて潜水艦乘組員の安全性を確保するものである

日本畫と 工藝特選

【東京十八日發電通】帝展日本畫並に工藝特選は十七日左の如く發表された

日本畫　暮春、兒玉希望（東京）▲大谷武子姬、山川秀峰（同）▲高野草劍、岩田正巳（同）▲深林春色、白倉二峰（京都）▲櫟林、小林均（同）▲秋思、佐々木尚文（東京）▲弘法大師、森守明（京都）▲雪晴れ、永田春水（東京）▲花端、三宅凰白（同）▲雪晴れ、松本道夫（京都）▲鳥城、池田遙村（同）▲早苗黑、福田豐四郎（東京）▲奈良の興、吉岡賢二（同）▲後苑散步、榎本千花俊（同）

工藝　接合せ硝子スタンド、岩田藤七（東京）▲鐵製ストーブ前衝立、磯崎美亮（東京）▲赤銅獅子模樣丸筥、二橋美衡（東京）▲蒔繪製花生、香取正彥（東京）▲漆皮彫衝立、吉田源十郎（東京）▲蒔繪棚（土を思ふ）、吉田醇一郎（千葉）▲沈金彫手筥（遊魚）、前大峯（石川）▲壁掛琉球那覇の圖、櫻井霞洞（東京）

獄に陥つ罪の女ふたり
債鬼に責められ 知人の印鑑僞造
生活に追はれた身重女

物憂い秋に罪の女二人が獄裡に陥ちて行つたお裁き二つ――十八日午前十時大連地方法院法廷に立つた市內惠比須町百五番地武田フヂエ（三一）は纖嫋五ケ月の身重に目に淚さへ浮べて長島判官に訴へるのであつた

私は大正十五年七月內緣の夫浦川某と來連し、三年間滿鐵醫院附添婦を勤めましたが一昨年先夫に捨てられ、今度は川口菊治といふ男と內緣關係を結びましたが

亭主運 が惡く間もなく川口と別れて昨年十二月長谷川清といふ者と結婚しました、ところが夫は性來の怠け者で私と長男（先夫の子）を養ふどころか本年初め行方不明となりその時既に私は妊娠してゐました、ヒシヒシと迫る生活難と四方からせめ立てられる債鬼のため惡いとは知りつゝ罪を犯したのですと法廷に泣き伏した、この女は去る二月十八日知人の石橋豐の印鑑を僞造し石橋名義の電話を擔保に正直洋行から三百圓を借受け家賃その他生活費に當てたものである 檢察官の同情ある論告の下に懲役十ケ月を求刑された

産婆から 女給へ
淪落のヨシノに懲役三ケ月

産婆から女給へと淪落の半世を送つた市內西公園町一一五番地愛國婦人會內細村ヨシノ（二七）は情夫に貢ぐため同會所屬の金約六十圓を窃取し、警察でも檢察局でも飽迄犯罪事實を否認し續けてゐたが、十八日長島判官から被告は否認するも證人の證言及び物的證據より見て犯罪事實歷然たるものがあると懲役三ケ月を言ひ渡された

鐵巖慰靈祭

元遼東新報社長末永鐵巖氏の慰靈祭は故人の知友に依り十九日午後三時から中央公園記念碑前に於て執行されるが當日午後五時より西園亭で追憶晚餐會が開かれる出席希望者は五品ビル內滿蒙研究（會八八〇四番）へ申込のこと（會費二圓五十錢）

大連道場柔道 大會あす擧行

滿鐵大連道場主催の第二十一回秋季柔道大會は十九日午前八時より大連道場に於て擧行されるが、お膝下の大連は勿論奉天、鐵嶺、公主嶺、遼陽、鞍山、普蘭店、瓦房店、撫順、旅順等の各沿線地方の猛者連の馳せ參ずるもの實に三百名、幼年組、少年組、青年組の三組に分けて爭覇することになつてゐる、なほ左記諸氏に依り柔道の形が行はれる

投之形（五段）小谷澄之（五段）岩下敬次
極之形（四段）大山黨治（四段）關
柔之形（五段）前田久郎（四段）山根福吉
五之形（六段）山田行正（四段）石垣良隆

抱妓虐待の 惡樓主
近く嚴重處分

市內沙河口西町五九料理店博多屋こと成田シゲ方は最近抱へ妓に對し客の未拂代金及び回收不能の代金を强制的に出金させ、所持金のない妓等には衣類その他を入質せしめてその代金に當てるほか抱へ妓の無智なるを利用して稼ぎ上高帳の如きも實際より少く記入し數人の事實を隱つて私腹を企てる等抱妓虐待の風評が專らであるので所轄沙河口署保安係では過日來樓主及び抱へ妓について嚴重取調中であつたが、樓主は客の遊興費不拂の如き前記の事實が大體判明したので近く取調べ終了と共に嚴重なる處分を行ふ筈である

またも藝妓 自廢を企つ
救世軍婦人ホームに駈込み

藝妓酌婦の自由廢業續出し抱主に大恐慌を與へてゐる折柄またも市內平和街六五敷島こと森田重太郎抱へ藝妓八千代事芝田ゆきゑ（二〇）が去る十六日朝公休で外出したまゝ市內播磨町救世軍婦人ホームへ飛び込み自廢を企てた、小崗子署へホームよりの屆出でにより樓主森田が同夜婦人ホームに赴き直にゆきゑを連れ歸つたが自廢を企てた動機等については目下小崗子署にて取調中である、同人は本年七月九日奉天より二千六百圓にて抱られたが來連後三日を出でずして逃走したことがあり今度で二回目であると

普蘭店の 品評會

普蘭店産業品評會は既報の如く十七日より開會したが、朝來入場者殺到し入場者數二萬參千人に達した、十八日も大連彌生女學校生徒七百名を初め入場者引きもきらず日沒迄に參萬の入場者ある見込みであると、因に時恰も中秋の候でもあり大普間バスなどを利用するときは沿道の紅葉を賞する事を得て一段の興趣をそゝることが出來よう

海賊に盗れた戎克

十七日午後六時ごろ市內山城町繫留戎克船雙合順號船主宋共林（三七）が水上署に「先月海賊に盗られた戎克がゐますから取押へて下さい」と訴へ出たので水上署ではさては總動員のうへ山城町海岸に急行したところ、該戎克には二名の支那人が搭乘してをり同人等も小長山島附近で海賊に襲はれ身ぐるみ强奪されたうへその戎克で大連まで行けと逃がされて來たものと判明、なほ同戎克は去る九月十七日河北省沙頭沖で宋が强奪されたものに相違なく、船中の支那人の語るところによると小長山附近には海賊の根城があると

時計を搔浚ふ

市內大龍街五七番地呂基山（一八）は十七日午後八時ごろ市內常盤町連鎖商店內貴金屬商森洋行において客を裝ひ時計を見て居るうち店員の隙を窺ひ傍にあつた十八金側腕時計一個（時價三十五圓）を搔浚つて逃走したのを店員が發見し追跡の上常盤座前において捕へられ小崗子署へ突き出された

惠比須祭り

大連信濃町市場內惠比須神社秋季大祭は二十日午前十一時より同境內に於て盛大に執行されると

●遼東ホテル　新築中の市內大山通遼東ホテルは十九日から開業

春日校創立 十周年記念
けふ盛大に擧行

大連春日小學校創立十周年記念式は十八日午前十時から同校講堂に於て擧行された、來賓者は田中市長、田中民政署地方課長、各市會議員各小學校長、保護者等約三百名、定刻「君ケ代」を齊唱、教育勅語奉讀後生徒の勅語奉答歌あり越川校長の式辭に次いで辛島民政署長の訓辭田中市長の祝辭、岡本初等學校長總代、關山來賓代表、田中保護者會長、春日同窓會總代の祝辭あつてのち田中保護者會長より十年勤續者たる渡部キエ、柴野ワサ（以上訓導）小館正（事務員）梶田森之（囑託醫）楫田金太郎（傭人）丁平周（支那人傭人）の六氏に對し記念品を贈呈し越川校長の謝辭あつて同十一時半閉式したが、式後兒童作品展覽會が開かれ賑はつた（寫眞は記念式）

侠艶一代男 (90)

米田華紅作　伊藤幾久造畫

佃の夜嵐(九)

「あッ！危れえ！」

艫の船頭が立ち上りざま、兩手を擴げて、抱き留めやうとしたのを振拂ひ、どぶんと水音高く、浪頭の白く亂れる海へ、叶家の一葉は身を躍らして飛び込んでしまつた。

「一葉！一葉！」

胴の間から憤怒に色を變へた大家源十郎が、艫へぬつと首を突き出して

「船頭！飛び込んだか？」

「へ、惜いことを致しやした。あんまり殿さまは氣が短けえからいけれえのさ」

雲に隱れた月の薄光り、僅に見える浪の上を透して、見廻つてゐた。

「潮の流れの迅え佃沖、西風が出て、この浪じや所詮生命は助かりますめえ」

「その邊に影もないか？」

と、船頭は嫌に落ちついてゐたが、ざぶんと横浪が大きい、屋根船の腹を洗つて、ぐら／＼と揺れた。

「こいつは不可れえ。殿さま！佃の夜嵐と云はれる迅手だ。愚圖愚圖してゐると、この船じや、こちと等もお陀佛ですぜ」

「一葉の姿は見えぬか？その邊を少し探して見ろ！」

源十郎は、まだ思ひ切られぬらしく、浪の荒れ出した海面を見透してゐた。

「そんな所ぢやありませんや。船が轉覆かへりますぜ」

櫓を握ると、狼狽てたさまで漕ぎ始めた。

どぶん／＼と、大きく浪が幾度か舳に砕けて、締め切つた障子に潮吹が亂れ散つた。

源十郎は、腕組をした儘で、船の屋根に肘を乗せ、舳に立つて、じッと雲のちぎれて飛ぶ空と、薄暗い海を見詰めて居る。

手のうちの珠を奪はれた、無念さを堪えて、いら／＼した焦燥な氣持に驅り立てられた。

「なア船頭！」

「へッ！」、舳と艫なので、聲が風に吹きちぎられ、届かなかつたと見え、櫓を押しながら訊き返した。

「一葉の身はどうにかならぬか」

「さアれ。殿さまでさへどうもならねえのに、この佃の夜嵐、西の迅手で荒れてゐる海ぢや、あつしの手ではどうにもなりませんや。明日の朝は芝浦か、品川の濱邊に屍骸となつて、打揚られてゐましやうよ。おう！嫌にゾク／＼と寒氣がして來やアがつた。南無阿彌陀佛南無阿彌陀佛」

怯氣づいて、身顫ひでもしてゐるか、顫え聲で、念佛を繰返してゐた。

船は幾度か、舳へ浪を冠つたが、それでも佃の裏を廻つて、墨田の河口へ入つてゐた。佃の夜嵐と云はれるだけ、一刻か半刻前まではあれ程に靜かであつた海面は、一樣に吹き出した西風に、白浪は高く、空を打つやうに荒れ狂つた。

月は黒い雲に隱れて、切れ間から薄い光が洩れてゐる許りで、流れる雲が引ッ切なし空を飛んだ。

この荒れ狂ふ佃沖の海上、島の芦陰へと漕ぎ入れた一艘の小舟。それには意外にも奥山寶亭の矢場女、おさしみお乗に、その日の晝さがり、白鬚社前の堤から一緒に乗り込んだ甕だわし猪の船頭が棹を握んでゐた。そしてお乗の側に打伏しに、汐くたれた髪に着物をそのまま、叶家の一葉がぐつたりと虫の呼吸。

「でもよかつたよ。危い所だつたね」

「へえ、さすがは姐御は眼が高えものさ。あつしなんかお先眞闇とでも云ふんでせうよ」

「どうせ、加州の彼奴等が乗り込んで、變な屋根船が跡を追ふし、碌なことぢやあるまいと思つてゐた。全く！一葉さんを助けてやつてよかつたよ。私も隨分物好きだが、適には人命救助さかも悪くはない氣持だね」

「ヘッヘッヘヽヽ、姐御が善人に御宗旨變へですかい？」

「人間の聲いことをお言ひでないよ」

パラ／＼と曇つた空から通り雨が船板を打つた。

「おやッ！時雨れてきたね？」

お乗が仰向いて、空を見つめた

キネマと演藝

邦樂研究會 公演番組
明晩ホテルで

邦樂研究會第一回公演は十九日夜ヤマトホテルで開催されるが、本極り番組は左の如く決定發表された

▲常磐津(子寶三番叟)常磐津三佐太夫、同美春太夫、同司太夫(三味線)常磐津正楽、鶯見千代▲長唄(鳥羽繪)酒井鈴子、村上松子(三味線)杵屋正春、武田光代▲義太夫(明烏雪名屋の段)柿本三十年(糸)竹本旭勝▲清元(三社祭)(唄)多波羅、武堂佐藤(糸)清元延榮龍、多波羅、作野より子▲常磐津(戻橋)小野、藤田(糸)常磐津正楽、藤田節子▲長唄(木賊刈)吉住小之巌

右の中常磐津三佐太夫社中の出演とキリの吉住小之巌師の獨吟特別出演とは共に同會の非常な收獲と見られて居るのみならず番組中には記載されざるも右の外番外として花柳の師匠である清元延榮龍師が清元の地で舞踊を出すらしいと

歌舞伎座の 女萬歳
エロが呼び物

エロとユーモアの尖端をゆく千島會一行の女流萬歳大會一行は既報の如く來る廿一日から歌舞伎座で開演されるが、一行は小唄の名人竹廼家胡蝶を始めとして小八千代さんぽ、力丸、千枝子、文丸、清子、福丸、かもめ等の萬歳ガール岸子、駒枝、清子、一松、さん子君子、房子、金時、米八、光丸、千代等の舞踊等一行三十餘名全部女流であるから歌舞伎座のステージは笑ひとエロの巨砲が連發されるものと期待されてゐる【寫眞は胡蝶】

石井漠氏の 舞踊團が來演
來る廿、廿一日の兩夜　協和會館で開演

大連滿鐵社員俱樂部にては曩に聲樂家荻野綾子孃を迎へて其の明澄高雅の藝術に秋のシーズンを飾つたが、今回再び日本が有する最大の舞踊家石井漠氏を招聘し新しき時代を象徴する詩感と意思の交響樂である新舞踊を廣く紹介することになり本社もこれに賛同して後援することに決定した、石井漠氏が來演したのは既に五年の昔で、その後三ケ年間歐米を巡遊し歸朝後、石井小浪と分離し、一度は失明を傳へられ、また盲腸の手術にあらゆる艱難を突破し來つたが、常に燃ゆるが如き藝術慾はすべての苦難を征伏してその藝術は愈々圓熟の域に達し舞踊家としての世界的地位を益々確保した、今回來滿する石井漠舞踊團は門下の名花石井榮子を始め義美津子、山川貴久子、笹田美佐子等八人の美少女及荒木陽、伴奏者エリンコ、ロッシー、村山信吉等一行十六名でそのプログラムは漠氏獨特の純藝術的舞踊詩に加ふるに多分の大衆味を以て編成され非常な期待を以て迎へられてゐる、今期は來る二十二十一日の兩夜七時から協和會館で開催するが、會費は一般一圓五十錢で會員及び本紙讀者は一圓で既に社員俱樂部事務所で前賣券を發行してゐる【寫眞は石井漠氏】

石井漠舞踊團
讀者優待割引券
この券持參者に限り會費一圓
主催 大連滿鐵社員俱樂部
後援 滿洲日報社

石井漠舞踊團
讀者優待割引券
この券持參者に限り會費一圓
主催 大連滿鐵社員俱樂部
後援 滿洲日報社

都山流尺八 演奏大會
草崎圭山司會

都之雨社大連曉風會主催草崎圭山氏司會の曉風會第十回都山流尺八演奏大會は十九日午後五時半から大連新聞社、滿鐵音樂會、宮森大樹校社中、福永大勾當社中後援の下に協和會館にて開催されるが番組は左の如し

序曲「花陽樂」▲生田流箏曲「金剛石」▲同「三の景色」▲生田流三曲「櫻川」▲尺八獨奏曲「木枯」▲生田箏曲「吉野天人の曲」▲新日本音樂「軒の雫」▲尺八二重奏曲「八千代」▲新日本音樂「遠砧」▲同「鈴虫」▲生田流三曲「黒給の露」▲尺八獨奏「夜の懐」▲新日本音樂「都踊」▲生田流箏曲「秋の言の葉」▲歌謠曲「昔の人」「青山の池」▲尺八五重奏「清艶」

コロムビア十一月新譜披露

電氣遊園音樂堂のコロムビアレコード演奏會は十九日(日曜日)午後二時から十一月新譜披露演奏をするがプログラムは左の如し

▲吹奏樂(英國陸軍行進曲)▲東亞映畫小唄(古き都に春たちて)▲琴曲童謠(栗ぐり、蟲の音樂コブトリ、ウチノコネコ)▲新民謠小唄(宮島小唄)▲獨唱(荒城の月この道)▲浪花節(源藏徳利の別れ)▲流行唄(銀座のモダンガールつぼみ)▲交響管絃樂(ラ、ヂヨコンダより時の踊り)▲高峰琵琶(湖水渡)▲童謠(兵隊さんむく／＼柳猫柳)▲新民謠(船栗小唄木曾谷情緒)▲吹奏樂(クラリネット協奏樂第一番)▲獨唱(おけさ節郡上節)▲落語(祝ひ大黒)▲浪花節(藤堂高虎)▲バンジョーギター(フオスター歌曲集)▲流行小唄(なんなげ小唄)▲滿洲童謠(高足踊りばくちく、兎馬)▲バンヂヨーギター(婚禮の鐘)

映話

「無憂華」は斷然素晴らしい前人氣で既に一萬枚の前賣券が捌けたと傳へられてゐる▲何と言つてもお西サンを中心とした點が強味で「見に行く暇がないなんて勿體ない、拝みに行きませう」といふのだから物凄い▲帝國館は次週に流行小唄映畫「アラその瞬間よ」を上映するので宣傳にナフキンを特製して「アラその瞬間よ」とカフエーに寄贈した▲そして此は長井伊久子孃と佐藤千枝孃とふのが合唱するが、遼東カフエーの應援だとネタを割つた方が興行價値があるぜと映畫雀が今から騒いでゐる▲大日活は「この太陽」に全力を傾注して近く「この太陽」の繪ハガキを配る▲寶館の今週は洋畫七本立といふ大連映畫界始まつて以來のレコードを作つて流言蜚語を生んでゐる

ペーブメント

西通にまた新らしいカフエーが生れた、アジアであるが、女給が全部内地直輸入だといふのが評判になつてゐる、何でも岡山から大擧して來連したさかで、そのお國訛が面白いとこれも評判なのである　この頃のカフエーの繁昌策はもうメイド・イン・ダイレンの女給では客が呼べないさうだ、皆ネタがバレてゐてSAがないといふのである、皮肉な連中はこれで救世軍が東京カフエーとアジアに挾撃されたと騒いでゐる、ところで西通附近は愈々カフエー街で不二、行進曲、道頓堀、滿洲、アジア、新世界、東京、東洋亭、新世界と數へ立てられて來た

大連JQAK
十月十九日午後七時

▲講話(産業合理化)金子利八郎
▲狂言(鎌腹)上田伊吉郎、龜川音吉、瀬崎久雄
▲喜劇(誰が罪能率増進劇)鐵工所社長柴井信一(鐵六)同妻靜枝(國蝶)職工山路梅吉(信蝶)同妻お春(貞夫)同娘お花(政蝶)刑事西本(春大)泥棒盗吉(松蝶)お春の實父藤吉(六兵衞)
▲萬歳(能率増進數へ唄)川田梅丸、眞崎ツネ
▲俗謠(數種)唄、三味線増井八重野

市長の卸市場改善案は策士策動の結果か

杉野市長時代輿論の猛烈なる反對に遭つた改善案と略同樣

大連市設中央卸賣市場改善に關する市の具體案、即ち會社單一制案が一度暴露さるゝや、永井助役は率直にこれを是認し、主としてこれが立案に參畫した、眞鍋總務課長は極力否認するが如き狼狽振りを示してゐる、固より市當局が調査研究の結果眞に自信ある立案をなすことは自由にして、要は發表されたる案の内容如何によつて論議さるべきものである、然るに現在關東廳方面から洩れたる極めて確實性のある内容に基いて檢討すれば、それは杉野市長時代に二回までも立案されて、理論的にも實際的にも首肯するに足る生產者及び卸賣人中、華商側の猛烈な排撃並に公平なる輿論の反對に遭つて自滅したものである、なほ田中市長も就任後、その市場事情に疎きため一部策動家の所論に動かされて立案したものと大同小異にして、越ち生產者並に輿論の反對に屈伏したるは記憶に新たなるところである、されば本案の再現は各方面より甚だしく不可解の眼を以て見られており、主として市長腹心の某課長、某々辯護士、某々卸賣人關係者、某々市議等の謀議、策動の結果生れたものにして、市長は囂々たる輿論を輕視し事實上、これらの進言を抑制することを得なかつたものと噂されてゐる、されば本案の成行については私なき公論や輿論の嚴正なる監視が肝要なりとされてゐるが、案自體の價値さしても市場事情に何等變化を來してゐないため、今日と雖も何等實行性ない點に變りなく、徒らに紛糾を招くものとされており、追々大連農會、中國卸賣人、帝國農會、紀州柑橘輸出組合聯合會等の決議たる意思が表明されるに至るであらう

朝鮮の對支貿易好轉

水產物の輸出が特に進展

【京城十八日發電】朝鮮の對支貿易は本年に入り漸減を辿り特に輸出において激減を示して來たが、最近銀相場稍安定により支那内部の實需加はり、八、九月は對支貿易に好轉の曙光を認め、六月の如きは前年の半額百四十萬圓の輸出で、貿易商の最も苦境時であつたが、八月は二百八十萬圓九月は二百四十萬圓と漸次増加を見るに至つた、尚前年に比すれば五、六十萬圓の減少であるが漸く接近しつゝあることは正に好轉の證據である、特に九月には水產物の輸出最も多く前年の五割増を示してゐる

蜜柑の輸入七十萬箇

受渡方協議

【大連】紀州蜜柑の五十萬箇外其の他を合して本年度の大連港輸入の蜜柑は約七十萬箇に達するものと觀られてゐるが、愈々シーズンも差迫つたので、十八日午前十時より埠頭事務所營業室に於て滿鐵關係者問屋筋、運送會社方面の關係者集合之が受渡方法につき最後的の改善案を協議決定する所あつた

賣上點數は殖え價格は却て減る

一般物價下落が原因　九月中中央市場賣上

九月中における市設中央市場の賣上高は點數二萬六百十一點、金額九萬九千五百六十二圓にして前月に比し點數四百二十四點を増加し金額二千百七十五圓を減少した、この主なる原因は朝鮮松茸及び地物林檎殊に紅玉の出廻り旺盛なりしに拘らず比較的大量の輸入品たる金州玉葱及西瓜の入荷激減したると地物野菜特に甜瓜が終末を告げしに基因す、なほ前年同期に比し點數七千三十一點、金額六萬八千二百七十二圓を各々減少したるは各部を通じての激減にしてこれ一般の不況による

購買力 の減少と自然價格の低落を招來した結果と思はれる而して本月の市況を概觀すれば日本輸入品中玉葱は入荷減少したるも依然安値保合を續けて十六貫入一箱二圓ところを彷徨ひ下旬大分より初入荷を見たる早生蜜柑は地四國内外にて取引せられ鳥取より入荷したる廿世紀梨は地場が漸減しつゝありしと、品質優良なりしため相當組み手あり問屋側も亦頗る強硬にして安値には手放さず

相場は 終始一貫よく堅調を維持して一箱四圓臺にて商なはれた朝鮮松茸は月初め初入荷あり逐日出廻り漸増中旬最盛期に入りしも月末は終末を告げ代つて内地物の入荷を見るに至つたが、最初は荷造に注意を缺ぎばつくく腐敗物ありしため初物にも拘らず安値を示せしもその後荷造の完全と優良物の到着と相俟つて高値百匁一圓八十錢臺を稱へた、地物にありては梨は終末を告げ梨は終りに近くして入荷激減したるも林檎、殊に紅玉は仲秋節を見込み奥地送りとして最も出廻り旺盛を極め頗る活況を呈せしが下旬に至り自然減少し且つ相場も下押し氣配を示した、蔬菜類において茄子、胡瓜は終末に近く

品薄の ため高値を見、玉葱、隱元豆等なども騰貴氣配を示しつゝあるが葉類、大根は下旬に入り出廻り急增し從つて相場も下押し白菜上物一貫十五錢、花心菜八錢、大根は上物一本一錢五厘、普通一錢乃至八厘ところを示した概して地物の多くは銀安關係に禍ひされ昨年より約三割乃至五割を低落し他部輸入品もこれに影響されて本月も亦頗る不況裡に越月した、今各部における賣上高及前年同期との對比並に品名別比較を示せば左の如し（△は増加）

		本月	前月比較
日本	蔬菜	七、二五九	二〇、七八五
	果實	二、一七二	二一
臺灣	蔬菜	二八	一三
	果實	一九八	一、〇〇四
支那	蔬菜	五、一二六	二、三一〇
朝鮮	果實	六、一六一	七、六四一
	蔬菜	六、五六一	△九五二
	果實	七〇	五五三
地場	蔬菜	三三、七六一	一四、四五一
	果實	三八、二二一	二二、四四二
計		九九、五六二	六八、二七二
點數		二〇、六一一點	七、〇三一

紐育株式市場依然低落歩調

【ニューヨーク十七日發電】ニューヨーク株式市場は今週初めに玄人筋が一致豫想した通り月曜來一貫せる續落歩調を辿り多くの株式が本年の新安値を示すに至り人氣はますく減入るばかりである主要株の値下り損失は莫大の額に上り投物も此地彼地に出現してゐるが低落が小刻みに徐々に行はれてゐるため混亂は起らずに濟んでゐるなほ取引量も比較的少くなつてゐる

哈爾濱と大連豆粕受難比べ

内地安値にはまだ追付けぬ

▼…大連に於ける油房業の窮乏を今更引出すことは少々鼻につくが生糸の慘落に次ぎ米價の暴落は層一層に内地の農村を疲弊のドン底に陥れ居り殊に魚肥が割安に提供されることは豆粕需要の前途に對して一段の悲觀材料を與へてゐるのは否むべくもない。

▼…加ふるにハルビンの油房で生產される豆粕が浦鹽を經由して内地へ輸出される場合、假りに十一月積についてみると大連粕に比べて十五錢方の安値であることは巷間大連油房がハルビン油房に壓倒されるその觀を深くせしめて居る

▼…即ちハルビン粕は百斤につき金二圓五十錢、運賃その他の諸掛りを合して十六錢とみて内地では二圓六十六錢で取引される、然るに大連粕についてみるに積込賃稅金が十一錢、運賃が八錢とみられ二圓八十一錢のさなるが此の開きがザット十五錢

▼…だからこそ、内地に於ける豆粕の需要が殆んど杜絶の姿にある中にもその取引高は寔に僅少なものであるにせよハルビン粕は内地への輸出をみてゐるわけである

▼…だが然し是だけの事實を以て大連油房がハルビン粕に壓倒されると見ることは少しく方向を轉換する必要があらう、何故ならハルビン粕の需要先は大體に於て日本内地のみに限定されてゐる内地農村のみが唯一の顧客である

▼…然るに之に反して大連油房がハルビン油房と立場を異にするのは内地農村を需要地とするのみならず、臺灣、南支筋に取引先を有してゐることだ、故に大連油房が窮乏の中に沈淪しハルビン油房に壓倒されたといはれる中にも或る種の油房は割合に落付を見せてゐる

▼…今夏來採算上の關係から大部分の油房は全く操業休止の狀態だが混保品ならざる粕即ち丸粕でないものが臺灣、南支筋へ輸出されてゐるのは此の間の事實を物語るものである

▼…とまれ、かくまれ、十一月ものゝ、神戸相場は二圓四十六錢と傳へられてゐる、ハルビン粕の二圓六十錢、大連粕の二圓八十一錢と比較すれば、何れにせよ二十錢乃至三十五錢の値開きがある輸出商としてはそれだけの損失を覺悟しなければ道理だし事實上それまでには更に更に安値を辿るであらうが、取引不振の所以は又こゝに胚胎するのだ

對支水產貿易と大連港

（一）◇…松丸孝三郎

左の一文は過般の西部日本水產大會開催に際して松丸孝三郎氏から特に本紙に寄せられたもので同大會開催前に掲載すべきであつたが記事輻湊のため時期遲れとなつたが單に内地からの出席者に對してのみでなく、一般讀者諸君にとつても參考とするところ多大なるものがあるので今日これを掲載することにしました。（記者識す）

一

十月十四及十五の兩日に亘りて關東州に第三回日本水產大會が開催されたに就て本國の水產業者が多數族大に參集して居る、私はこの絶好の機會に於て標題の如き問題を考察し、漸たる關東州が水產集中傾向は倫然著なる能はず、水產物の輸入貿易が發達するに伴れ物の生產及び販賣の上に如何に大きな職能を發揮し得るかといふことを主として内地の人々に吹聽して識者の注意を喚起したい。

二

大國支那は地文的に北中南の三區に大別せられるが、この區分法は同時に人文上の諸現象にも適用される、水產（生產及分配共）も亦この原則の例外をなすものではない、即ち北中南の各區には夫々天津、上海、香港といふ大中心市場があり、それ等の市場は又必ず各區に於ける最大の漁港を兼ねて居る、經濟的に發達の遲れた支那のことであるから、市場及漁港のて前記各大市場の中心的地位は漸次鞏固を加へた次第であるが、一たび眼を生產方面に轉ずれば、漁撈手段が今尚原始的な帆船及手工の域を脫し得ないために、漁港の集中過程は遂く市場のそれに及ばない、即ち北區には天津以外大連及芝罘あり、中區には上海以外寧波及舟山島あり、南區には香港以外福州、廈門、廣州あり、これ等の二流漁港の下に更に三流以下幾級かの無數の小漁港があつて夫々の小市場を伴ふといふ狀態にある

三

三支那の水產界は過去半世紀の間、前記の如き狀態の表面に至つて緩慢な集中傾向が動いて居るに過ぎなかつたのであるが、最近數年來異常なる變化が北支那の一角に起つた、それは生產手段の機械化を背景とする大連漁港の大連市場の驚步的進出である、關東州に日本漁業者が移住し始めてから今日まで既に四半世紀を越えるが然し彼等は久しい間支那漁夫同樣帆船による手工漁撈の範圍を出で得なかつたために、關東州北支那水產界に於ける地位も亦僅に營口を凌駕して滿洲に微弱なる勢力を保持するに過ぎなかつた、天津は申すに及ばず、漁港としての勢力では芝罘にすら押され勝ちであつた、顧つて日本内地の趨勢を見るに、漁撈界はトロール船及機船によつて夙に機械化せられ且企業組織も亦ヨーロッパの先進諸國を越えて高度の資本主義化を遂げ、其總業一躍して世界第一の生產額を擧げつゝある程の進步を示したに拘らず、獨り關東州の邦人漁業者のみが、政策及制度上の缺陷に壓迫されて何時までも土着の原始的漁業者と取組合つてゐるといふやうな不合理極まる狀態にあつた此不合理は關東州における邦人漁業の創始以後二十三年目即ち昭和元年に至りて漸く取除かれ、州の水產界は此年になつて辛うじて母國に於ける生產手段機械化の趨勢に追隨するの自由を與へられ、市場も亦獨占的營利會社の辣手から解放されて水產會の經營に移されることゝなつた、即ち關東州の水產業は前後二十三年に亘りて昏睡狀態に居たのであるが、關東廳が昭和元年に舊來の行政方針を改むるに及びて大連に集まる水產物年額は從前の三萬噸内外から爾後僅かに三年にして倍額の六萬二千噸、此金額約一千萬圓に膨脹したのである、これを表示すれば大體次の如くであつた。

大連移輸入並に陸揚水產物表（單位噸）

	鮮魚	鹽干魚	海藻	合計
元年	—	—	—	三三、一九四
二年	一二、五一八	一四、一一〇	七、六一二	三四、二四〇
三年	一四、八八九	一五、四七七	一一、八七五	四二、二四一
四年	二四、三九二	二五、七〇〇	一二、二〇五	六二、二九七

唯一の老舗　紙店……吉田洋行

全滿はおろか青島　芝罘天津に亘る販路網完成

◇今日に 於てこそ大連に於ける紙商もその數三十軒餘に上るが、明治三十九年日露戰爭直後先代吉田竹三郎氏が大山通りの現在遼東デパート附近に吉田洋行として小規模ながら開店した當時は武井洋行と共に僅か二軒にしか過ぎなかつたものである、武井洋行既に沒落した現在では老舗として唯一の紙商であり大連に於ける大半の紙商は皆此の吉田洋行から出たものなであるといはれる。大正十年先代歿後の後を受け兄弟四人の合資會社（資本三萬圓）として互に協力して今日に至つたもので

◇現在の 吉田洋行主が直接經營に當られて約十年になる、明治四十二年濱速町に移轉して爾來春風秋雨二十年、忍苦の經營を續けたが漸く世上の信用も高まり同時に濱速町ではどうしても小賣を併せ行はればならぬ事情にあり旁々小賣り卸賣とを兼營すれば經費の關係上著るしく能率を殺ぐので卸賣專門とすべく、昨昭和四年九月山縣通百九十四番地に瀟洒たる三階建の店舖を備へ犇々と迫り來る一般財界の不況に備へ同時に他日の飛躍を胸中深く藏して孜々として懸命の

◇努力が 拂はれてゐる、營業の範圍は關東州内は勿論、奉天、安東、ハルビン等滿洲一圓に亘る外、南は青島、芝罘、天津方面に及び現に青島には令弟春日常次郎氏が支店を經營してゐる、賣上高も人口の增加と物價高とによつて年々增加しつゝあり、年額七八十萬圓に上ることもあつたが、昨今の不況の結果は可なりの苦戰にあるらしい、但し數量に於ては漸增の傾向にありといふ、當主吉田竹三郎氏は年齒未だ三十三歲の如才なき好個の紳士である、潑剌として商機を逸せず、孜々として倦む所を知らぬ吉田洋行の向後は見るべきものがあらう

九月の國際商品再落して新安値

（下）粗糖が僅か一斤二錢

十セント見當である、違ふ所は棉花が十五年來の安値であるに反し電氣銅が殆ど未曾有の安値である事である

ニューヨーク電氣銅

	高値	安値
昨年九月	一八・二五仙	一八・〇〇仙
本年八月	一一・〇〇	一一・〇〇
九月	一一・〇〇	一〇・〇〇
本年中	一八・〇〇	一〇・〇〇

（一九一三年平均一五仙二七）

相場下落の原因は在荷が益々殖えて來た爲である、アメリカ金物統計局の發表によると、南北アメリカ精銅在荷は昨年十月末の八萬八千噸より本年七月末には三十二萬二千噸、八月末には三十四萬八千噸に激增してゐる、生產高は殆ど毎月減少してゐるが、消費及び輸出減の方が更に餘計に減るために斯く在荷が增加して來たのである一方カナダ及びアフリカの銅產額が增加しつゝあることも不安材料である

砂糖もヂリ安で有史以來の新安値GFニューヨーク相場は一セント〇三である、粗糖ではあるが一斤（百廿匁）二錢一厘だからお話しにならぬ安値である

	高値	安値
昨年九月	二仙三一	二仙〇六
本年八月	一・二五	一・一三
九月	一・二二	一・〇三
本年中	二・〇六	一・〇三

（一九一三年平均三仙五〇）

下落の原因は——

一、キューバ、アメリカ等の糖業安定策が少しも進捗せず國際協定も出來さうにない

一、キューバ糖が極東市場に進出し對抗上ジヤワトラストが著しく値下をした

一、キューバ政府が來年の豫想を八十五萬噸增と發表したこと等である、一方九月末に發表されたリヒト氏のヨーロッパ（ロシアを除く）產糖第一回豫想も昨年より五十萬トン以上の增收を示してゐる。これではニューヨークで云つて居るやうに「天災でもない限り相場の回復は思ひもよらない」

ゴム製限案お流れ

ニューヨークのゴム相場は九月中に二セント暴落して、七セント半といふ有史以來の新安値を示した昨年九月末の十九セント六三に比較すれば半値以下である、ロンドンの現物買ひ手値段も一ペンス以上下落して九月末に三ペンス八分五になつてゐる

（ニューヨーク現物）

	高値	安値
昨年九月	二〇仙三八	一九仙五〇
本年九月	一〇・二五	九・三八
九月	九・五〇	七・三八
本年中	一六・二五	七・三八

（一九一三年平均八二仙〇〇）

暴落の原因は英領マレイ、蘭領インド兩政府間の減產交渉が纏まらなかつた爲である、オランダ政府が減產によるゴム相場安定に參加しないことになつたのは次の見解に基くといふ、曰く「現在の狀態では減產の永久的方法は自然淘汰に俟つより外ないと」一方ダンロツプ・ゴム會社は左の如く發表し株主に安心を與へた

當社の本年のゴム生產費は一封度に付平均四ペンス半、八月は四ペンス、新改良ゴム園の採取が出來るやうになつたら三ペンスに下がるであらう

ロンドン・エコノミスト誌の豫想によると本年の世界ゴム產額は八十六萬トン、消費七十六萬トン、年末の在荷は四十八萬トン（これは八ケ月の消費に相當）に上る見込であると

二つのCは同値 戰前には棉と銅は凡そ同じ位の相場を保つものと云はれてゐたが、最近の相場はどちらも一封度に付

黄塵

◇…何處まで行つても世の中は不景氣の連續であるしかし如何に不景氣を呪つたところでどうにもなるものでない

◇…丁度夏の盛りに暑いくとこぼしたところでそれが涼しくならないやうに幾ら不景氣々々と言つてみても所詮景氣は立直らない

◇…不景氣に失望し人心が極端に萎靡銷沈するところにお互の氣持ちがますく重苦しくなし不景氣を更に深刻にならしめてゐる

◇…これでは駄目だ不景氣を打開するには先づ消極的退嬰的な氣持から轉換してかゝらねばならない

◇…不景氣は不景氣として自らその時代に生きて行く道がある筈だ、賢ないへばこんな場合こそ腕の使ひ甲斐もあり腕の振ひ甲斐もあらうといふもの、窮すれば通ずるといふ言葉もある、不景氣の上に出るには先づ氣持から不景氣を征服してかゝることだ

市況（十六日）

特產　仕手關係で大豆暴騰

大豆先物は仕手關係に又現物の買氣も手傳ひて暴騰、豆粕、豆油も亦漸い強調を示して大引

◇定期前場（銀建）

▲大豆（暴騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	六五〇	六六〇	六五〇	六六〇

▲豆粕（強調）單位厘 ／ ▲普通大豆 出來高 四百二十二車 ／ ▲豆油（強調）單位錢 出來高 五千枚 ／ ▲高粱（強調）單位厘 出來高 一千五百箱 ／ ▲包米 出來不申 出來高 八十三車

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	六六八〇	六七〇〇
出來高	五十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二二七〇	二二八〇
出來高	六千枚	
豆油	一九四〇	一九五五
出來高	一千六百箱	
高粱	三九八〇	三九九〇
出來高	三車	
包米	四一五〇	四一五〇
出來高	二車	

定期喰合高（十五日現在）

		前日對比較（△印減）
大豆	四〇二九車	一八車
高粱	一二三一車	五車
豆粕	一〇九八千枚	二五千枚
豆油	一二五五百箱	四〇百箱

錢鈔　倫銀高乍ら鈔票軟調

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十六片四分の三と（十六分の一高）先物は十六片四分の三と（十

株式　内地株小猊り當分保合

北濱前場寄は大株八十錢高、大新五十錢、高鐘紡六十錢高、鐘新四十錢高を入れ東京短期の新東も三十錢高と小猊りを示したが當市は氣配變らず定期は新豆、錢鈔共同事、新東は四五十錢高の強保合であつた、出來高定期三十枚、現物七十枚

商品　麻袋小安く綿糸も弱含

●麻袋● 產地情報は寄十六分の九安鐵八分の三安と低落を傳へ銀塊一ポイント高なるも地場銀票伸び悩みの商狀にて華商側氣乘らず氣配は現當二十六錢十一月二十五錢八厘十二月二十五錢五厘一二月二十五錢一厘賣唱へであつた

銘柄 約定期 値段 枚數
鐵筋 延二月限 一二五〇 一 二〇
出來高 二萬枚

●綿糸● 米棉相場は休會中現物二十ポイント先物十二ポイント安を示したが十七日情報は廿三ポイント安と落着きを入れ大阪三品は休會前に比し一圓瑞の低落を示したが當市は氣迷ひの態で見送つた

銘柄 約定期 値段 梱數
綿助 三月限 二二一七 二〇
出來高 二十梱

特產

休日明け今朝の市場は仕手關係で概して一齊に强調を呈した▲大豆は現物手傳ひて先物は九錢から十二錢幾分の買氣ありそれに仕手關係の急騰▲現物大豆は油坊二十車三井、三菱で三十車の各手合はせがあつた▲噂によると歐洲方面では當地が安ければ買つてもよいといふ程度に於て幾分の買氣がある模樣である▲今朝も三井、三菱は輸積のため相當の買氣があつたそうである▲しかし歐洲は依然不況であるから當地が急騰すれば買氣一服を呈することは當然なことであらう▲結局當地相場は大勢安ではなからうかと一般に觀測されてゐる模樣である▲油坊工場は相變らずの不振で今日の生產高は四千枚で操業丁場は三軒である

錢鈔

鈔票は五十七圓を中心としての保合商狀を呈しつゝあるが目先觀を綜合してみると▲支那時局は一段落となつたから錢の奥地輸送は幾分旺盛となるであらう又到着錢は漸減傾向であるが▲支那時局は全く安定されてゐない假令安定したところで輸出は不振であらう▲輸入は小み居る模樣である▲在銀は奥地送到着銀減少で次第に減少しつゝあるが閑安で又金融は引弛み傾向である▲これに廣東造幣廠閉鎖銀を一千四百萬オンス賣り出すかも知れずとの風說がある▲又銀價は諸物價に比して高過ぎ日米は金本位的及び正貨現送等で賣り豫想であるといふ▲結局まだ幾分の低落はあるものと觀られてゐる

株式

休日明けの北濱は大株八十錢高を初め諸株共四五十錢高と小猊りを示し東京も强保合を入れたが當市は依然として氣乘薄く閑散裡に保合であつた▲内地市場もこれといふ相場を刺戟するに足る材料に乏しく高具合一つで動いてゐる相場だから値嵩みと安値突込みの浮動玉の出小口の離れと投げが一巡すると相場は終了するので依然保合圏内は脫せられぬ▲當市も標準株の五品が賣買休止中なので他株もこれにつれて氣乘薄く攝て加へて新東株も不動狀態ときてゐるので市場は火の消えたやうな寂れ方だ▲五品の當期手數料收入累計は十六日現在で株式部九千百五十七圓綿糸一萬一千九百圓合計二萬一千二百七十五圓となつてゐる

綿糸

休日中の米棉惨報は棉產地の天候不良に依つて一初め上つたがその後西部の手仕舞ひが出たため反落して各限十六ポイント安を示したとあり各限十六ポイント安を入れたので大阪三品も休會前に比し各限共一圓幾の低落を示し引けは期近保合り二三ポイント安を示したが▲今朝は無材料のため閑散さあし▲三品市場は品カスレから期近物は依然として騰が乍ら先物はヂリ安となり百二十圓臺を割つた▲當市は銀塊高なるも銀票不冴へに華商側氣乘らず一般も米棉の先行不安を見越して見送りの態であつた▲ただ强氣も新買疲れの模樣あり旁々米棉の先行不安に人氣も不引立にあるらしく近物は兎も角先物は今一步下値がありそうな氣配である

最優大 日本生命

財界未曾有の不況にも拘らず、本社の業績は躍進又躍進、昨年度の優良なる成績に比し、更に二割四分以上の好成績を示して居ります。

年初以來新契約高　壹億八千餘萬圓（前年同期壹億四千餘萬圓）

本社の資産内容は、優良無比、株式保有高の僅少と、評價の嚴正とにより、今日の株式暴落時代に於て、尙且つ巨額の評價差益を持つて居ります。

本年五月より實施の新保險約款は、保險料の拂込に於て將た保險金の支拂に於て殆んど無條件でありまして、眞に近代的保險として江湖の稱讚を博して居ります。

この確實なる基礎と此の優秀なる發展力とを有する日本生命の加入者配當が、最も有利である事は、日本生命を更に最優最大ならしむる基本であります。

保險會社選擇の標準は、まづ第一に會社の基礎の確實性、第二に約款の良否であります、有利なる配當とその繼續能力は基礎の確實なる會社にのみ求め得る處であります。

最近の業績

一、契約高　九億五千餘萬圓
一、件數　七拾四萬餘件
一、資産　貳億貳千餘萬圓
一、創業以來支拂保險金　壹億餘萬圓

御申越次第案内書送呈

日本生命保險株式會社
大阪市東區今橋四丁目

新青年 特別增刊

秋季オール・スポーツ號

早大監督を辭して　市岡忠男

突如、驚愕の悲報！名監督市岡氏辭職す！これは氏が初めて發表された切々たる胸の思

我が好敵手論

畏敬する先輩宮武君……（早）小川正太郎
天才投手小川君の爲に祈る……（慶）宮武三郎
高橋投手は果して苦手か……（明）田部武雄
推讚すべき田部君の膽力……（帝）高橋一
大投手の器若林唯志君……（文）繩岡修三
繩岡投手の絶好の制球力……（法）若林唯志

・歐洲競技界の印象　全日本學生競技聯合　森田俊彦
・歐洲轉戰記　デ盃爭霸戰日本選手　安部民雄

小說 勝利　前早大選手　水上義信

昨秋早慶戰の花形水上二壘手の隱れたる名筆を知り給ふや？題材すべて悲壯快絶なる實戰より出でゝ如實に我等が胸を打つ！早慶戰の内面的秘密を知りたくば、この小說に暫らく陶醉せられよ！

▲この他、あらゆるスポーツ記事八十餘篇滿載！

□日本ラグビー戰史……北野幸也
□今秋ラグビー戰豫想……横尾俊彦
□私の見た日本のラグビー……前牛津選手 G・ケイジヤー

大附錄
野球リーグ選手一覽表
ラグビー選手一覽表
ラグビー新辭典

本號にかぎり 五十錢（送料二錢）

東京市小石川　博文館（振替東京二四〇）

鑛業に關する總ての御相談に應じます

大連市兒玉町四番地　電話六五四四番

八丁鑛業所

リボンアート
フランス刺繡
フラワーリリーアート
クレープペーパー
講習
イタシマス
毎週月、木午後一時ヨリ四時マデ
トキワ橋　まるひ屋
電話八五〇八番

新装 カレンダー ポスター 御製造
藤井卯商店
大連市浪速町
電話五八七四
JANUARY 1 一月一日 四方拜

子供の科學　十一月號

本誌獨特なる……

目が覺むるやうな科學畫報

ダブルトン・オフセット・グラビヤ版三色版凡ゆる高級印刷にて科學の不思議や、驚異や、威力を手にとるやうに照會す

▽十一月の空（オセット）
▽雲の生立ち（原色版）
▽航空燈の出來る（オセット）
▽極寒の海（ダブルトーン二頁大）
▽白チョークの祕密（ダブルトーン二頁大）
▽空の覇權を目指して（ダブルトーン二頁大）
▽高原の秋（グラビヤ）
▽宇宙の（グラビヤ）
▽雲か霧か（グラビヤ）
▽大陸の心臟（グラビヤ）
▽世界最大の潛水艇（グラビヤ）
▽ガラスの顯微鏡寫眞（グラビヤ）
▽飛行機の製作（グラビヤ）
▽山火事（グラビヤ）
▽動物のスポーツ（グラビヤ）

將來の交通機關
近代樣式の停車場
本誌の權威模型の作り方
不思議な光電子管
書籍の始りとその歷史
特別大附錄 最新式自動車模型設計圖

定價金五十錢（送料二錢）

東京・神田・錦町一・子供の科學社
振替東京六八六四一
誠文堂

模型の國工作全集　少年技師ハンドブック

全卷完了
動く！走る
立派な模型が自由自在に作られる
親切な圖解
豐富な寫眞

全十二卷　□これでも分賣　□選擇自由

(1) 電氣機關車と電車の作り方
(2) 科學玩具の作り方
(3) 利用モーター模型の作り方
(4) 蒸氣利用模型の作り方
(5) 家庭實用品の作り方
(6) 電氣機械の作り方
(7) 軍艦汽船の作り方
(8) 飛行機航空の作り方
(9) 易しいラヂオの作り方
(10) 高級ラヂオの作り方
(11) カメラと映寫機の作り方
(12) 望遠鏡と顯微鏡の作り方
別册 子供の科學編 特許の受け方 附法規集

本全集は發明發見の母である面白く爲になる課外參考書として各地學校家庭で大好評を極めてゐる。價又空前の至廉

□各册これでも金七十五錢（送料六錢）
□各卷三六版二百頁以上三百頁特製
□本書は各地の書店で販賣してゐますが品切の節は直接本社へ願ひます
□本全集の實行壯嚴に乘じ類似な本が出てゐますから子供の科學社に御注意

誠文堂

婚儀用品と
冬物新柄
牛ゑりが
澤山參りました
是非御用命の程を

浪速町の
小間物化粧品
今中
電話五四〇九番

最新刊　大阪屋號書店

- 滿鐵職員錄　關東廳職員錄　實價二圓送料八錢
- 開東廳職員錄　實價一圓三十錢送料八錢
- 棉花取引所の研究　栗田藤吉著　實價三圓六十七錢送料十六錢
- 將棋はめ手千題　土居市太郎著　實價一圓送料六錢
- 自然科學史　土屋山本共著　實價四圓四十一錢送料三十六錢
- 詩學及詩論　金星堂著　實價一圓七十八錢送料十錢
- 食の卷　大阪朝日家庭双書　實價一圓六十三錢送料十二錢
- 住の卷　大阪朝日家庭双書　實價一圓三十六錢送料十二錢
- 新フランス文學　廣瀬哲士著　實價二圓六十二錢送料二錢
- 世界大發明家廿五人　淺邊軍治著　實價二圓四十一錢送料八錢
- 國民黨と支那革命　安倍源基著　實價一圓五十七錢送料八錢
- 朝鮮政治史　高橋三著　實價一圓五十七錢送料六錢
- 双頭の鷲より赤旗へ（上）　大木篤夫著　實價二圓八十九錢送料十六錢
- 由比正雪（上）　大佛次郎著　實價一圓五十七錢送料十二錢
- 支那關係條約集　外交時報集　實價五圓二十五錢送料二十錢
- 國民道德概論　杉田友吉著　實價二圓九十四錢送料十四錢
- セックス衛生　岡田道一著　實價一圓五錢送料六錢
- エログロ巴里　鈴木秀三郎著　實價二圓三十六錢送料八錢
- 思想的嵐に突破しつゝ　里見岸雄著　實價五十二錢送料六錢
- 新型自動車圖解 シボレー　奧原次郎著　實價二圓四十二錢送料十四錢

最新刊　滿書堂書籍部

- 蒼白の魂　プロレタリヤ文藝　實價二圓十錢送料十錢
- 國民大衆に與ふ　北一輝著　實價五十錢送料四錢
- 貞操を蹂躙されたらどうなる？　宮田實男著　實價一圓五錢送料六錢
- 新種族ノラ　吉行エイスケ著　實價五十二錢送料六錢
- 結婚心得帖　婦女界社　實價三十二錢送料六錢
- 游俠奇談　子母澤寬著　實價一圓六十八錢送料十錢
- 建築師　かげらふの寺崎著　實價一圓四十七錢送料十四錢
- 青久清伎所　西足千木著　實價二圓六十二錢送料十四錢
- 西洋哲學史　帆足理一郎著　實價二圓六十二錢送料十四錢
- 天界と地獄　スエデンボルク著、河原萬吉譯　實價一圓五十七錢送料十錢
- 昭和六年毎日年鑑　大阪毎日新聞社著　實價一圓送料十六錢
- 出門一笑　久保天隨著　實價一圓五十七錢送料十錢
- 享受ご批評　谷川徹三著 文藝論集　實價一圓五十七錢送料十錢
- 眞理の春　細田民樹著　實價一圓五十七錢送料十錢
- 富士に題す　佐藤紅綠著　實價二圓十錢送料十四錢
- いのちの洗濯　谷脇素文著 川柳漫畫　實價一圓八十九錢送料十二錢
- 猶太人ジュス　谷讓次著　實價一圓五十八錢送料十二錢
- 試驗の合格法　松野秀雄著　實價一圓五十七錢送料八錢
- 日蓮上人　山本勇夫著　實價一圓八十九錢送料八錢
- 近代素描選集　アトリエ社著　實價一圓五十七錢送料八錢

社說

映畫の取締

映畫が我國に輸入されて以來こゝに三十有餘年の歳月を經過した。[illegible]至るも未だ映畫に關する者のもの近世における驚異發展に比較して實に輕視さた。既に文學、美術等の著は興行權に比較してより以業性を有する映畫が輕視さたのである。卽ち現行の著中に於ては映畫に關するもに僞作の場合における處分規定せるのみにて、その他保護條項なく大正十四年施論檢閲規定に際して「檢閲際しては興行權を證する書出を命ずる事を得」との規けて漸く無斷複製及び盜寫正行爲を防止し得る樣になこれ以外には全く映畫の著に興行權は保護を受くべきく常に紛糾を惹起しつゝあ今回、內務省が著作權法の行ふに當り映畫に關する著に興行權に關する條項を加することに內定し本議會にるゝべく玆に初めて映畫の並に興行權は完全に確立さしてゐる。

てわが關東廳管下の州內及沿線に於ては廳令として發たる何等の法規なく前記の法の適用を受けるのみにて關に關しては內務省より獨ため內務省の實行檢閲規定されず僅かに廳令の興行及場取締規則の第二章第六條項に於て「演伎者の藝名を事實に相違せる廣告を爲し實に相違する看板を掲げざと規定されたるのみである特殊區域たる州內及び滿鐵おける映畫の著作權に關し人側と外人側に紛糾を生じ毎に邦人側は外人側の資本倒されて不利の立場を持續あつたが今回、多年の懸案州內及び滿鐵沿線における作權問題を解決すべき訴訟許法その他に重大關係あるされ映畫業者は勿論、ひいして、その成行は大に注目ゐる。

映畫の著作權とは映畫の所上映權であつて、この映畫配給上映權はわが國の法律映權は結局、著作權を離れすべきものでない。從つて治權下にある州內及び滿鐵記の如き不備なる著作權法て裁かるべきである。この不備なる映畫に對して全くなる現行著作權法によつて置せんとする時は徒に問題せしめるのみにて、かくてなる資本を有する外人側の以て日本側が配給權を有すよりオール・チャイナーの映畫が常に上映を阻止さるり、また萬一、今回の訴訟 [illegible]

政府の公債發行と
財界、金融界の影響
大藏當局の樂觀意見

【東京特電十八日發】非募債主義を固執し頑として讓らざるべく見えた現內閣も豫て一般の豫想した通り財政の窮迫と失業者の增加から遂に明年度豫算において一般會計において三千萬圓程度の公債發行を覺悟した模樣であり、而してこれが財界及び金融界に及ぼす影響について早くもいろ／＼の取沙汰が行はれてゐるがこれに對し大藏當局は次の如き見解を持つてゐる、卽ち

明年度發行の公債が果して幾許に上るべきやは尙未定であるが假に傳へられるが如く一般會計において **三千萬圓** 程度のものであるとすれば金融界及び一般財界などに差したる影響を與へまい、といふのは現在公債市場が動搖してゐるのは財界不況と相關的に有價證券の値下りを豫想されてゐるにも因るが、主なる原因は非募債主義拋棄が材料でこの影響は既に相場の上に現はれてゐるのみならず、些か行過ぎの觀すらあるから明年度の公債發行額が確定すれば反つて人氣は落着いて行過ぎを停止するやうな事になるであらう、且つ該公債は公募によらず恐らく預金部その他引受による特別發行となるであらうから國債市場及び事業資金などには **何等壓迫** を加へずして濟むであらう、又一部ではこの際公債を發行することは井上藏相の所謂「借金無し豫算」なるものに背反し緊縮政策に逆行するものとなす向もあるが今日の如き非常時に近い財界の狀況に對しては理論一點張りで進み得るものでなく、時宜に應じて緩急よろしきを得る必要がある、殊に產業合理化については政府自身が失業救濟に腕を入るゝにあらざればその促進が困難であり從つてその點から觀れば寧ろ財界に非常な便宜を與ふるものであるといへると觀じてゐる

發列車で國府津に宇垣陸相を訪問し視察狀況につき詳細報告の上明年度豫算對策につき種々報告諒解を求むる處あつた

補充計畫案で 貫徹懇請

【東京十八日發電通】海軍補充計畫は目下大藏省主計局にて查定中なるが三億圓案に大削減を受くる時は國防上不安を生ずる恐れあるので加藤海軍省經理局長は十八日午後一時藏相官邸に藤井主計局長を訪ひ海軍省案の補足的說明をなすと共に海軍省の立場を強調して原案の貫徹を懇請した

補充計畫の前途
◇……政友會側の觀測

【東京十八日發電通】政友會ではロンドン條約締結の結果政府が補充計畫と減稅に對し如何なる決定を與へるやにつき今なほ多大の注意を拂つてゐるが大體左の如き觀測を下してゐる

一、條約の締結により財部海相は海軍部內の不統一を招き且つ今後の補充問題に善處し難き故を以つて引責辭職したのであるが海軍側の補充計畫に對する態度は強硬で殆んど剩餘財源の全部を要求せんとしてゐる

一、然るに政府は極力海軍側の妥協を希望し減稅財源の捻出に苦慮しつゝあるが補充計畫の完成年度延期は絕對に不都合である

一、卽ち一九三六年條約滿期と共に更に新條約生るべく一方同年度より主力艦の代換建造が開始され潜水艦は軍事參議會の奉答文の結論にある如く三大原則に復歸するを要し五萬二千噸が七萬八千噸に復活し二萬六千噸の增加を見ることは必至の現勢である、次に八吋大型巡洋艦も三大原則の實現を見れば對米七割となり一萬八千噸を增加することゝなる

一、以上主力艦潜水艦大型巡洋艦において昭和十二年度よりは更に經費の增額を要し假令他の艦種たる輕巡洋艦驅逐艦において減少する事となるも結局經費增加は免がれぬ、故に十二年度において六千萬圓の保留財源ありとするも夫れにて足りる筈はない

故に政友會としては今回の補充計畫を一九三六年度以降に繰越す事は徒らに同年度以降の海軍費膨脹を招來し豫算膨脹の繰越しに過ぎぬ參議官會議の奉答文の上からいふも國防上の缺陷は條約期間に補充するが當然であるとなし政府はこの結果進退兩難の立場に陷るであらうとてこれが成行を非常に重要視してゐる

阿部陸相代理報告

【東京十八日發電通】阿部陸相代理は十七日午後北海道より歸京したが十八日午後零時十五分東京驛

政治教育と豫算
九十八萬圓餘を計上

【東京特電十八日發】政治教育に關し施設すべき事項につき文部省では明年度豫算に新規事業として計上すべく既に立案を終へたので選擧革正審議會總會において決定案を得次第、右決定案と對照して正式に成案として大藏省に豫算を要求する手筈であるが文部省立案の政治教育案の豫算總額中主なるものは

一、政治教育に關する中等教員講習費十萬圓
二、選擧革正を主眼とする團體を新設しこれに補助金を交付する經費三十萬圓
三、既成の政治教育團體に對する補助金十萬圓
四、政治教育指導者講習會費二十萬圓
五、成人教育講座及移動文庫に要する經費十萬圓

その他を併せて九十八萬五千圓に達するが右の中選擧革正團體の新設（三十萬圓）は未定で、現在決定の分は六十八萬餘圓であるが、これでも新規事業費としては膨大な案であるため審議會總會を經て後正式要求案作成の際には會計課において適宜削減して大藏省へ廻付する筈

チエ國政府 支那に公使館

【プラーグ十七日發電通】チエッコスロバキア政府は支那へ公使館を新設する事となりロベルト・フアーチャー氏を初代公使として任命するに決した

濟南事變の行賞
人員約二萬名に上る

【東京十八日發電通】昭和三年支那事變論功行賞の中第三師團の分は十八日發表されたが人員約二萬人に達してゐる中將官級の行賞左の如し

勳一等瑞寶章一時金九百三十圓 陸軍中將 安滿 欽一
一時金四百圓 陸軍少將 佐藤 三郎
旭日中綬章一時金四百二十圓 陸軍少將 倉岡 直熊
一時金三百圓 [illegible]
陸軍々醫監 宮崎 弘輔
勳二等瑞寶章一時金五百二十圓 陸軍少將 蜂須賀喜信
勳二等瑞寶章一時金五百二十圓 陸軍少將 三宅 光治
勳二等瑞寶章一時金九百三十圓 陸軍少將 牛島 貞雄

外米輸入關稅
約二倍に引上げる
法制局に改正案廻附

【東京十八日發電通】農林省は米穀對策として外米輸入輕減令の延長並に外米輸入關稅の引上げを行ふ事となり現行輸入稅百斤一圓を二圓（一石二圓五十錢を五圓）に引き上ぐるに方針を決定し本日改正案を法制局に廻附二十日米穀委員會に附議する事となつたので町田農相は十八日午後一時濱口首相を訪問し此の旨を報告諒解を求めた

大藏省引上に同意

【東京十八日發電通】農林省が米價對策として外米輸入關稅引上げの意嚮を決定したに對し大藏省もこれに同意するに決定二十日の米穀調査會に諮問し米穀法第二條に基き外米輸入關稅を引上ぐるに內定した

在滿邦人と公民教育の急務
（三）
奉天 根岸卯太郎

[illegible]人なしには、どう[illegible]ことが出來ない[illegible]る鑑の飯を食ふ、[illegible]同じ屋根の下に[illegible]族の生活が始まり[illegible]ら發達して、今日[illegible]な、國家生活とい[illegible]のである。斯く願[illegible]から今日の國家生[illegible]でには、數千年の[illegible]である。隨つて「[illegible]の內容も改まり且[illegible]になつた。今日謂[illegible]とは非常に廣義な[illegible]國家の一員を指すことになる。

苟くもその人にして國民生活に伴ふ權利を把持し、正眞正銘その國民として一員である以上は、彼を公民と呼ぶことに躊躇するものでない。斯く國家は同じ民族の男女の集合であつて、その國家の庇護の下に、國民各自はお互に、社會的交渉を行つて、生活してゐる事實を思ふ時、我等は必須的に其處に、幾多の相互關係が存在することに氣づかざるを得ないのである。

さてこの相互關係こそ重要なものであつて、國家生活又は社會生活には、種々な意味において又複雜なる方面において、相互關係が存してゐる。假令ば牛乳配達にしろ、八百屋にしろその他種々なる商賈は、皆我等と密接な生活上の交渉を有してゐる。それはいふまでもなく單に經濟的の關係であるが、又郵便の配達とも交渉があれば、巡査との間にも同じ關係が成立つ、斯く數へ來れば殆ど際限がない位のものである。斯の如く考へて見る時は、決して人は孤立し能はざる程のものである。必ず其處に社會的關係が必要とすることが明になるであらう。かゝる社會的關係には種々な種類がある、その二三を擧げて見るならば、政治的、宗教的、法律的、經濟的、家庭的等である。我等は結局其の社會的關係の網目を、逃れることは出來ないのである。

斯く吾々は他人なしに生ることが出來ない。換言すれば社會的生活を營まなければならぬことは分つて先た。しかしそれと同時に吾々はその社會生活を規定する共通の、法則が無ければならぬことに氣つく必要がある。卽ち必然的に義務と權利との、二方面が展開されて來る。我等は國家及び他人に對して、奉仕すべき義務あると共に、又他と等しき享受し得る權利をも有つてゐるのである。而して權利と義務とは本來不可分のものである、それは恰も銀貨の表裏のやうなもので、この兩者が具備しなければ、公民生活の完成を期し難いのである。

公民教育と成人教育協會——公民教育が高調されたのは、あながち今世紀に入つてからではない。只現世紀に入つてから特にその主張が、民衆化されたことは事實である。十九世紀までは折角の公民教育も階級觀念に支配されて居て大いにその精神の徹底を缺いてゐた痕跡がある。古代ギリシヤにおいては公民教育は、只所謂都市居住者に限られてゐた。

さうして加ふるに奴隷と婦人とを圈外においた。ロオマにおいては公民教育を只政治教育と混同せるが如く、社會人としての教養を忘れてゐた。中世紀に於ては凡ゆる教育機關は、宗教的教權に屈從してゐたので、自由な社會人として公民としての教養は望まれなかつた。その後宗教改革文藝復興相次で起り、個人の自由が尊重されるに至つたけれども、十九世紀までの世界は（勿論今世紀と雖も或程度迄同じであるが）階級觀念に支配されて、公民教育の範圍が著るしく限定されてゐた。尤もその間に在つて英國に例をとつて考ふるならば、少數の先覺者があつて「萬人のための教育」換言すれば公民教育の普遍化に盡瘁しないではなかつた。例へばロバート、オーエンの如き、又ジョン、ラスキンの如き、或はマリウスやキングスレー及びラドローなどの起した勞働學校の如き、皆教育解放の叫びでないものはないのだが、しかし未だ一箇の底力のある、組織的運動とならずに濟んだ。尤も是等が今世紀に入つての教育解放運動の爲の、醱母の役目をしたことは確である。是に加ふるに諸大學當事者が率先して、所謂象牙の塔から街頭に出で、下層社會勞働者間に、教育を普及せむとしたことも亦、社會を覺醒せしむる力であつたに相違ない。しかし眞に英國に於て「萬人のための教育」「全國民のための公民教育」が強い經濟上の根柢に立ち、更に知識階級の支持を得、加ふるに勞働階級の贊成を得て、組織的に堂々と實行の途についたのは何と言つても今世紀に入つてからである。殊にかゝる運動の代表的なものはアルバート・マンスブリッヂに依つて創始された、成人教育運動（又は勞働者教育運動）である。

抑々の運動の精神たるや、先づ教育を解放して、毫も階級思想に煩はさるゝことなく、萬人をして社會人たるに必要なる、公民的教養及び精神を遺憾なく涵養せしむるに在る。而して最もかゝる公民教育の恩惠から、遠のいてゐたのは勞働者達であるが故に、該協會の努力が主として、下層社會に向つて注がれたのは當然のことといふべきである。かくて如何なる卑賤な勞働に從事してゐる者にも、一個の公民たる自覺を有たしめ國家社會の一員としての本分を完ふせしめんとするのがその願望である

東京灣上で
壯烈なる空中戰
海軍大演習第二期戰

【橫須賀十八日發電通】海軍特別大演習は十八日午前六時を以て第二期戰の火蓋を切り青軍（防禦艦隊）は南は馬公より北は大湊に至る戰線を張り赤軍（攻勢艦隊）は十七日南洋方面より漸次北上しつゝ各支隊に接戰を展開しつゝ攻防戰を演じ、十八日の夜より十九日にかけ東京灣上にて攻防兩航空隊の壯烈なる空中戰を演ずる豫定である

大演習陪觀

【東京十八日發電通】アルゼンチン協和國では來月行はれるわが陸軍特別大演習陪觀のため陸軍砲兵大佐エンリケー・ハウレギ氏を我國に特派する旨十八日陸軍省に通知があつた

米航空母艦建造
一千二百萬弗の豫算

【ワシントン十八日發電通】アメリカ海軍省は十七日航空母艦一隻の新建造契約に承認を與へこの經費一千百五十六萬弗支出を決定した

太平洋會議は 明年十月
支那で開催決定

【北京十八日發電通】第四次太平洋會議は會長代理チャールス氏と當地支那委員との折衝の結果明年十月二十一日より十一月四日まで北京又は上海にて開催

一、食糧人口問題
二、土地利用問題
三、移民種屬問題
四、太平洋諸國の經濟關係問題
五、東洋西洋諸國間の外交、文化問題

南京政府の 緊縮政策
宋部長態度強硬

【南京特電十八日發】國民政府財政部長宋子文氏は來る十一月十二日開かるべき第四次中央執監會議に對し、行詰れる國民政府現下の財政改善の一策として極端な緊縮政策實行の提案を爲す筈で、若しこの提案が容れられなければ宋子文氏は提案者たる責任上斷然その職を去る意嚮だと觀られてゐる

女縣知事の 首繋ぎ運動成功

一昨年河北省の縣長試驗に合格して同省の某縣々長に任命され支那唯一の女縣知事として一時有名であつた郭鳳鳴女史は河北省が山西派から奉天派の天下と代つたので首繋ぎ運動のため數日前來奉し張學良氏に面會諒解を求むるところがあつたが新人張學良氏のことゝて大分女知事がお氣に入つたらしく首の保障を得て引下つたと（奉天電話）

滿鐵部長の權限
社員任免等の選擇權擴張
近く重役會議で決定

滿鐵の部長職務權限に關する總務部案は略出來上つたので豫算會議終了後重役會議に提出する筈であるが大平副總裁の歸連期が遅れゝば多分經營豫算會議了後提出することゝならう、新內規によれば從來の部長權限に比して全般に亘り擴張されるが主要なる部分は成案を提出せずして自由協議し席上にて決定することゝならう、改正の主なる點は豫算の實行については、例へば工事の如きは十萬圓を限度とし豫算變更については三分の一或は三萬圓以下を限度とし部長の專決權を認めてゐたものを更に限度を擴大し人事に關しては從來部長は事務員及び技術員の任免權を有しなかつたが改正後は原則として部長がその權限を有し統一上實際上の便法を設けることゝならうこれと同時に各課長の職務權限もそれ／＼一部改正される筈

失業問題に 英各政黨協力

【英國トーキー十八日發電通】當地に開催中の自由黨大會で黨首ロイドジョージ氏は失業問題解決につき各政黨の協力を提議し同案は關稅問題につき好意を以て考慮せんと述べた

聯絡會議委員會
きのふ午後の議事

日滿旅客聯絡委員會第二日（十八日）午後は二時より開會、午前中別室にて鐵道省、滿鐵、東鐵各委員によつて下打合せを行つた結果鐵道省提案第二問題の

日滿聯絡運輸における各關係運輸機關の金弗貨運賃割引の件

は近き將來において東鐵は現行規則を改正するの意向を有してゐる旨を聲明したので鐵道省委員は右聲明により東鐵の誠意を了とし同問題の審議を打切つた、但し東鐵が次回會議までに改正せざるときは更に同問題を提案することの權利を保留するところあり引續き

聯絡乘車券の代賣手數料に關する件（東鐵提案）

の審議に移つたが本問題は詳細且愼重に論議するの必要あるを以て二十日開催される小委員會に依つて附議することゝなつた

團體旅客の最低人員を十人に一定する件（滿鐵提案）

提案の趣意は認むるもこれが解決については次回まで保留、而して東鐵は本問題解決の參考資料とするため各關係輸送機關は地方的規則を東鐵に通知することゝなり更に

列車または汽船運行の不能になりたる場合における通知方規程の件（滿鐵提案）

は滿場異議なく可決し三時半散會した

小委員會 審議三案
あす午前開會

別項委員會は十八日午後三時半無事終了したが二十日午前十時より小委員會を開催し左の三案を審議することゝなつた

一、聯絡乘車券の代賣手數料に關する件（東支提出案）
二、運賃料金改正の際新舊何れの運賃により計算すべきやを定むるの件（鮮鐵提案）
三、旅客が自己の都合により途中に於て旅行を中止したる場合及びその他の場合における運賃拂戾方に關する規程改正の件（鮮鐵提案）

なほ小委員會に出席する各機關の代表は左の諸氏で烏鐵は東鐵側委員にまた大阪商船、北日本汽船は鐵道省委員にそれ／＼委任することに決定

▲東鐵側 商業部旅客係員ペリコフ、同係宗吉兩氏
▲鐵道省側 東京鐵道局副參事加藤鎌三郎、經理局調査課員長橋明俊兩氏
▲朝鮮鐵道局側 營業課員福田登氏
▲滿鐵側 聯運課第三係主任千葉凱雄、鐵道部經理課審査係主任沖田迅雄兩氏

而して同小委員會は午後二時頃までに終了の豫定であつて終了後直に本委員會を開催小委員會の報告を受けることゝなつてゐる、なほ廿一日は午前十時より大連ヤマトホテルにおいて第二次本會議を開催伊藤委員長より委員會における決議の報告をなしその承認を受けることになる模樣である

屎尿契約解除 原案可決

志岐信太郎氏に對する屎尿賣買契約解除に關する第三回委員會は十八日午後二時より大連市役所において開會、原案と過般視察した實狀とを綜合して愼重審議を進めた結果、原案に屎尿賣買に關する契約解除と字句を訂正し原案を可決、同四時半散會した

大平副總裁 廿三日門司發

【東京特電十八日發】十七日門司發ばいかる丸で出發の豫定であつた大平副總裁は怪我の治療その他のため豫定を變更したが多分二十三日門司發のうらる丸で歸任することゝなる筈である、然し東京出發期はまだ未定

井上大將日程 けふ午後來連

參議官井上陸軍大將は十九日午後五時旅順より來連星ケ浦ヤマトホテルに投宿するが、二十日午前八時三十分ホテル出發、午前は準頭碧山莊、滿蒙資源館を視察し、午後は大連神社參拜、滿鐵訪問、中央試驗所、露天市場を視察の後同四時三十分歸宿、二十一日發のばいかる丸にて歸國の途に就くと

關東廳辭令（十八日）

任關東廳屬 關東廳專賣局技手陸軍二等藥劑官從七位勳六等 對馬 定勝
三好 寬吾
任關東廳醫院調劑手 關東廳醫院調劑手 齋藤 清康
任關東廳專賣局技手 酒匂 清彥
任關東廳醫院書記 柳生 清
任關東廳衞生書記ニ任ス 關東廳醫院調劑手 袴田 東平
關東廳醫院書記 大野虎之助
依願免本官（各通） 關東廳衞生書記
願ニ依リ本職ヲ免ス 酒匂 清彥
關東廳教官主事ニ任ス 山本喜喜太
高等官七等ヲ以テ待遇セラル 教育主事 山本喜喜太
七級俸下賜
體育研究所主事ヲ命ス
同 關東廳事務官 辛島 知己
同 松崎 寬司
官有財產調査委員會委員ヲ命ス
同幹事ヲ免ス 關東廳警務局長 米內山震作
上京ヲ命ス（十六日） 同 中谷 政一
任關東廳屬（十三日） 內務屬 松原 重一
福岡縣糟屋郡箱崎尋常高等小學校訓導 任關東州小學校訓導 伊藤キヨ子

安樂椅子

十八日の晝に、大連製氷會社の榮町工場落成披露宴があつた、佐藤社長の挨拶に對し、村井商工會議所會頭が來賓總代として祝辭▲その村井さんの祝辭の內に滿洲における日本人經營の會社も澤山だが、或は興り、或は仆れ、そこに幾多の波瀾を有してゐるに、獨り製氷會社は、絕えず進一進の徑路をたどつて今日に至り、大連に二工場、靑島に一工場のほか、更に這次第三工場を榮町に建つるに至つたとは驚異であるこれ事業の時世に適應したるによるべけれど、經營その人を得たるによらずんばあらずであると▲聽くものは皆これに首肯を與へた、事業はこれでなくちやならない、だが製氷事業も更に發展して滿洲の生產で、內地の食料問題を解決するに有效のものとならなくてはその事業に滿足を與へられない、願はくは製氷會社も、今一奮發でこの域に達して貰ひたいとは列席者の所感

株式

市況（十八日）
內地株弱含み 當市弱保合

大阪後場引は前場引に比べ大株三十錢高、大新三十錢安、鐘紡五十錢高、鐘新二十錢安、東京短期後場寄も前場引に比べ新東三十錢安と弱含みを報じたので當市も大新十錢安、新東三十錢安と弱保合を呈した

後場引

▲現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
信託	—	—	—	—
新豆	—	—	—	—
新鈔	—	—	—	—
氷新	—	—	—	—

◇現物（乙部）
大新（寄 [illegible]／引 —）　新東（寄 [illegible]／引 —）
鐘新（寄 —／引 —）　滿鐵新（—）

特產

仕手關係から 各品強含

後場の市況は依然仕手關係から各品一齊に強保合を示し商內又活況を呈した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（強保合）單位屆

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一百〇四車

▲豆粕（保合）單位屆 ▲普通大豆（不申）

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 五萬七千枚

▲豆油（不變）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇

出來高 二千五百箱

▲高粱（小粒）單位屆

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	—	—	—	—
十一月末	—	—	—	—
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	—	—	—	—
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 七車

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

品目	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	六六七〇	六六八〇
出來高	二十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二二三〇	二二三〇
出來高	五千枚	
豆油	一九五五	一九五五
出來高	一千箱	
包米	出來不申	

錢鈔

人氣添はず 依然頭重

後場の市況は更に人氣添はず依然伸惱商狀の保合で大引

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近 二百五十一萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	不申	[illegible]	[illegible]
三時半	不申	不申	

出來高（銀對金 二萬五千圓 銀對洋 五千圓）

商品

三品反騰に 當市賣込む

大阪三品後場引は前場引に比べ三月限二圓二十錢高、その他各限とも一圓內外の反騰を報じたので當市は相當大手筋新規賣があつた

市場電報（十八日）

綿系定期取引

銘柄	約定期	值段	數量
福助	一月限	一二二六六	五〇
同	三月限	一二二七	一五〇
同	同	一二二四	一〇〇

出來高 四百梱

神戶特產

品目	值段
大豆現物	四九〇
大豆先物	三九五
豆粕現物	一四〇
豆粕先物	二四〇
滿洲小麥	三七五
豆油現物	一七八〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一〇〇四〇	一〇〇四〇
東新	八八二〇	八八二〇

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
東新	不申	不申
新信	不申	不申

	東新	鐘新
寄値	八八六〇	五六〇〇
引値	八八四〇	五五九〇
高値	八八七〇	五六一〇
安値	八八二〇	五五五〇
滿鐵新	不申	

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	不申	五五七〇
大新	四二一〇	四二〇〇
鐘紡	一三五四〇	一三五二〇
鐘新	五六六〇	五六五〇
日糖	二七八〇	二七九〇
郵船	二五七〇	不申
東新	八七九〇	八七七〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十月	一三九二〇	一三九九〇
十一月	一三五八〇	一三六三〇
十二月	一三〇七〇	一三一二〇
一月	一二六三〇	一二七三〇
二月	一二三三〇	一二四四〇
三月	一二一八〇	一二三四〇
四月	一二〇四〇	一二一二〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
十月	一八〇五	一八一五
十一月	一六三六	一六四〇
十二月	一五五四	一五三〇

神戶期米

限月	後場寄	後場引
十月	一八六〇	一八六〇
十一月	一六二九	一六二六
十二月	一五三四	一五三九

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	一八六三	一八七一
十一月	一六四三	一六四七
十二月	一五三九	一五四七

コドモ

草花……にも　やっぱり魂がある

太郎さんの聞いた　蠅取り草や人を食ふ植物の話

太郎さんは草花を千切ることが大好きでした

「あゝきれいな花が咲いてゐる」

太郎さんがさう思つた時にはもう其の美しい花が太郎さんの手に千切られてゐるのです

太郎さんは野原に行つても山に登つてもむやみに花を千切りました、しかし其の花を家に持つて歸つて花瓶にさすでもなく歸りにはもう道ばたに捨ててしまふのです

ある日のことです、太郎さんはお父さんにつれられて近所の山に登りました、山にはかあいらしい秋の草花が時を得がほに美しく咲きそろつて柔かな秋風になびいてゐました

「お父さん、あそこにきれいな花が……」

太郎さんはさう言つて驅て行かうとすると

「ちよいとお待ち」

お父さんは太郎さんの肩をおさへました、

「むやみに草花を千切つたりするものではない、草花にも人間と同じやうにやつぱり魂があるのです　草花には口がないから痛いとも何とも言ふことは出來ないが、千切られた草花はどんなに悲しんでゐるかわからない」

お父さんはさう言つて次のやうなお話を太郎さんに聞かせました

「太郎はまだ蠅を捕へて食べてしまふ草のあることを知らないだらう、この草は蠅取草と言つて背の低い木であるが、此の草の葉の内側には蠅の好きさうなおいしい甘い汁をいつも出してゐる、そしてそのいゝ匂におびきよせられて其の上に蠅がとまると其の葉は忽ち蠅を包んでしまひ何日もかゝつて其れを食べてしまふのだ、食べ終ると葉はもとどほりに開いて又次の蠅の來るのを待つてゐる、どうだ面白い草だらう」

「まるで動物のやうですね」

「まだ／＼面白いのがある、これは南アフリカにあるアカシヤの一種で自分のからだを護衛させるために澤山の蟻を木の上に養つてゐるのがある、何でも此の附近には植物の葉を食ひ荒す昆蟲が多いさうであるが、此のアカシヤは葉の先の方から蟻の好きなおいしい蜜を出して蟻に御馳走を與へてやつてゐる、そこで蟻は此の木の根元に自分の巣をこしらへ、常に木に上つたり下りたりして生活してゐるが、此のアカシヤに取つて蟻達は全く近衛兵で葉を食ひ荒す昆蟲が來ると蟻は忽ち其の昆蟲を追ひ拂つてしまふのださうだ」

「かしこいアカシヤですね」

太郎さんは感心してゐます

「まだ／＼變つたのがある、ボルネオや、スマトラあたりに行くと恐ろしい殺人植物があるさうだ、フランスのある探檢家の話によると、此の草は高さが六十尺もあり花は六尺もあつて葉の表面からは恐ろしい毒ガスを出しそのあたりに一日も居ると動物でも人間でも忽ち死んでしまふといふのだ、それからもつと恐ろしいのはアフリカの東南沖のマダガスカル島にある人食ひ植物だ、まるでパインアップルのお化のやうな高さ十尺もあらうといふ莖の下の方には長さ十二尺位もある大きな葉が生えてゐてその葉は風もないの常にブル／＼慄へてゐる、そして莖のてつぺんには何ともたとへやうないおいしい汁がたまつてゐて、その蜜によぢ登つて其の汁を食べると人間でも鳥獸でも忽ちからだがしびれてしまひ、それと同時にまわりの大きな葉はスク／＼と立つて人間を包んで食べてしまふのださうだ」

「恐ろしい草ですねえ」

お父さんのお話をじつときいてゐた太郎さんは、すべての草花にも人間と同じやうな魂があるやうに感じられて來ました、そしてこれまでむやみに草花をむしり取つては捨てたことが何だか恐ろしく思はれて來るのでした。

アフリカ土人の面白い狩り

アフリカの土人は鐵砲を持たないので狩をするのには弓だとか槍などを使ひます、しかし矢は鐵砲のタマのやうに遠くにとゞきませんから、土人はいろ／＼工夫をして動物に近づいて行きます、駝鳥の皮を着て駝鳥の群に近づいたり、頭に水鳥の皮をかぶつて湖の中を泳ぎ廻りながら水鳥を捕へたりすることは中々上手です、此の寫眞も其の一つで今一人の土人が頭に鳥の首をつけた帽子をかぶり手に弓を持つて鳥のそばに近づいてゆくところです、

ヒロチヤン　ト……ジヨン

ヨウイチロ

ジヨン ハ ヒロチヤンノ ダイノ ナカヨシデス、ジヨン ハ タイヘン カシコイ イヌデ ヒロチヤン ノ イフコト ヲ ヨク キキマス。ヒロチヤン ガ カバンヲ サゲテ、ガクカウ カラ カヘルコロニ ナルト、ジヨン ハ マチノ カドノ トコロニ キテ、マイニチ マツテヰマス ソシテ ムカフノ ハウニ ヒロチヤンノ カゲガ ミエルト、ジヨン ハ イキホイヨク トンデイツテ ヒロチヤン ノ ムネニ トビツキ、リンゴノ ヤウナ ヒロチヤンノ ホツペタ ヲ ペロペロ ナメマス。ヒロチヤン ハ オカアサン カラ オクワシ ヲ モラフト ハンブン ハ ジヨンニ ヤツテシマヒマス。ジヨン ハ アヤシイ ヒト ヲ ミタリスル ト モノスゴク ホエツキマスガ ヒロチヤンガ『ジヨン イケナイッ』トイツテ シカルト ホエルノヲ スグ ヤメマス。コノマヘ ヒロチヤンガ ジヨン ヲ ツレテ ヤマニ イツタトキ、ジヨンハ ウサギヲ ミツケテ ヤマノ テツペン デ トウトウ ツカマヘテ シマヒマシタ。ジヨン ハ ヒロチヤンノ オトウサンガ ガイコクニ イツタ トキ ヒロチヤンノ オミヤゲニ カツテキテクダサツタ イヌデス。

カンガルーは　高飛びの　レコードホルダー

動物の中でハイジャムプのレコードホルダーは何と言つてもカンガルー君でせう、皆さんの中にはどこかの動物園で此のカンガルー君を見た方があると思ひますが、寫眞でごらんの通り後脚がまことに長くピョーンと一跳ね跳ねると八尺位の高さのものを平氣で跳び越えます、ところで此の動物のおかしなことは雌のお腹に袋がありその袋の中にお乳がぶら下がつてゐてこどもをこの袋の中に入れて育てるのです、變な動物ですねえ。カンガルーにはいろいろ種類がありますが大カンガルーは身長が四尺もあつて立ち上ると六尺位にもなります。此の動物は元來おとなしい動物でめつたにけんくわをしたりしませんが、どうかするとお互同志で大喧嘩をすることがあります、其の喧嘩がまことに珍妙で後脚をあげてムチャクチャに相手をひつかきまわし、ひつかかれた方も血みどろになつてひつかき返しますが、他のカンガルー共はそれをだまつて見物してゐる、そして負けた方がしまひに逃げだしてしまふ、其の逃げる格好はまことにこつけいださうです。

綴方

遠足

松林小學校三年　福田澄子

敷島廣場からでん車にのりました。水源地でおりて水道橋を渡つてずつと行くと、ぼくじやうがありました。そこには牛が一つぱいゐてみんな白と黑のきれいな牛ばかりでした。

原がわは青々とした草がはえてゐました。そこに木がいつぱいうえてありました。

龍ケ岡についてすこしやすみました。はたけには、かんなやだりやや、百日草がさいてゐました。だんだんをおりて下の方には池もあり、まつかな花もさいてゐました。

小道を通るとどつちを見ても草のう園にはいろいろ色々の種類の木ばかりでした。ぶどうがふさ／＼となつてゐました。りんごも、すずなりになつてゐてとてもおいしさうでした。

星ケ浦の山に來ておべんたうをたべました。そこでは西洋人がゴルフをしてゐました。そこでまめちやを一ぱいとりました。

それから星ケ浦にいつて海べであそびました。それから電車にのつてかへりました。昨日はほんとに面白かつたです。

雨ふり

松林小學校二年　濱崎ミツ子

私が學校からかへつてしばらくすると、雨がチョボ／＼ふり出しました。

おかあさんに「雨がふりだしたよ」といふとおかあさんは、いそいでせんたくものをお入れになりました

その時に、かはいらしい子ねこがはいつてきたので「おかあさんねこがはいつてきましたよ」といひますと「さう、かはいさうだから入れておきなさい」とおつしやつたので、入れておきました。

そして、赤と青とのきれで、くびわをして、はめてやりました。

初秋

大連常盤小學校五年　齋藤匠一

今朝は、めつきり寒い、外に出て見た。秋風がひいやりほほに當る、山に登らうと思つて外に出たのであがる、あまり寒いのでもう行きたくなくなつた、思はず手がブル／＼ふるへる、おもてを牛乳屋が勢ひよくかけて通る、腕をくんだクリーが口から白い息を吹きながら通る。

どこかでブーと汽笛が鳴つた、山田さんの、お母さんが庭で落葉をはいて居る。

前の通りの街路樹はゆふべの雨にうたれたのか葉が黄色になつてゐる

二三歩あるいて見た、雀が屋根でさへづつてゐる。

懸賞童話（丙賞）　遊びに出る金魚

早水遼子

三人の子供達は出窓の上の四角い大きな硝子の鉢の中に、ゆらゆらと尾や鰭を動かして泳いでゐる金魚を見ながらお八ツを食べてゐました。

「ビスケットおいしいな、僕金魚に分けてやらうかな、お姉さん、金魚ビスケットを食べる？」五ツの定男さんが蝶子さんにきゝました。

「食べるかもしれないわ、でもやつては駄目よ、ビスケットなんて人間のお菓子ですもの、金魚がおなかを悪くしますよ」十の蝶子さんはお姉さんぶつて教へました。

「僕は金魚がいつも／＼小つぽけな鉢の中でよく退屈しないと思ふなあ。僕だつたら退屈きちやうのになあ」八ツになる成吉さんは日に燒けた口のはたに餡こを附けたまゝ言ひました。

「あら、成ちやん、餡こが附いてゝよ、口の傍に」蝶子さんはさも可笑しさうに笑つてから、急に眞面目な顔付になつて

「私もさう思ふわ、同じ鉢の中にゐるばかりで、よく退屈しないわね」と云ひました。

「金魚はいつも鉢にゐるのぢやありませんよ、成ちやん達が夜眠つてしまふと、金魚は鉢から出て公園の大きな池に遊びにゆくんですよ」その時まで部屋の隅で、子供達のお喋りも聞こへない樣子で新聞を讀んでゐらした叔父さんが急にかう仰有いました。

「本當？叔父さん、本當？」

「嘘だわ、又叔父さん私達をだますのよ」

「嘘ぢやない、本當とも、叔父さんが昨夜、夜中に見たら鉢の中が空つぽだつた」

「嘘だ、嘘だ、水が無いのにどうして公園まで金魚が行かれる？」

「嘘だわねえ」と三人の子供達は同點しました。

「本當とも。水が無くともお月樣の光の中を泳いで行くのさ、この窓からお月樣が鉢の中に射し込むだらう、すると金魚達は大喜びでお月樣の光を泳いで公園のお池に行つて鯉と遊戯したり、鬼ごつこしたりして遊ぶのさ」

「ぢや僕達今夜寢ないでかくれて見てゐよっか」と定雄さんが言ひました。

「見てゐたら金魚は利口だから決して遊びに行かないよ、さうだ。好い事がある」と叔父さんは大きな聲で言ひました。

「なあに、どんなこと？」と子供達はお菓子を放つて叔父さんのまわりに集まりました

「今夜も、若し夜中に鉢が空っぽになつてゐたら、叔父さんがお月樣の光のさゝない所に鉢を持つてゆかう。すると金魚は窓まで歸つて來ても鉢の所まで泳いで行けないから公園に戻つてゆくよ、朝起きて鉢が空だつたら、お前達にも金魚が公園に行くことが分るだらう」

「たつてさうしたら、うちに金魚がなくなつちまうなあ」と定ちやんが心配さうに云ひました。

「大丈夫、あさつての晩、窓の所に置けば又歸つて來るよ」

「ぢや、さうしよう」子供達は嬉しさうに言ひました。

夜になると子供達はいつもより早く床に入りました。早く明日になれば好いと思つて、そして三ツ並んだ寢床の中で眠るまで金魚が明日の朝居るか居ないか話しあひました。

翌日の朝一番先に目が醒めました成吉さんは、直起きて見に行きましたがやがてびつくりした顔つきで歸つて來ました。

「お姉さん、起きなさい、金魚がゐない、本當に居ない」

「えッ居ない？本當？」

三人の子供は寢卷のまゝぞろぞろと駈け出しました。行つて見ると月の射さない部屋の隅に置かれた鉢には水だけ殘つてゐて、澤山の金魚は一匹もゐなくなつてゐました。口もきけない程驚いてゐると寢卷の叔父さんがのつそり入つていらつしやいました。

「どうだ。ゐないだらう」

「不思議だなあ」

「おかしいわねえ」成吉さんと蝶子さんは心から驚いた樣に言ひました。

「金魚又歸つて來る？」と小さい定ちやんは心配さうでした。

その時女中の千代が大きなお鍋を重さうに臺所から下げて來ました。叔父さんは急いで止めようとしましたが、千代は氣附かずに、

「誰方でせう、お鍋に金魚をお入れになつて」と云ひながらザアッと鍋をかしげると、赤い金魚は美しく鉢の中を泳ぎ出しました。

子供達はアッといたづらな叔父さんにかぢりつきました。しばらくは叔父さんの「痛い、痛い、ごめん、ごめん、あやまつた」など云ふのが、子供達の明るい聲に雜つて聞えました。

滿日各地版

奉天

旅團演習了って愉快な宿營　奉天に休養の將卒

第十六師團の旅團對抗演習は既報の如く十六日の拂曉戰を以て全く終局を告げ三千餘名の將卒は秋季演習中最も樂しかるべき奉天市內の指定宿所に散宿し一日乃至二日間の休養をなした

◇

七日間も十日間も殆ど不眠不休で何十里となく突破し追擊、突擊限りある身體を全く限りないほど動かし動かして疲れ切つてゐる身體を市民が心から迎へて吳れる家に休養する……これが最大の樂みである

◇

隨分お疲れでせう、どうぞお湯へ、何にもありませんがほんの粗末な料理ばかりで……どうぞごゆつくりお休みなさい……と兄弟も及ばぬ心盡し……國家のためとはいひながら恰も家庭にあるが如きのこの親切に沈着で機敏で、豪膽であるさすが將卒も淚を以て感謝する

◇

十七日は秋には珍しい小春日和、各自私用をすまして三々伍々市內を見物、買ひたいものは澤山あるが演習中荷物の多いのだけは一番人にとつて重大問題である鷹紙、タオル位を求めて歸る

◇

愈々出立、各宿所では今後の辨當にと二回分も三回分も作つてくれるその厚意は有り難いがこれ又荷物の一となつてなるべく少くする、誠に有り難うございましたと宿所の所に氏名と手帳に控へて勇しく出立十七日夜揃つて北行長春方面に向つた一年に一度あるかなきかのこの宿營奉天市民としても大に記念すべき日である

梅蘭芳の興行中止

張學良氏夫人于鳳至女史の主宰する遼寧水災協賑會は義捐金募集のため來月下旬北京から梅蘭芳を迎へて盛大な慈善演劇會を開催する計畫で準備中であつたが梅一座を招聘するには莫大の費用を要するといふので遂に中止することゝなつた、しかし梅蘭芳は天津興行中の收入の一部を義捐金に寄附することになつてゐると

飲食店への卸賣忌避　ケチな日本商人

奉天飲食店組合が時代の趨勢に順應して酒、醬油等の自家必需品の廉價仕入機關たる購買部を新設し顧客に對する利便を圖る計畫を樹てゝゐるに對し市中卸商並に輸入組合でもこれを喜ばず組合への卸賣を忌避する態度に出てゐるが、これに對し白石飲食店組合長は左の如く語った

吾々のこの計畫は最初組合としては自衞的手段であり又顧客に對してはサービスの一つでもありしかも人氣商賣であるので市中の卸商とも協調して取引を決行しやうと思つてゐた、然る處卸商側は市價を亂すものなりとの理由で卸賣りを忌避され吾々の期待に反するやうになつた、吾々としても奉天に居住してゐる限り在奉商人相互扶助の精神から此話を進めたのであるがかやうな結果となつたのは遺憾千萬である、吾々の計畫に對しては大連からも撫順からも種々好意的照會に與つたのであるがかゝる意志で奉天で物品の入手が出來ない場合は他から購入してこの計畫を遂行する積りである

立川署長就任式　十七日同署の講堂で

半歲餘りで奉天署長は漸く決定した、署長に任命された立川俊三郎氏の就任式は十七日神嘗祭の佳節をトし嚴かに本署講堂に於て擧行された

久し振りに署長を迎へるやうになつた署長室は十七日は早朝より明け放されて塵一つなきまでに清められ中央の署長席たる廻轉椅子は立川署長の出廳でどつかと腰が据えられ署長としての書類の整理をなし講堂に署員一同を集めてこれ又署長としての一場の挨拶で式が終り再び署長室に納まる、愈々落ちついた奉天署長である

邦人傷害犯人捕はる

十四日夜市內橋立町十三番地ヤマトホテル洋車取締人岸本源八傷害犯人に關しては奉天署で引續き嚴探中であるが犯人はホテル出入の洋車夫北京生れ井龢元外數名で共謀の上計畫的に行つたことが判明し直に逮捕に向つたが井龢元は某方面に高飛びし殘る連累者數名を取押へ引續き嚴重取調べをなすと共に某方面に活動を開始してゐる

公安局長等八名戰死

新民縣第六區に去る十二日晝日大生子の率ゐる馬賊團百餘名が蒙古方面から來襲したので新民縣公安局長闕全斌は百名の公安隊を引率し現場に急行、賊團を包圍した處賊は民家土壁などの地物を利用して頑强に抵抗して屈せず激戰を續けた結果闕局長以下部下七名戰死し負傷者四名を出した、之がため新民駐在第廿五團第二營から一ケ中隊十四日應援に向ひ目下討伐中であると

八人殺し犯人に死刑宣告

本年五月九日撫順地浩然里の李鍾舟方の一家八人慘殺事件は稀有の大殘虐事として一世を戰慄せしめたが主犯王維國、鄧海泉の兩人は逮捕され奉天地方法院にて裁判の結果王、鄧二人の罪狀明白となり去る十三日死刑の判決を下され且つ懲治盜匪法によつて控訴を許さぬ旨宣告されたので右兩人の死刑は確定となつた

法廷便り

原籍和歌山縣、奉天紅梅町三三濱本福七(四七)は阿片取締規則違反で懲役六ケ月、二ケ年の執行猶豫、滋賀縣生れ住所不定早瀨隆一(三二)は橫領罪で懲役六ケ月、平安北道生れ崔奉寅(三四)は麻醉劑取締規則違反で罰金廿圓、同住所不定趙基贊(二四)は懲役四ケ月一ケ月間の執行猶豫の判決言渡しが十六日出つた

人事

▲厚東旅順要塞司令官　十六日長春へ
▲國澤滿鐵專長　同上
▲佐藤安之助氏　同上
▲菊竹鄭家屯公所長　十六日四平街へ
▲青木奉天車輛事務所長　十六日歸奉
▲京城女子商業生五十八名　十七日朝來奉

瀋滴

立川警視も愈々署長室に納まつたが今まで署長代理をやつてゐたゝめ突然署長になつたからといつても一向署長としての新しい氣分が湧き出ないよといつてゐる▲これぢや折角署長になり祝辭を述べても何も効果はないと考へてゐる有志は署長としての新しい感情を起させる何等かの方法を考究中であるから▲今に署長は勿論一般市民もハツとするやうな思ひ切つた何等かの方法がなされるであらう▲久しく門が鎖され空家同然となつてゐた署長官舍も一兩日中に門が開き煙突からも煙が出るやうになる▲これは立川署長並に署員一同の喜びばかりでなく市民にとつても最も喜ばしく心强いことだ

信而有徵
滿洲日報社雅鑒
雪橋楊鍾羲

雪橋翁書展　十九、二十、二十一の三日間本社樓上に於て開催、楊鍾羲氏の書展も開く、寫眞は出品の一つ

鞍山

市中側選手堂々歌凱を擧ぐ　全鞍山斷郊競走

鞍山體育協會運動部主催の第三回全鞍山クロスカンツリーは既報の如く十七日午前十時より陸上競技場に於て開催せられたが出場團體は庶務課、製造課、工作課、五星會、市中側の五團體百數十餘名の選手出場し久留島會長の挨拶あり直に競技開始せられたが日頃猛練習を續けた市中側選手は遂に榮冠を握り威風堂々として凱歌を揚げ扇屋に於て祝勝會を催したが盛會であつた此の日は祭日に當り絕好の運動日和に惠まれ一般觀衆多數にして頗る盛況を呈した

女生千山登り

奉天高等女學校生徒百數十名は十七日午前九時二十一着列車にて來鞍し製鐵所各工場を見學し小學校の講堂に一泊し十八日午前六時三十分發運鐵電車に便乘して千山の秋色を探るべく登山した

千山探勝會

大連營口方面よりの千山探勝會一行百數十名は十七日午前六時十分着列車にて來鞍し直に運鐵電車に便乘して大孤山に至り五佛頂無量觀等を巡り午後五時四十分歸鞍し湯崗子に向つた

石川氏夫人

鞍山地方委員副議長石川義助氏夫人は兼ねて病氣靜養中の處藥石效なく遂に十七日午後死去したので十九日午後二時葬祭場に於て葬儀執行の筈である

開原

全開原排球大會　地事B組優勝す　出場八チームの奮戰

全開原排球大會は既報の通り十七日午前九時より小學校々庭に於て開催し同九時半競技を開始し出場八チームは左の通り第一回戰第二回戰第三回戰の結果地方事務所B組公學堂の二チーム三勝にて優勝戰も地方事務所A組小學校の二チーム二勝一敗にて順位戰を行ひ大接戰を演じ午後三時半終了優勝者地方事務所B組澁崎優勝カツプを受け其他第二位公學堂第三位小學校第四位地方事務所A組の四チームに夫々賞品を授與し萬歲を三唱して散會した

◇第一回戰
×小學校(一一―二一、一七―二一)地事B○
×天狗俱(一五―二一、一六―二一)公學堂○
○地事A(二一―一八、二一―一四)普通學×
×貨物係(九―二一、八―二一)市中○

◇第二回戰
○小學校(二一―一七、二一―一四)地事A○
○天狗俱(二一―一九、二一―二〇)貨物係×
○地事B(二一―一九、二一―一四)普通學×
○公學堂(二一―一〇、二一―一六)市中×

◇第三回戰
○小學校(棄權)貨物係×
×天狗俱(一〇―二一、一一―二一)地事A○
○地事B(二一―八、二一―一三)市中×
○公學堂(二一―一七、二一―一五)普通學×

◇順位戰
○小學校(二一―一九、一八―二一、二一―一七)地事A×

◇優勝戰
×公學堂(一四―二一、八―二一)地事B○

弓道部納會

開原弓道部にては昭和五年度納射會を左記により十九日午前十時より滿鐵弓道部に於て開催する筈である

▲矢渡式橋本三段▲禮射各員一手▲金的三光各員一手▲競射二十射▲射割三個各員一手一本通し▲道中的十射▲納射▲賞品授與▲閉會

近松會記念會

開原近松會にては十八日が創立滿五周年に當るので午後六時より公會堂に於て記念大會を開催し盛會を極めた語り物左の如し

▲玉藻前道春館の段　芳悅▲太功記尼ケ崎の段　三枚▲菅原傳授松王首數　芳山▲忠臣藏二度目淸書(平右衞門切腹)小竹▲加賀見山赤助住家　鬼笑▲壺坂靈驗記澤市內　芳雀▲艶姿女舞衣酒屋の段　三木▲菅原傳授寺小屋　一瓢▲戀娘昔八丈鈴ケ森　舟月▲三味線ひさご、芳光

十九日午後六時より公會堂に於てキング連載小說「劍難女難」全二十七卷を上映公開すると

平岡女子來開

平岡喜智女史は嘗に學習院女子部の教職を辭し十數年來東京上落合に學寮を開き主として朝鮮人學生の世話をなしつゝあり今回學生達の修養と娛樂向上の爲め青年會館を建設せんとして鮮滿各地を巡講中であるが十六日當地に來り各有力者を歷訪し後援方を依賴した

佟開原縣長

新任開原縣長佟玉墀氏は十七日第十七列車にて前任地鳳凰縣より着任した、開原驛頭には縣政府各委員公安局長其他盛んな出迎へがあつた

貔子窩

仲本前驛長

前貔子窩驛長仲本正榮氏は今回從命となり十五日午前八時當地發列車で家族同伴離貔したが驛頭には武波署長以下日支官民多數の見送りがあつた

25 Nen　おらが町の歩み　(卅九)

本溪湖の巻(2)

驛前滿鐵社宅街の存在は本溪湖のため遺憾　たゞ徒らに夢みるだけの日支共存共榮の銀座通り

野村一郎氏寄

現在本溪湖太子河から牛心臺までの間にある溪城鐵路はこの舊安奉線のレールや列車をそのまゝに使つてやつて居ります。ついでですから溪城鐵路に就いて少し語つて見ませう。この鐵道は牛心臺炭坑及び城廠方面の產業開發を目的として敷設されたもので、鐵嶺の大槻吉氏と本溪縣商事會長金品三との共同經營の下に成立して大正三年二月一日から運轉を開始したのです。そして大正五年の四月に全然この二人の關係を離れて、滿鐵と奉天公司との合辨經營に移り同時に溪城鐵路公所と改名して今日に及んでゐるわけです。城廠までの敷設權は今でもありますが、サア延長出來るでせうか現在の狀態から察しると到底實現は困難でせうれ。思はず話が橫道に外れましたが、鐵道の話はこれ位で止めて、再び町の話へ……。

附屬地の道路が出來た

のが四十三年だつたと思ひます、今の永利町通りが驛の前から槲光軒理髮店のあたりまでついて、現在の私の家と今の支那商店實增永の二軒だけが始めて建ちました。

またその時は旭町、櫻月町方面は大和町からの山つゞきで丘陵地帶でした、これ等が町らしくなつたのは安奉線改築後の第二期工事からで、山をけずつて地ならしをしたよ、現在のやうな街が出來たのです、これがたしか佐多彥美氏の地方事務所長時代だつたと記憶してゐます。この附屬地經營で今なほ殘念に思はれることが一つありますが、それは驛前に住吉町の滿鐵社宅街が在ることです、これは昔の滿鐵が市街計畫とか將來の發展とか云ふ方面に餘り關心を持たなかつたが爲で、今少しの努力があつて欲しかつたものです。若し眞に永遠の市街繁榮に思ひ致して今の永利町を一直線に支那街へ貫通せしめて置いたならば、日支共榮の銀座通りが立派に出來上つて居たでせうに惜いことでした。

次に社寺、學校、守備隊などに就いて話しませう守備隊――これは

戰爭直後には支那街に

一ケ中隊駐屯してゐましたが、三十九年九月に大隊本部が置かれ連山關、鷄冠山から各々一ケ中隊づゝ來て都合二ケ中隊があつたわけです、この大隊本部は現在連山關に移つてゐます。兵舍は現在地方事務所西方にある工事用材料置場の建物(一時日語學堂――公學堂――に使つてゐました)でしたが大正四年秋に神社山下の現兵舍を建てゝ移轉しました。神社の建つたのが大正三年、忠魂碑は明治三十八年四月建設、この碑に埋葬されてあつた骨は大正五六年頃安東に合祀されました、現在神社裏高地に靈石だけが殘つてゐるのがその跡です。寺院としては大德寺が最初で、大正元年十一月全本溪湖の寺として建立したものです。この寺にある不動尊は故大倉喜八郞氏の寄進にかゝる大正天皇御卽位記念の像であつて、なかなか立派で有名なものです。小學校は奉天の分教場として四十三年六月に設立されました。

現在校庭の公會堂側に

垣の破損して居る所がありますがあすこに建つてゐた一軒の靈舞支那家屋が校舍になつてゐたのですこれはその後妓樓に使用してゐたこともありますが取壞してしまひました。それも十五年程前のことです。公會堂は大正五年の建築ですが、その出來上る前色々な催しをする爲めには安奉線改築に使用してゐたセメント倉庫を使つてゐました、これは永利町田中熊藏商店の裏に在りましたが芝居も浪花節も皆この倉庫でやつたものです。

×　×　×

とりとめのない昔話ばかりをやつてしまひましたが、今度は色んな出來事(事件)等を話して見ませう……。

秋色深し―奉天東陵にて

本社敬老喜の字祝ひ　銀杯受領の人々

(9)

七十七及八歲

佐賀　嘉永六・一一・一三　大連桔梗町九六ノ二　西村タカ
神奈川　嘉永六・一一・一　大連山城町三ノ五　行谷タラ
福岡　嘉永六・一二・一二　大連兒玉町一ノ三ノ一　岩淵兵右衞門
福岡　安政元・二・一　大連神明町一〇三ノ四　村田シナ
山口　安政元・二・一五　大連臥龍臺九六　濱田方　山崎ヒナ
山口　安政元・二・二八　大連龍田町一〇一　古中キヌ
石川　安政元・二　大連汐見町　酒井セイ
福岡　安政元・三・一〇　撫順南臺町四ノ一ノ五　佐藤マサノ
廣島　安政元・三・一五　旅順橘立町二三　三原方　馬場イカ
兵庫　安政元・四・七　大連市但馬町一〇　矢野ヨネ

海の唄（一八八）

仲木貞一 作　林淳 畫

反感（三）

青木に伴れられ和雄は、ダルチヤンへの途中もう、青木の口にされた女が京子であると斷定してゐた。で何の苦もなく一途に近寄つてくる京子への感情で、和雄は眼が眩むやうに歡喜に襲はれた。

「こゝだ、和雄君、ちよつと風變りな家だらう！」

青木は馴れ〳〵しくダルチヤンの扉に寄りかゝつた。

と、中から斷髪の洋裝が二人た轟くやうに扉に身を寄せて媚た。

「ヤア、今晩は……」

青木は何の苦もなく醉に任せて女給の手を握つた。

「君んとこに關西から來た婦人がゐたね？今夜は、あの人に逢ひに來たんだ」

青木の聲から棒といつた調子にその女給はちよつと不意打ちを喰つた形だ。

「さう、どうか知りませんけど……まあ、おは入りになつては……」

と、冷たくあしらつて、女給は先へ扉から離れた。

和雄は青木の後の方で、何か故郷の女の睫毛を齒の髓まで感じたやうな氣持ちに襲はれた。

二人は二階へ案内されると、青木だけは安心したやうにクッションへ身を投げた。

が、和雄は、まだ、うろ〳〵して落ち付けないで起つてゐた。

「訊いて來てくれ、若しゐたら、ちよつと僕が逢ひたいからつて云つてくれ給へね」

青木の靈揚な態度は、和雄は感謝したいやうな感慨がこみ上げてきた。

「これで若し京子が上つてきた時その時はどうなるんだ？」

と和雄は思ふと、サロン、ミルで見た月枝の姿のやうに、判然と京子の姿が眼に見えてきた。

その時、トン〳〵と階段を上つてくる跫音を感じた。

「京子ではないか！」

といふ期、捷感に慄悩されさうになる。

サツと階段の口へ現れた姿を偸むやうにして見ると、それは、さつきの女給だ。

青木が注文したものを左手で支へながら、微笑してゐる。

「お氣の毒さま。あの方は、もう一ケ月位前にやめて、何でも今ぢや阿佐ケ谷とかで愛の巣の女主人公ださうよ」

「なんだ、さうか。もうやめたんか。つまんれいな」

青木は横になつたまゝ、かう云ふと、ちらつと和雄を見返つた。

「君、君のその女は何て云ふんだね？」

と青木は不躾に訊れた。和雄は遽に言乘るやうに躊躇した。

「ね、君、なんて云ふんだい？」

和雄は、もう、再び青木の執拗さを斷る勇氣がなくなつた。

「京子つていふんです」

と、羞恥んだ。

「京子さんなの！」

その時、突拍子に、その斷髪が二人の會話を遮つた。

「あの方なら、うちへよく來た眞野さんつて工學士の方と一緒になつてますわ、ちよつと魅惑的な方ね。人ずれのしない處か……」

和雄は、まるで豫期しないものが舞込んだ時のやうな、突飛な感情で心の底までえぐられるやうな氣がした。

「君は、そ、その居處を知つてるかね？」

と、和雄は要求が、やり急すぎたかも知れないと云ふ風に急き立つた。

「さあ、どこか知らないんですが……」

呆氣ない返事が、和雄を再び絶望の深淵へ顚落した。

そして、また、京子といふ風のやうな存在との間に、取除かれない隙壁が隙間なく立て込まれた。さうした暗い秘密の塔の中へ幽閉されて、窓から水を浴びせかけられた時のやうな惡感が紋を戰慄させた。

新刊紹介

▲批判（十月號）政治家登錄法案（長谷川如是閑）所謂「厚生忽紹問題」の歴史的考察（長谷川萬次郎）社會的自由の一節としての大學の自由（井口孝親）板橋信行氏の批評に答ふ（細川政之郎）阿房宮を脅かすロシア映畫（板本勝）「勞農黨解消派事件」座談會其他（四十錢、東京市外中野町同社）

▲第一線（十月號）われらの秋（卷頭言）らつきようの皮をむく（小砂丘忠義）治子さんと僕（江馬修）熱病時代（峠乙彦）働く人々（門脇英鋪）少年の頃（櫻井忠温）其他（廿錢、東京市神田錦町鄕土社）

▲郷土（創刊號）宣言（郷土教育聯盟）郷土を如何に見るか（新渡邊、白倉、三浦、長谷川、下田、士屋）郷土教育の重要性と實施案（篠原英太郎）ソウエート・ロシヤの郷土地理的研究（茂木威一）郷土音樂の移動とその分布について（田邊尚雄）その他（三十五錢、東京神田區北甲賀町刀江書院）

▲考へ方（十一月號）卷頭言（社同人）如何にして數學の實力を涵養すべきか（懸賞論文二等當選東京川井康文）受驗英語私目（清田武夫）その他高等專門學校入學準備のための懸賞問題を滿載した受驗生必讀の雜誌（四十錢東京神田一ツ橋通り考へ方研究社）

▲拓殖公論（十月號）偉大なるスラブ民族（卷頭言）倫敦條約の成立まで（若槻禮次郎）協力精神の勝利（幣原喜重郎）倫敦條約の感懷（松田源治）侵略外交の時代去る（山縣五十雄）間島問題の回顧（篠田治策）滿鐵の減收整理其他（大平駒槌）

▲ジヤーナリズム（十月號）樞府をへコましたのは新聞の力（蘇山醒客）新聞雜誌の編輯責任は誰が負ふべきか、新聞に不景氣なし（島木利太）新聞人過去帳（荒木武行）新聞隨想（小川濤）新聞記者列傳（鴨居悠）海外邦字新聞めぐり（松枝保二）其他（四十錢東京本郷新聞評論社）

▲フイルハーモニー（十月號）殺戮者としての音樂家（服部龍太郎）秋の歎（小栗孝則譯）詩人的音樂と諸家的音樂（横山喜之）歐洲雜影（佐藤秀郎）新響の立場（近衛秀麿）其他（卅錢東京荏原町中延新交響樂團）

▲同仁（十月號）秋に寄す（卷頭言）支那の醫學界と文化事業、支那民族は何故亡びぬ乎（上田恭輔）上海の醫學校、病院參觀記事（下瀬謙太郎）其他（廿五錢東京神田北神保町同仁會）

▲土木建築雜誌（十月號）技術關係大會を統制せよ（社說）日本の河川における洪水式（久永勇吉）子午線略測法（石橋絢彥）其の他（六十錢東京市神田區錦町シビル社）

▲婦人新報（十月號）全國町村の婦人は公民權を要せざるか（久布白落實）日本婦人參政權運動物語、全國總立ちの酒なし日（全國支部）公民講座（ガントレット恒子）其他（廿錢東京市外大久保百人町其社）

滿洲日報
夕刊
十月十八日
（明治四十年十一月三日第三種郵便物認可）
凸版と銅版　久保田寫眞製版所　大連浪速町六六　電話八六三一番

樞密院の廢止により二院制度確立を期す

來議會にて烽火を揚ぐべく革新、無産各派が準備

【東京特電十八日發】ロンドン軍縮條約に關する政府、樞府の對立を契機として政界各方面において樞府の機能に對し漸く注目し樞府改革或は樞府廢止の議論すら行はれたがロンドン條約通過後はこれらの運動も下火となり更に過日樞府内部より起つた

樞府改革 案の聲も漸く靜まらむとしてゐる、けれど來るべき議會において樞府、政府の對立の記憶新たなるを利し、樞府の職能に關し必ず一問題持ち上るものと觀られ殊に革新黨方面でもその意嚮を洩らし更に無産各黨において議會における樞府改革或は廢止の運動に合流せむとしてゐる、就中社民黨では早くも

一、貴族院權限縮小
二、樞密院廢止

の二項目を掲げ議會に臨み輿論喚起の目的で院内に贊成者を募り衆議院として右

二項に關 し意思表示を爲すべく提案せむとしてゐるがその理由とする處は

合法的手段をもつて社會の改革を期せんがためには先づ立憲政治における封建的殘存物を精算し純粹の立憲政治を確立しなければならぬ、わが國における封建的殘存物の尤たるものは樞密院であり、これがためわが國の政治は二院制度といふも、その實は三院制度なるかの觀がある、よつて樞府を廢し、或はこれを儀禮的存在たらしむるに止め更に貴族院の權限を極度に縮小すべきである

といふにあり、右運動の實行方法は目下赤松書記長において議究中で腹案の成り次第片山、西尾兩代議士と協議の上院内における運動方法を正式に決定する筈

民政黨の新政策

社會政策委員會主張

【東京十八日發電通】豫算編成に當り民政黨は至急政務調査特別委員會の議を纏めこれを政府に進言することになつてゐるが、社會政策委員會にて大體一致せる主張は左の如くである

一、勞働組合法案は二、三の修正を以て内務省社會局原案を承認し是非來議會に提案せしむ
一、小作法制定はこの際小作人保護のため必要なるを以て農林省を督勵し來議會に提案せしむ
一、救護法の實施費は削除さるべきことなきやう政府に要望し是非來年度より實施を期す
一、國家事業を以て失業者救濟に當るべく道路河川港灣等の事業は打切繰延をなさず繼續し經費なければ失業公債を起して徹底的に行ふ
一、刻下の急務たる米價調節のため米價の最低値段最高値段を法律を以て定むる必要がある

大體以上の如く更に廿二日農林省より小作法案を聽取の豫定である

支那の國定稅率

明年一月から實施

わが貿易は打擊なし

【東京特電十八日發】確なる筋に達した情報によれば國民政府ではこの十月一日より實施する筈であつたゝめ一先づ自然的に

延期の外 なかつたが最近問題の時局は中央に有利に解決し國民政府の實勢力範圍も相當擴大され一般狀勢は漸く安定を告ぐるに至つたので、愈々内部的建設に邁進すべく先づその財政建て直しのため第一に關稅自主の實行を期して國定稅率の制定實施をなすこととなつたがこれには何れも釐金撤廢の條件が各國との間に附せられてゐるので、裁釐期限の決定をなすことになり先般來各地方省政府などにそれぐ\これが準備方を命じつゝあつたがその結果、明春一月一日より釐金撤廢を斷行することに決定した從つてそれと同時に支那

國定稅率 の制定發布を見るはずで、目下國民政府財政部で互選稅率に等しい部分が含まれてゐるので對支重要貿易品はさして重大な打擊を受るやうなことはあるまいと觀られてゐる

故久邇元帥宮尊牌開眼法要

久邇宮大妃殿下同朝融王妃殿下には今回神奈川縣鶴見總持寺に御建立された故元帥宮尊牌開眼法要のため十四日午前十一時中局寺にお成り秋野管主大導師として勤修開眼法要が行はれた、寫眞前より大妃殿下、朝融王妃殿下（總持寺にて謹寫）

安全瓣を失つた南京政府の内部

今後は奉天派調伏に一苦勞

一戰去つて一難來る

▼…滿州隣邦で戰局は先づ一段落を告げた、過般の奉軍入關がこの時期を早めたことはいふ迄もない、南京側が奉天の出兵を熱望しその出兵により戰局を縮めて南京政府の財政及び軍事上の負擔を少からず輕からしめた、これだけの點では南京の奉天に對する感謝は非常なものであるべき筈だが事實はさうでない、出兵の遲延や出兵の際の行動に關して中央軍側には相當の不滿があるやうだ

▼…蔣介石の左右の一有力者は戰地で或人に「この際奉軍の行動は默認する」と語つたと、この默認の一語は無關心に聞き逃せない言葉である、それは兎もあれ閻、馮兩氏の部下が如何に收編せられ何處に配置されるにせよ奉軍が入關した以上中央軍と直接に相接する事となり馮氏より閻氏へ閻氏より張氏への鑑視は愈々眞劍に觀られて來る譯である、節ち

▼…利害を異にする爵、張兩氏が長く圓滿な握手を續け得るとは誰も想像しないであらう、但し雙方とも性急に武を用ゐて勝敗を決する程の猪武者ではない、一方は國民黨の施政プログラムを表看板として東北省領袖連の地位を脅へすべく行進するであらうし他方では總ゆる反蔣勢力を近づけて對抗策を講ずるであらう

▼…行政院長譚延闓氏の死は一般的に左程重大視されぬが南京政府の或大官は現政府の一大損失だと嘆息し彼を鐵と鐵との間のゴムと評した、このゴムが無くなつたため鐵と鐵とが直接に擦れ合ふて火花を散らす可能性が多くなつた、幾つかの鐵なして擦り合はしむるやう失意の政客が百方挑發すべきは火を睹るよりも明らかである、内に纖の寄合世帶、外に奉天その他の危險が存在する、一戰去つて一難來る支那の時局は依然として安定から程遠い（南京特信）

わが條約御批准書

紐育出帆レ號に積込み

【ニューヨーク十七日發電通】ヴァンクーバー、ニューヨーク間列車で百五時間を要する處を三十七時間二十二分で空輸された日本のロンドン條約御批准書は十六日アメリカ外務當局の手に移され十七日朝ニューヨーク港碇泊のレビアザン號に積み込まれた、レ號は十八日出帆、二十四日サザンプトン入港直にロンドンに送られる筈で既報の如く同艦でジュネーヴに赴くアメリカ外務省西歐局次長ピエル、デ、ボール氏が託送の任を承つてゐる

重要機關首腦は張氏の直系のみ

于、王兩氏等の不平

【北京特電十八日發】于學忠、王樹常氏等は重要機關に張學銘、鮑毓麟氏等張學良氏直系のみを配置したのでこれを不滿なりとして憤慨してゐる

宋財政部長

石軍、南軍に壓迫さる

【南京特電十八日發】宋子文氏は東北省の金融整理のため近く奉天に赴く由、東北軍出兵軍費の用務を帶びるは勿論であると

【北京特電十八日發】馮玉祥氏の

山西軍は愈よ太原に退く

西北軍は潼關方面へ

【北京特電十八日發】閻汪馮氏らの石家莊會議は石家莊を明渡して太原に退くことを決定し閻馮兩軍は目下續々山西へ向ひつゝあり、張印樵、梁冠英、張占魁等は目下何一方反蔣派返り軍の吉鴻昌、張鉞氏の手で改編されてゐるが馮玉祥氏と共に河を渡つて北に撤退した部隊は直系軍隊約五萬、また宋哲元氏と共に潼關方面へ退いた西北軍は約三萬である、蔣介石氏は目下顧祝同、上官雲相氏をして追擊せしめてゐる

何鍵氏は結局下野せん

【南京特電十八日發】湖南の劉建緒氏は第十五、第十六、第十九軍を統一指揮すべく命令され何鍵氏は專ら政治を擔任することになつたが劉何兩氏の暗鬪甚だしく結局何氏は下野して湖南の時局も一段落を告げるであらうと見られてゐる

軍隊は山西に入らんとしたが糧食の供給不足にて收容の餘地なく石家莊を經て河南省内に入らんとしてゐる、張學良氏が馮軍を收容するか或は殲滅するか戰後の處置として注目されてゐる、なほ石友三軍は腕章を黃色に代へ東北軍に加入したが、南軍に壓迫され馮軍と共に河北省に割込むものと見られる、馮、閻、汪三氏は目下太原に在る

山西全軍石家莊撤退

【北京十七日發電通】石家莊來電によれば、山西軍は今朝一部の治安維持部隊を留めて全軍石家莊を撤退した、山西軍後方司令李服膺氏は于學忠氏に對し奉天軍の石家莊接受方を打電した、なほ閻錫山氏の專用列車は奉天軍に抑留された、平漢線上の山西軍はこれを以て全く解決された

外交團改稱

今後は「國交團」

南京政府では豫て外交團の名義を承認せざる旨聲明したが去る十月十日の双十節の祝日より國交團の新名義を使用することになつた（南京特信）

走馬燈

知坊生

天惠の利用者と逆用者

世に天惠といふ事がある、善男善女の佛神に欣求する者に、佛恩があり、神佑がある。何れも名を異にして、而も實を同じうする人間界の慾望だが、この頃の世態を通觀すると、さうした天惠も餘り有難がられてゐない

◇

第一は例の米の豐作だ、好景氣時代には米價が暴騰し、その結果米騷動が勃發したりしたが、本年度はその米が豐穣で、且つ價格も廉る低落であつて、消費者側よりも、生產者の方が騷ぎ出して、資料の補給を唯一の國策のやうに絕叫してゐた者も、かうした餘剩を如何に處分すべきかに當惑してゐる、六七百萬石を他國にダンピングしても、米價下落に困る生活苦、市場の不況を救濟せねばならぬと考へてゐる、甚だしいのは三億圓で千五百萬石の米を買上げ、それを海外に棄賣しても米價を維持せよなど痛論してゐる、實に天下の奇觀だ、これでは天惠が天惠にならぬ、神佛も慈悲心を垂れた甲斐なく、アダム、イブの子孫等が、餘り氣儘になつたのに一驚を喫してゐるだらう。

◇

又最近關東州に西部日本水產大會が開かれた、種々專門的論議が鬪はされるだらうが、州内近時の懸案に、漁撈物の多獲と、その販路擴張策とがある、數年前まで兎角不振を喞つた水產物は、近來俄にその漁獲高を激增し、生產者は魚價の低落に惱まされた、それが種々な方法によつて價格の維持を試みられ、生產者と消費者とは、その餘弊に苦められてゐる、換言すれば土地の住民は高價な品物で需要

みたし、生產物の大部は、低廉に奧地へ、若しくは南支へ賣捌かれねばならぬ事になる、此處にも或る意味での天惠逆用がある。

◇

これは勿論生產と配給との間に起る自然の必至的現象ではあるが、時と處によつては、利害そのものが全く反對の原則に支配される、この點事業家の活眼を開かねばならぬ所だが、しかしそれは本問題の主旨でなく、寧ろ私はかうした諸現象に鑑みるための、平素の準備が出來てゐない事を遺憾とする、米の外國輸出が一般に肯定され、その販路が決して困難でないとされてゐるやうだが、さうした人々の腦の中には、南部歐州に於ては日本米は良好だ、品質が良價に賣るのは至極容易であらねばならぬといつた、臆測がないでもない、勿論南歐は米の需要國である、南米においても、コロンビヤ、ペルーの如きは從來の國とリッピンさへ、年々シャム米に依つてその缺乏を補ふてゐる。

◇

しかしさうした國々への貿易關係は急には開けない、且日本人の良適と考へてゐる米種は、必ずしも土產物に馴らされた味覺に、好適する良品たる速斷されぬ、水產物の大陸各地へ販路を擴張せんとするについても、無論有望であり且つ必要な國策であるが、しかし其處には多年の準備が要る、私はわが國人が、思想的にも、產業的にも、自國傳來の習俗や、嗜好のみを中心として、極端に特性の祕密を維持に力めた結果、事の國家的に處理されねばならぬ時に當り、くべき損失を、餘り嬰でない中から敢てしつゝあることを懸みとする、天惠のない時にも、同じやうな狼狽振を示さればならぬ處に、國人平素の氣分が廣くなるに反し、益々國土の狹隘を痛感せねばならぬ島國事情がある

滿鐵の新定員

各箇所を何れも減員

しかし淘汰はやらぬ

滿鐵では曩に職制を改正して各箇所の人員に異動があつたので暫行定員を定めて業務を遂行してゐるがもとより一時的のもので早晩改正されねばならぬので近く定員

審查委員 會を招集し新定員の査定に着手するが各箇所について代表者を出し夫々の業務を調査するので相當時日を要すべく本年度中には實施の運びには至るまいと觀られてゐる、因に新定員は經費節約のため極力各箇所の定員を減らすものと觀られてゐるがそれら減員は自然減員に待つこととし特にこの際淘汰する如きことは止めて退職希望者に對しては長期間勤續者と同樣の

恩典を與 へ退職したくても手當の關係上退職出來なかつた從來の矛盾を排除することゝなつたから新定員制實施までには退職希望者は相當多數に上るだらうと觀測される、且つ本年度の新採用は技術方面その他止むを得ない方面の外は極力採用人員を減らしてゐる

製鋼所問題と武富參與官意見

有志招待會における

田中大連市長並に市會議員有志、商工會議所正副會頭、篠崎書記長等が十六日正午湖月に目下滯連中の武富拓務參與官一行を招待し滿蒙を張つた事は既報の通りであるが、その席上昭和製鋼所問題に言及し齋藤總督は朝鮮人の失業者救濟の意味から新義州設置を力說してゐるも、滿蒙開發の使命を帶びた滿鐵が滿鐵の資本を以つて設置する以上滿洲乃至州内に設置するのが當然で齋藤總督の主張は見當違ひである、港灣關係からいつても多獅島に築港し新義州に設置するのは策の得たものでない、滿洲の統治中心が州内にある以上矢張り州内に設置するが至當であろまいかとの質問に對し武富參與官は本問題は頗る重大である、仙石總裁は鞍山設置を力說してゐるが、一部では新義州設置を支持してゐると仄聞してゐる、朝鮮では朝鮮に有利な說を拜聽し當地ではまた當地に有益な話

聯絡會議委員會

鐵道省の二案を審議

日滿旅客聯絡會議委員會第二日（十八日）は午前十時より社員俱樂部において開催されたが伊藤議長は劈頭鐵道省提案の

一、賃銀表示制度及引渡期間制度の件

を議題とし審議に入つたが東鐵側委員より該問題は各地方的には既に實施されゐるも運輸機關により（日本側運輸機關は本年四月一日より統一したる制度が制定されてゐる）相違しゐるため今直に本聯絡に統一されたる本制度を實施するの困難であるといふ理由で次回まで保留することとなつた、但會議終了後成るべく速かに關係運輸機關は地方的規則を事務監理者たる鐵道省に通知し鐵道省はこれにより次回迄に充分研究をなすといふことに決議され、次に鐵道省提出第二案

日滿聯絡運輸における各關係運輸機關の金弗貨運賃割引の件

の審議に移つたが本問題は第七回及第八回會議に提案され未解決のまゝ今日に至つてゐるもので本會議においても東支側委員提案により特に鐵道省、滿鐵、東支の三運輸機關において非公式に問題解決に對する下打合會を別室にて行ふこととし十一時二十分伊藤議長より休會を宣し右三運輸機關委員は別室に移つた

本問題は換算率の關係により日滿聯絡運賃よりも東支鐵道の地方的運賃が長春、哈爾賓に於て二十二パーセント割安といふことになつてゐて歐亞聯絡旅客に對しては密接なる利害關係を有する大問題だが東支鐵道にとつても被る影響は決して少くないだけにこれが改正は頗る難問題とされてゐる、一例を擧げると長春哈爾濱間一等聯絡運賃十四圓九十四錢に對し東支の地方的運賃現行換算率によれば十二圓二十四錢で地方的運賃は二圓七十錢だけ割安といふ聯絡旅客にとつては不合理な制度でこれが長距離になれば地方的運賃は更に格安となつてゐる、卽ち長春滿洲里間では十四圓五十九錢の

國民政府要人と意見を交換

南京訪問の永井次官

【南京十七日發電通】渡支中の永井拓務次官は十七日午前十時鐵道部長孫科氏を訪問し林出書記官の通譯で一時間會談し更に王正廷氏を訪ひ一時間餘會見、午後は立法院に胡漢民氏と二時間餘り會見日支諸問題につき隔意なき意見の交換を遂げそれより宗子文を訪問して財政問題、債務整理等の意見を聽取、午後八時からは王正廷氏主催の晩餐會に出席した、十八日は午後一時より孫文の墓を弔ひ同四時より蔣介石氏と會見の筈

シャム皇族

二十日頃御來連

シャム皇族カンペンペジャラ殿下御一行七名は九月二日上海に到着南支方面の御視察中であるが本月二十日頃よりドイツ汽船クルメルランド號にて御來連、同船は數時間碇泊後天津に赴き北京その他を御視察の上北寧線で奉天に赴かれ林總領事へ御訪問、安奉線にて朝鮮經由日本に赴かせられる御豫定であると、なほ殿下には駐日シャム公使夫妻及日本人田村氏も隨行の由

電通卅年記念三大事業

【東京十八日發電】日本電報通信社は來る十一月十一日を以て創立三十周年に當るので同日記念式典を擧げると共に左の如き記念事業を行ふに決定した

一、全國新聞社三十年勤續者表彰
全國新聞社三十年勤續者百四十七氏に對し朝野名士の贊助の下に表彰する

二、新聞廣告獎勵會創設
從來我國に廣告事業の進步發達に即した實際的機關無かりしに鑑み新聞廣告獎勵會を創設し各一年間の新聞廣告を審査し優良廣告は優、等、金盃、商工大臣賞、副賞三千圓一等、金盃、副賞一千圓、二等賞金五百圓、三等二百圓を贈る本會名譽會長俵商工大臣、委員長光永星郎、顧問日本商工會議所會頭郷誠之助男、日本新聞協會長清浦奎吾伯

三、記念號「日本電報」發行

いと語つた由である

内大臣秘書官長

【東京十八日發電通】岡部長景子の辭任に伴ふ内大臣祕書官長の後任はこの程產業合理局事務官木戶幸一侯爵を起用するに内定し一兩日中に發令することゝなつた

辭令

【東京十八日發電通】本日左の如く發令された

任關東廳教育主事（高等官七等待遇）山本壽喜太
長春商業學校教諭兼舍監 濱田増人
任同教諭（高等官七等待遇）

青島の近情

鈴木青島會頭談

靑島商工會議所會頭鈴木格三郎氏は十八日入港大連丸で來連したが約一週間の豫定で遼東ホテル投宿歸青すると同氏は船中語る

靑島も不景氣ですだが膠濟鐵路は時局がどうやら落ついたので好い成績をあげつゝあるやうです、日本人側は困つてゐますが皆我慢してやつてます、新市長胡若愚氏も日本に對し好い感情をもつてゐるのでこれから巧く行くと思ひます、今度は仕事の都合で鞍山まで行きたいと考へてゐます、青島の紡績界ですか仕事はやつてますよ、それに南京政府側がやかましいので工人も餘り騷がないやうです

開いて歐亞直通切符を買ふ人はこれだけの損で該制度が改正されれば面倒でも長春で切換へた旅行をせねばならぬことになる

ばいかる丸

十九日午前七時大連港外着の豫定

人事

▲原田敬氏（陸軍少將）十八日出帆の香港丸にて内地へ
▲横須賀海兵團一行 同上
▲廣島縣農會議員一行八名 同上
▲岸田正記氏（代議士）同上
▲藤田臣直氏（呂光ガラス常務）同上
▲京都高等蠶業學校一行二十二名 同上
▲佐賀縣立農學校旅行團一行五十一名 同上
▲谷信近氏（實業家）同上
▲簑輪壽三郎氏（實業家）同上
▲平野博三氏（ツーリストビューロー大連主事）十八日入港大連丸で歸連
▲鈴木格三郎氏（青島商工會議所會頭）同上來連
▲季達氏（朝鮮駐在副領事）同上來連仁川經由京城へ
▲小林英一氏（滿鐵交涉部資料勤務）十八日市内播磨町九〇番地に轉居

大觀小觀

大元帥陛下、今日も御發艦、御召艦「霧島」にて海軍大演習を御統監あそばさる。

◇

非募債主義の看板、卸す、卸さぬが問題となる。

◇

併し時代の要求を顧みず八名目に囚はれて動きの取れぬは「君子」の名を汚すにあらずや。

◇

永井次官、南京に國民政府巨頭連を訪問す、川崎次官、鮮滿視察の途に上る。

◇

日本政局、安定の兆、而して問題は依然として豐作貧乏、失業救濟にあり。

◇

早慶戰、依然として人氣わく。

天氣豫報

十八日夜（南の風）雨、驟雨模樣
十九日（北西の風）曇、後晴

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	一八、八	二〇、二
旅順	一九、六	二〇、五
營口	一八、二	二一、二
奉天	一八、二	二一、〇
長春	一五、九	二一、四

滿潮　午前七時五十五分　午後八時卅分
干潮　午前一時五分　午後二時五分

海軍大演習御統裁に 聖上けふ御西下

皇禮砲轟く中を『霧島』に召させ 横須賀港を御發航

【東京十八日發電通】天皇陛下にはロンドン條約を以て本年度最初に試みられたる本州西南洋上の海軍特別大演習御統裁並に二十六日神戸沖にて艦艇百六十五隻の大觀艦式を御親閲あらせらるべく時雨模樣の十八日朝、御政務を悉く御親裁あつてのち午前九時十分陛下には御凛々しき海軍大元帥の御軍裝に燦たる大勲位章を御佩用一木宮相、鈴木侍從長、奈良同武官長以下供奉、御車寄まで御見送りの皇后陛下、照宮樣さ御別れを告げさせて宮城御出門略式自動車鹵簿にて近衛、第一兩師團儀仗隊さ市民堵列の行幸道路を東京驛に着御、皇太后陛下御使入江皇太后宮大夫初め各皇族殿下さ御對面、午前九時二十分東驛、山本兩大勲位、濱口首相以下文武官奉送裡に御召列車にて御機嫌麗しく横須賀軍港に向け御發輦遊ばされた

【横須賀十八日發電通】十八日朝東京驛御發輦の天皇陛下には横須賀市長、大角鎭守府司令長官等の御出迎へを受けさせ十時三十五分横須賀驛御着車、御徒歩にて逸見棧橋に御到着、四十分御召艇にて晴れの御召艦霧島に藤澤艦長の御先導にて御移乗遊ばされた、港内からは君ケ代の奏樂莊嚴に鳴り渡り供奉の第三十四驅逐隊如月、卯月、曉月の發する皇禮砲轟く中を正午大洋に御發航遊ばされた

全國の人氣を集め 早慶戰の火蓋切る

早大多勢・慶應上野を プレートに送り對陣

【東京特電十八日發】神宮球場を埋め盡した觀衆が早慶兩軍の入場を今や遲しさまつ間もなく、正午腰本監督、岡田主將を先頭に慶應ナインが入場するや一壘側に陣取つた慶應側の應援團から先づ萬雷の如き拍手が起る、腰本監督指導のもとに型の如くフリーバッテングが開始されたが宮武、山下、井川らの攻撃主力はいづれも物凄い當りを見せ殊に宮武は外野席に大飛球を飛ばして慶應ファンをやんやさいはす、零時四十分森主將以下一抹悲壯の氣を面上にたゞよはせた早大選手が入場するや全觀衆は總立ちさなつてこれを迎へ場内の空氣は彌がうへにも緊張の度をましてゆくかくて兩軍のバッテング守備の練習鮮かに終了するや午後二時天知(球)銭村、横澤(壘)三氏審判のもとに早大先攻でこの歷史的大試合の幕は切つて落された、兩軍メムバー並に第六回までの得點左の如し

早大	佐矢三伊佐多今富西（5 9 4 2 7 1 8 6 3）伯島原達藤勢井永村
慶應	見下川谷川瀬野野（9 8 3 7 4 2 5 1 6）堀楠山井三小川上牧

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
早大	2	1	0	0	0	0				
慶大	0	0	0	3	2	0				

朝六時頃から ファン目白押し

三百餘名の警官隊で 野球場を嚴重警戒

【東京十八日發電通】物凄い野球狂時代の全日本ファンの視聴を集めた早慶野球戰は愈々本日午後二時より第一回戰を神宮球場に於て擧行する事さなつた、夜來の雨はやんだが降りみ降らずみの氣遣はるゝ天候にもめげず辛くも待ち得た入場券を持つた紅紫色さりどりのウルトラモダンの女性を始め一般ファンは早朝六時頃から續々さ球場目がけて押し寄せ開門の時を待つ、應援團の應援隊は早大の入場發表騷擾を他所に林田團長引率の下に早くも午前九時半一壘側の內野外野に分れて陣取つたが、三壘側の早大應援席は十時に至るもガラ空の奇觀を呈し頗る物淋しい、かくて午前九時四十分一般ファンの入場を許し十一時には一壘側及び三壘側さもに滿員さなつた、なほ警視廳では警戒のため早川監察官の指揮する四谷、青山兩署の警官三百餘名を野球場の周圍に配置し入場券を持たぬ者は一歩も球場に近附けず警戒嚴重を極めてゐる

入場券を返却 學校當局に宣戰

【東京十八日發電通】早大學生聯合會は十八日午前十一時各級毎に協議の末、今明日の早慶戰さ應援に行かぬさ決定し學校側提供の入場券四千枚全部返却し左の決議を發表した

一、不買同盟絶對支持
二、學生聯合委員會支持
三、全學生の支持なき體育會を認めず
四、今回の問題に犧牲者を出さぬこさ
五、豫告なき臨時休校に對し學校當局の釋明を求む

體育會員 一千名入場

應援團席に着く

【東京十八日發電通】午前十時半に至るや早大應援團波多野團長以下幹部は早大の應援なきは遺憾なりさし體育會々員一千餘名さ共に三壘側內野席に陣取り校歌を合唱しエールを唱へて氣勢を擧げ早大ファンは素より慶應側も拍手を以てこれを迎へた

寥々たる 早大席

【東京十八日發電通】三壘側內野早大席は學生が入場しないため寥々たるものであるに反し慶應學生は一壘側に陣取り今年より開始した「拍手の綾」さ稱する音樂的拍手の應援を送るべく練習してゐる貴賓席には澄宮、賀陽宮若宮、朝香宮若宮、東久邇若宮の各殿下御台臨、町田、松田兩相も顏を見せる朝來天候怪しかつた爲めリーグ側は午後一時二十分サイレンを鳴らしゲーム擧行を一般に知らせたプレミアム稼ぎの入場券賣りは外苑附近に出沒してゐるが相場は外野五圓、內野十圓である

日支競技出場の 支那選手着連す

今夜の籠球戰を皮切りに 愈よ對抗戰始まる

いよく今十八日午後七時より神明高女屋內コートに於て擧行される籠球戰を皮切りさして日支對抗競技に出場する支那側選手一行四十二名は華北體育聯合會幹事、東北大學教授郝更生氏引率の下に十八日八時着列車で滿洲體育協會林田學主事及び日本側出場選手多數の出迎へを受け大元氣で着連、直に奥町中華棧に投宿したが郝氏は語る

今度の チームの中心は東北大學である、東北大學は未だ遠征したこさがないし、また大學部の方は餘り運動もしないので、實は皆樣の期待にそへるかどうか甚だ疑問に思つて居る、幸ひ岡部平太氏が非常に盡力して下すつたので思ひ切つて遠征して來ました、四種目中籠球さ蹴球さは支那の國技さも稱すべきスポーツだからいさゝかの自信はありますが日本の方もなかなか強いさの話だからウンさ頑張つて見る考へだ

庭球は 全然問題ぢやないさ思ふ、ただ私達は日本の方々にコーチしてもらふ考へで進んで庭球も對抗競技種目に入れて頂いた樣な譯だ、先日御紙で岡部さんの豫想の記事を拜見して私達は實に恐縮してゐる始末だこの競技會が年々各種目にまたがつて行はれるやうに希望もして居りますし、先進國の日本チームに揉て教へてもらひ又練習もして頂くさいふやうな考へで今後どしくやつて頂かうさ思ふのです

庭球戰優勝盃

なほ庭球戰は支那側役員さ協議の結果、左記の如く變更され各種目の優勝チームには優勝盃が授與されるこさになつた

▲庭球三シングルス、二ダブルス▲優勝盃庭球東北大學副總長（劉風竹盃）體育ボール（同上）籠球滿洲體育協會長（大森吉五郎盃）

けさ着連の蹴球支那選手

日本畫さ 工藝特選

【東京十八日發電通】帝展日本畫並に工藝特選は十七日左の如く發表された

日本畫 暮春、兒玉希望（東京）▲大谷武子姫、山川秀峰（同）▲高野草劍、岩田正己（同）▲深林暮色、白倉二峰（京都）▲春雨、板倉星光（同）▲櫟林、小林均（同）▲秋思、佐々木尙文（東京）▲弘法大師、森守明（京都）▲雪晴れ、永田春水（東京）▲花端、三宅鳳白（同）▲雪晴れ松本道夫（京都）▲烏城、池田遙村（同）▲早苗雲、福田豐四郎（東京）▲奈良の鹿、吉岡堅二（同）▲後苑散歩、榎本千花俊（同）

工藝 接合せ硝子スタンド、岩田藤七（東京）▲鐵製ストーブ前衝立磯崎美亞（東京）▲赤銅獅子模樣丸筥、二橋美衡（東京）▲鑄銅製花生、香取正彦（東京）▲漆皮彫衝立、吉田源十郎（東京）▲蒔繪棚（土を思ふ）、吉田醇一郎（千葉）▲沈金彫手筥（遊鯰）、前大峯（石川）▲壁掛琉球那覇の圖櫻井霞洞（東京）

潜水艦遭難救助に關し 米海軍の二大發明

水深半哩迄は聽える通信裝置と救護品を供給するチューヴ

【東京特電十八日發】ニューロンドン十七日發電によれば米海軍ニューロンドン潜艦研究所に於て潜水艦遭難救助に關する二大發明が完成され十七日上司に報告された、その一つは海底に沈沒した潜艦さ海上艦艇さの通信裝置で水深半哩以內の距離ならば極めて明瞭に送受するこさが出來最近の試驗では良好なる成績を納めた、從來潜水艦遭難の場合は潜水夫が潜つて行き艦內からの壁を叩く音の有無で生存者の有無を推定するさいふ極めて迂遠な方法しかなかつたがこの裝置の完成により沈沒艦さ救援艦艇さの連絡が完全にされる結果犧牲者が激減する見込みである、第二は遭難潜水艦に對する救護品供給チューブの發明で第一の發明さ相俟つて潜水艦乘組員の安全性を確保するものである

獄に陷つ罪の女ふたり

債鬼に責められ 知人の印鑑僞造

生活に追はれた身重女

物憂い秋に罪の女二人が獄裡に陷ちて行つたお裁き二つ――十八日午前十時大連地方法院法廷に立つた市內惠比須町百五番地武田フヂエ（三）は姙娠五ケ月の身重に目に淚さへ浮べて長島判官に訴へるのであつた

私は大正十五年七月內縁の夫浦川某さ來連し、三年間滿鐵醫院附添婦を勤めましたが一昨年先夫に捨てられ、今度は川口菊治さいふ男さ內縁關係を結びましたが

亭主運 が惡く間もなく川口さ別れて昨年十二月長谷川清さいふ者さ結婚しました、さころが夫は性來の怠け者で私さ長男（先夫の子）を養ふどころか本年初め行方不明さなりその時旣に私は姙娠してゐました、ヒシくさ迫る生活難さ四方からせめ立てられる債鬼のため惡いさは知りつゝ罪を犯したのです ――さ法廷に泣き伏した、この女は去る二月十八日知人の石橋豐の印鑑を僞造し石橋名義の電話を擔保に正直洋行から三百圓を借受け家賃その他生活費に當てたものである檢察官の同情ある論告の下に懲役十ケ月を求刑された

産婆から 女給へ

淪落のヨシノ に懲役三ケ月

産婆から女給へさ淪落の半世を送つた市內西公園町一一五番地愛國看護婦會內神村ヨシノ（三）は情夫に貢ぐため同會所屬の金約六十圓を窃取し、警察でも檢察局でも徹頭徹尾犯罪事實を否認し續けてゐたが、十八日長島判官から被告は否認するも證人の證言及び物的證據より見て犯罪事實歷然たるものがあるさ懲役三ケ月を言ひ渡された

設備整へる 滿。日。講。堂

▼…公共的利用に提供

新裝成り諸設備整へる滿日講堂を一般公共的利用に供します
講演、講習、音樂、温習、各種會合、諸催し物等に盛んに御利用下さい。
御用の方は電話六三四八番へ……

滿洲日報 事業部

大連道場柔道 大會あす擧行

滿鐵大連道場主催の第二十一回秋季柔道大會は十九日午前八時より大連道場に於て擧行されるが、おひざ下の大連は勿論奉天、鐵嶺、公主嶺、遼陽、鞍山、普蘭店、瓦房店、撫順、旅順等の各沿線地方の猛者連の馳せ參ずるもの實に三百名、幼年組、少年組、青年組の三組に分けて爭覇するこさになつてゐる、なほ左記諸氏に依り柔道の形が行はれる

投之形	（五段）小谷澄之	（四段）岩下敬次
極之形	（四段）大山	（四段）關薫治
柔之形	（五段）前田久郎	（四段）山根福吉
五之形	（六段）山田行正	（四段）石垣良隆

抱妓虐待の 惡樓主

近く嚴重處分

市內沙河口西町五九料理店幡多屋こさ成田シゲ方は最近抱へ妓に對し客の未拂代金及び回收不能の代金を強制的に出金させ、所持金のない妓等には衣類その他を入質せしめてその代金に當てるほか抱へ妓の無智なるを利用して稼ぎ上高帳の如きも實際より少く記入し收入の事實を僞つて脫税を企てる等抱妓虐待の風評が專らであるので所轄沙河口署保安係では過日來樓主及び抱へ妓について嚴重取調中であつたが、稼高帳記入の不正確及び客の遊興費不拂の拘へ妓負擔の如き前記の事實が大體判明したので近く取調べ終了さ共に嚴重なる處分を行ふ筈であるさ

またも藝妓 自廢を企つ

救世軍婦人ホームに駈込み

鐵嚴慰靈祭 元遼東新報社長末永鐵巖氏の慰靈祭は故人の知友に依り十九日午後三時から中央公園記念碑前に於て執行されるが當日午後五時より西園亭で追憶晩餐會が開かれる出席希望者は五品ビル內滿蒙研究（會八八〇四番）へ申込のこさ（會費二圓五十錢）

藝醜婦の自由廢業續出し抱主に大恐慌を與へてゐる折柄またも市內平和街六五敷島こさ森田重太郎抱へ藝妓八千代事芝田ゆきゑ（二七）が去る十六日朝公休で外出したまゝ市內播磨町救世軍婦人ホーム飛び込み自廢を企てた、小崗子署へホームよりの屆出でにより樓主森田が同夜婦人ホームに赴き直にゆきゑを連れ歸つたが自廢を企てた動機等については目下小崗子署にて取調中である、同人は本年七月九日奉天より二千六百圓にて抱られたが來連後三日を出でずして逃走したこさがあり今度で二回目であるさ

變裝の女探偵

樣痛い女の身で、素晴らしい大活躍！「富士」十一月號は、面白い讀物滿載で大實行を示してゐる。

一粒撰の甘栗 甘栗太郎

普蘭店の 品評會

普蘭店產業品評會は旣報の如く十七日より開會したが、朝來入場者殺到し入場者數二萬參千人に達した、十八日も大連彌生女學校生徒約七百名を初め入場者引きもきらず日沒迄に參萬の入場者ある見込みであるさ、因に時恰も中秋の候でもあり大普間バスなどを利用するさきは沿道の紅葉を賞する得て一段の興趣をそゝるこさが出來よう

海賊に盜まれた戎克

十七日午後六時ごろ市內山城町驛留戎克船雙合順號船主宋共林（二七）が水上署に「先月海賊に盜られた戎克がゐますから取押へて下さい」さ訴へ出たので水上署ではさては總動員のうへ山城町海岸に急行したさころ、該戎克には二名の支那人が搭乘してをり同人等も小長山島附近で海賊に襲はれ身ぐるみ強奪されたうへその戎克で大連まで行けさ逃がされて來たもので判明、なほ同戎克は去る九月十七日河北省沙頭沖で宋が強奪されたものに相違なく、船中の支那人の語るさころによるさ小長山附近には海賊の根城があるさ

時計を搔浚ふ

市內大龍街五七番地呂基山（一八）は十七日午後八時ごろ市內常盤町連鎖商店內貴金屬商森洋行において客を裝ひ時計を見て居るうち店員の隙を窺ひ傍にあつた十八金側腕時計一個（時價三十五圓）を搔浚つて逃走したのを店員が發見し追跡の上へ常盤座前において捕へられ小崗子署へ突き出された

惠比須祭り

大連信濃町市場內惠比須神社秋季大祭は二十日午前十一時より同境內にて盛大に執行されるさ

●●●●遼東ホテル 新築中の市內大山通遼東ホテルは十九日から開業

春日校創立 十周年記念

けふ盛大に擧行

大連春日小學校創立十周年記念式は十八日午前十時から同校講堂に於て擧行された、來賓者は田中市長、田中民政署地方課長、各市會議員各小學校長、保護者等約三百名、定刻「君ケ代」を齊唱、教育勅語奉讀後生徒の勅語奉答歌あり越川校長の式辭に次いで辛島民政署長の訓辭田中市長の祝辭、岡本祉等學校長總代、關山來賓代表、田中保護者會長、春日同窓會總代の祝辭あつてのち田中保護者會長より十年勤續者たる渡部キエ、柴野ワサ（以上訓導）小館正（事務員）梶田森之（囑託）堀田金太郎（傭人）丁平周（支那人傭人）の六氏に對し記念品を贈呈し越川校長の謝辭あつて同十一時半閉式したが、式後兒童作品展覽會が開かれ頗る賑はつた（寫眞は記念式）

來る十月十九日午後三時「滿洲日報」の前身「遼東新報」の創設者故末永純一郎先生の十七年祭を中央公園內故人碑前に於て擧行致度多數御參列相成度此段廣告候也
昭和五年十月十八日
發起人 佐藤至誠 吉野直治 平岡與平治 高柳保太郎

御會葬御禮 父 石川万次郎 親戚友人一同

侠艶一代男 (90)

米田華紅作　伊藤幾久造畫

佃の夜嵐(九)

「あッ！危れえ！」

艫の船頭が立ち上りざま、兩手を擴げて、抱き留めやうとしたのを擦拔ひ、ごぶんと水音高く、濤頭の白く亂れる海へ、叶家の一葉は身を躍らして飛び込んでしまつた。

「一葉！一葉！」

胴の間から憤怒に色を變へた大家源十郎が、艫へぬつと首を突き出して

「船頭！飛び込んだか？」

「へい、惜いことを致しやした。あんまり殿さまは氣が短けえからいけれえのさ」

雲に隱れた月の薄光り、纔に見える濤の上を透して、見廻つてゐた。

「潮の流れの迅え佃沖、西風が出て、この濤じや所詮生命は助かりますめえ」

「その邊に影もないか？」

「見えませんれ」と、船頭は嫌に落ちついてゐたが、ざぶんと横濤が大きい、屋根船の腹を洗つて、ぐらぐらと搖れた。

「こいつは不可れえ。殿さま！佃の夜嵐と云はれる迯手だ。愚圖愚圖してゐると、この船じや、こちと等もお陀佛ですぜ」

「一葉の姿は見えぬか？その邊を少し探して見ろ！」

源十郎は、まだ思ひ切られぬらしく、濤の荒れ出した海面を見透してゐた。

「そんな所ぢやありませんや。船が轉覆かへりますぜ」

船頭は艪を握ると、狼狽てたさまで漕ぎ始めた。

ざぶん〳〵と、大きく濤が幾度か舳に碎けて、締め切つた障子に潮吹が亂れ散つた。

源十郎は、腕組をした儘で、船の屋根に肘を乗せ、舳に立つて、じッと雲のちぎれて飛ぶ空と、暗い海を見詰めて居る。

手のうちの珠を奪はれた、無念さを堪えて、いらくした無燥な氣持に驅り立てられた。

「カア船頭！」

「ヘッ！」、舳と艫なので、聲が風に吹きちぎられ、屆かなかつたと見え、櫓を押しながら訊き返した。

「一葉の身はどうにかならぬか」

「さアれ。殿さまでさへどうもならねえのに、この佃の夜嵐、西の迅手で荒れてゐる海ぢや、あつしの手ではどうにもなりませんや。明日の朝は芝浦か、品川の濱邊に屍體となつて、打揚られてゐましやうよ。おう！嫌にゾク〳〵と寒氣がして來やアがつた。南無阿彌陀佛南無阿彌陀佛」

怯氣づいて、身顫ひでもしてゐるか、顫え聲で、念佛を繰返してゐた。

船は幾度か、舳へ濤を冠つたが、それでも佃の裏を廻つて、墨田の河口へ入つてゐた。佃の夜嵐と云はれるだけ、一刻か半刻前までは、あれ程に靜かであつた海面は、一樣に吹き出した西風に、白濤は高く、空を打つやうに荒れ狂つた。

月は黒い雲に隱れて、切れ間から薄い光が洩れてゐる許りで、流れる雲が引ッ切なし空を飛んだ。

この荒れ狂ふ佃沖の海上、島の蘆蔭へと漕ぎ入れた一艘の小舟。それには意外にも奥山寶亭の矢場女、おさしみお粂に、その日の晝さがり、白鬚社前の堤から一緒に乗り込んだ甕だわし藤の船頭が棹を握んでゐた。そしてお粂の側に打伏しに、汐くたれた髪に着物をそのまゝ、叶家の一葉がぐつたりと虫の呼吸。

「でもよかつたよ。危い所だつたれ」

「へえ、さすがは姐御は眼が高えものさ。あつしなんかお先眞闇とでも云ふんでせうよ」

「こうせ、加州の彼奴等が乗り込んで、變な屋根船が跡を追ふし、碌なことぢやあるまいと思つてゐた。全く！一葉さんを助けてやつてよかつたよ。私も隨分物好きだが、適には人命救助さかも灑くはない氣持だれ」

「ヘッヘッへ……、姐御が善人に御宗旨變へですかい？」

「人間の惡いことをお言ひでないよ」

パラ〳〵と曇つた空から通り雨が船板を打つた。

「おやッ！時雨れてきたね？」

お粂が仰向いて、空を見つめた。

キネマと演藝

邦樂研究會　公演番組　明晩ホテルで

邦樂研究會第一回公演は十九日夜ヤマトホテルで開催されるが、本極り番組は左の如く決定發表された

▲常磐津(子寶三番叟)常磐津二佐太夫、同美春太夫、同司太夫(三味線)常磐津正惠、鷲見千代子(三味線)杵屋正春、酒井鈴子、村上松十年(糸)竹本旭勝 ▲長唄(鳥羽繪)酒井鈴子、武田光代 ▲義太夫(明烏山名屋の段)柿本三十年(糸)竹本旭勝 ▲清元(三社祭)(唄)多波羅、武堂佐藤(糸)清元延榮龍、多波羅、作野よれ子 ▲常磐津(戻橋)小野、藤田(糸)常磐津正系、藤田節子 ▲長唄(木賊刈)吉住小之藏

右の中常磐津二佐太夫社中の出演とキリの吉住小之藏師の獨吟特別出演とは共に同會の非常な收獲と見られて居るのみならず番組中には記載されざるも右の外番外として花柳の師匠である清元延榮龍師が清元の地で舞踊を出すらしいと

歌舞伎座の女萬歳　エロが呼び物

エロとユーモアの尖端をゆく千島會一行の女流萬歳大會一行は既報の如く來る廿一日から歌舞伎座で開演されるが、一行は小唄の名人竹廼家胡蝶を始めとして小八千代さんぽ、力丸、千枝子、文丸、清子、繡丸、かもめ等の萬歳ガール岸子、駒枝、清子、一松、さんチ君子、房子、金時、米八、光丸、千代等の舞踊等一行三十餘名全部女流であるから歌舞伎座のステージは笑ひとエロの巨砲が連發されるものと期待されてゐる【寫眞は胡蝶】

石井漠氏の舞踊團が來演　來る廿、廿一日の兩夜　協和會館で開演

大連滿鐵社員倶樂部にては曩に聲樂家萩野綾子孃を迎へて其の明澄高雅の藝術に秋のシーズンを飾つたが、今回再び日本が有する最大の舞踊家石井漠氏を招聘し新しき時代を象徴する詩感と意思の交響樂である新舞踊を廣く紹介することになり本社もこれに贊同して後援することに決定した、石井漠氏が來演したのは既に五年の昔で、その後三ケ年間歐米を巡遊し歸朝後、石井小濤と分離し、一度は失明を傳へられ、また盲腸の手術にあらゆる艱難を突破し來つたが、常に燃ゆるが如き藝術慾はすべての苦難を征伏してその藝術は愈々圓熟の域に達し舞踊家としての世界的地位を益々確保した、今回來滿する石井漠舞踊團は門下の名花石井榮子を始め盡美津子、山川貴久子、笹田美佐子等八人の美少女及荒木陽、伴奏者エリンコ、ロッシー、村山信吉等一行十六名でその舞踊詩に加ふるに多分の大衆味のプログラムは漠氏獨特の純藝術的舞踊詩に加ふるに多分の大衆味を以て編成され非常な期待を以て迎へられてゐる、今期は來る二十二十一日の兩夜七時から協和會館で開催するが、會費は一般一圓五十錢で會員及び本紙讀者は一圓で既に社員倶樂部事務所で前賣券を發行してゐる【寫眞は石井漠氏】

都山流尺八演奏大會　草崎圭山司會

都之雨社大連曉風會主催草崎圭山氏司會の曉風會第十回都山流尺八演奏大會は十九日午後五時半から大連新聞社、滿鐵音樂會、富森大檢校社中、福永大勾當社中後援の下に協和會館にて開催されるが番組は左の如し

コロムビア十一月新譜披露

電氣遊園音樂堂のコロムビアレコード演奏會は十九日(日曜日)午後二時から十一月新譜披露演奏をするがプログラムは左の如し

▲吹奏樂(英國陸軍行進曲)▲東亞映畫小唄(古き都に春たちて)▲琴曲童謠(栄ぐり、蟲の音樂コブトリ、ウチノコネコ)▲新民謠小唄(宮島小唄)▲獨唱(荒城の月この道)▲浪花節(赤垣源藏德利の別れ)▲流行唄(銀座のモダンガールつぼみ)▲交響管絃樂(ラ、チヨコンダより時の踊り)▲高峰琵琶(湖水渡)▲童謠(兵隊さんむく〳〵柳猫柳)▲新民謠(船乗小唄木曾谷情緒)▲吹奏樂(クラリネット協奏樂第一番)▲獨唱(おけさ節郡上節)▲落語(祝ひ大黒)浪花節(藤堂高虎)▲バンヂヨーギター(フオスター歌曲集)▲流行小唄(なんなげ小唄)▲滿洲童謠(高足踊りぱくちく、兎馬)▲バンヂヨーギター(婚禮の篩)

序曲「花陽樂」▲生田流箏曲「金剛石」▲同「三の景色」▲生田流三曲「櫻川」▲尺八獨奏曲「木枯」▲生田箏曲「吉野天人の曲」▲新日本音樂「軒の雫」▲尺八二重奏曲「八千代」▲新日本音樂「遠砧」▲同「鈴虫」▲生田流三曲「黒髪の嘉」▲尺八獨奏「夜の懐」▲新日本音樂「都節」▲生田流箏曲「秋の言の葉」▲歌謠曲「昔の人青山の池」▲尺八五重奏「清姫」

都話

「無憂華」は斷然素晴らしい前人氣で既に一萬枚の前賣券が捌けたと傳へられてゐる▲何と言つてもお西サンを中心とした點が強味で「見に行く暇がないなんて勿體ない、拜みに行きませう」といふのだから物凄い▲帝國館は次週に流行小唄映畫「アラその瞬間よ」を上映するので宣傳にナフキンを特製してアラその瞬間よ、とカフエーに寄贈した▲そし、曲は長井伊久子孃と佐藤千枝孃といふのが合唱するが、遼東カフエーの應援だとネタを割つた方が興行價値があると映畫雀が今から騷いでゐる▲天日活は「この太陽」に全力を傾注して近く「この太陽」の繪ハガキを配る▲寶館の今週は洋畫七本立といふ大連映畫界始まつて以來のレコードを作つて流言蜚語を生んでゐる

ペーブメント

西通にまた新らしいカフエーが生れた、アジアであるが、女給が全部内地直輸入だといふのが評判になつてゐる、何でも岡山から大擧して來連したとかで、そのお國訛が面白いとこれも評判なのであるこの頃のカフエーの繁昌策はもうメイド・イン・ダイレンの女給では客が呼べないさうだ、皆ネタがバレてゐてSAがないといふのである、皮肉な連中はこれで救世軍が東京カフエーとアジアに挾撃されたと騷いでゐる、ところで西通附近は愈々カフエー街で不二、行進曲、道頓堀、滿洲、アジア、新世界、東京、東洋亭、新世界と數へ立てられて來た

大連 JQAK

十月十九日午後七時

▲講話(産業合理化)金子利八郎 ▲狂言(鎌腹)上田他吉郎、龜川音吉、瀨崎久雄 ▲喜劇(誰が罪能率増進劇)鐵工所社長染井信一(傑六)同妻靜枝(國藤)職工山路梅吉(信藤)同妻お春(貞夫)同娘お花(致藤)刑事西本(春夫)泥棒金吉(松藤)お春の實父藤吉(六兵衛) ▲萬歳(能率増進數へ唄)川田梅丸、眞崎ツネ ▲俗謠(數種)唄、三味線增井八軍野

滿洲日報

型錄送呈
賞牌 勲章
優賞メダル
記念メダル
表彰メダル
徽章 袴章
象嵌マーク
ネームプレート
琺瑯 標記
各種トロフイ
大連市山縣通七七
金華號本店

新裝
カレンダー
ポスター
製造卸
藤井卯商店
大連市浪速町
電話五八七四
JANUARY
1

萬泉刃物店

高級實務算盤
大連市大山通り浪速町角
文房具部 滿書堂
電話四九九四 六〇三四

活版
石版
印刷諸
電四三二一
四・四八〇番
四・四九

り
辻利茶店
東京御用達特製
燒海苔、味付海苔、巻ノリ
京都七味家特製
七味唐ガラシ、粉山椒
七味フゴ入
旅順名物特製
ウヅラ粕漬 梅詰、罐詰
辻利食料品部
電話 三八七四 七七六 番

社說 映畫の取締

映畫が我國に輸入されて以來ここに三十有餘年の歳月を經過した今日に至るも未だ映畫に關する著作權並びに興行權は甚だ輕視され映畫そのものの近世における驚異すべき發展に比較して實に輕視され來つた。既に文學、美術等の著作權又は興行權に比較してより以上の大衆性を有する映畫が輕視され來つたのである。即ち現行の著作權法中に於ては映畫に關するものは僅に僞作の場合における處分方法を規定せるのみにて、その他何等の保護條項なく大正十四年施行の映畫檢閲規定に際して「檢閲申請に際しては興行權を證する書類の提出を命ずる事を得」との規定を設けて漸く無斷複製及び盜寫等の不正行爲を防止し得る樣になつた。これ以外には全く映畫の著作權並に興行權は保護を受くべき途がなく常に紛糾を惹起しつゝあつたが今回、内務省が著作權法の改正を行ふに當り映畫に關する著作權並に興行權に關する條項を加入改正することに内定し本議會に提出さるゝべく茲に初めて映畫の著作權並に興行權は完全に確立されんとしてゐる。

顧つてわが關東廳管下の州内及び滿鐵沿線に於ては廳令として發布されたる何等の法規なく前記の映畫檢閲に關しては内務省より獨立せるため内務省の實行檢閲規定は適用されず僅かに廳令の興行及び興行場取締規則の第二章第六條第十一項に於て「演技者の藝名を詐稱し事實に相違せる廣告を爲し又は事實に相違する看板を掲げざる事」と規定されたるのみであるために特殊區域たる州内及び滿鐵沿線における映畫の著作權に關し常に邦人側と外人側に紛糾を生じその度毎に邦人側は外人側の資本力に壓倒されて不利の立場を持續しつゝあつたが今回、多年の懸案である州内及び滿鐵沿線における映畫著作權問題を解決すべき訴訟が提起され映畫業者は勿論、ひいては特許法その他に重大關係あるものとして、その成行は大に注目されてゐる。

即ち映畫の著作權とは映畫の所謂配給上映權であつて、この映畫配給上映權は結局、著作權を離れて主張すべきものでない。從つてわが統治權下にある州内及び滿鐵沿線の配給上映權はわが國の法律即ち前記の如き不備なる著作權法によつて裁かるべきである。この現行の不備なる映畫に對して全く無關心なる現行著作權法によつて之を處置せんとする時は徒に問題を紛糾せしめるのみにて、かくては有力なる資本を有する外人側の抗議によりオール・チャイナーの一言を以て日本側が配給權を有する外國映畫が常に上映を阻止さるゝに至り、また萬一、今回の訴訟が敗訴に終つて新判決例とならんか邦人映畫業者が凡ゆる艱難を突破して開拓せる地盤は一朝にして水泡に歸すべく邦人の利益の一部は遂に失はれるに至るであらう。

またこれを在滿邦人の娛樂の方面より考察すれば民衆娛樂として映畫は唯一のものであり、大衆を把握する映畫のうち殊に優秀なる外國映畫が今日の如く紛糾を繰返し、其ため有名なる作品が遂に上映中止となるが如きは在滿邦人としても甚だ遺憾である。之等の缺陷を補ひ邦人の利益を保護し民衆娛樂としての映畫の順調なる發展を期待するためには當局として深く注意するところがあつて欲しい。その最捷辨法として現行の内地より獨立せる關東廳の映畫檢閲規定を改正して内務省の檢閲證あるプリントに限り關東廳にて再檢閲のうへ上映を許可し、それ以外のものは行政處分を以て興行不許可となすが最も捷徑ではあるまいか。

陸軍の節約最大限度 千三百四十三萬餘圓程度
國防力低下を招來するが如き事 絕對に承認しない

【東京十七日發電通】明年度豫算編成に對する既定經費節約に關し陸軍ではしばしば省議を開き協議の結果

一、豫算節約のために國防力の低下を招來するが如き事は絕對に承認せぬ事
二、近く大藏省より提示さるべき節約案の内容が陸軍のみに高率を強ゐるものである場合その差額は絕對に承認せぬ事

を二大條件とし右に牴觸せぬ範圍内において出來るだけ捻出することに大體對策を決定した、しかして節約の大綱としては

一、主力を繼續費の繰延に置く事
一、經常部及び臨時部においても能ふ限り節約する事

に大體意見の一致を見た、しかして右によつて節約繰延し得る最大限度は千三百四十三萬餘圓程度なりとしてゐる

政府の公債發行と財界、金融界の影響
大藏當局の樂觀意見

【東京特電十八日發】非募債主義を固執し頑として讓らざるべく見えた現内閣も豫て一般の豫想した通り財政の窮迫と失業者の増加から遂に明年度豫算において一般會計において三千萬圓程度の公債發行を覺悟した模樣であり、而してこれが財界及び金融界に及ぼす影響について早くもいろいろの取沙汰が行はれてゐるがこれに對し大藏當局は次の如き見解を持つてゐる、即ち

明年度發行の公債が果して幾許に上るべきやは尚未定であるが假に傳へられるが如く一般會計において

三千萬圓 程度のものであるとすれば金融界及び一般財界などに差したる影響を與へまい、といふのは現在公債市場が軟弱としてゐるのは財界不況と相關的に有價證券の値下りを豫想されてゐるにも因るが、主なる原因は非募債主義抛棄が材料でこの影響は既に相場の上に現はれてゐるのみならず、些か行過ぎの觀すらあるから明年度の公債發行額が確定すれば反つて人氣は落着いて行過ぎを停止するやうな事になるであらう、且つ該公債は公募によらず恐らく預金部その他引受による特別發行となるであらうから國債市場及び事業資金などには

何等壓迫 を加へずして濟むであらう、又一部ではこの際公債を發行することは井上藏相の所謂「借金無し豫算」なるものに背反し緊縮政策に逆行するものとなす向もあるが今日の如き非常時に近い財界の状況に對しては理論一點張りで進み得るものでなく、時宜に應じて緩急よろしきを得る必要がある、殊に産業合理化については政府自身が失業救濟に腕を入るゝにあらざればその促進が困難であり從つてその點から觀れば寧ろ財界に非常な便宜を與ふるものであるといへると觀じてゐる

補充計畫案で貫徹懇請

【東京十八日發電通】海軍補充計畫は目下大藏省主計局にて査定中なるが三億圓案に大削減を受くる時は國防上不安を生ずる慣れあるので加藤海軍省經理局長は十八日午後一時藏相官邸に藤井主計局長を訪ひ海軍省案の補足的說明をなすと共に海軍省の立場を強調して原案の貫徹を懇請した

補充計畫の前途
◇……政友會側の觀測

【東京十八日發電通】政友會ではロンドン條約締結の結果政府が補充計畫と減稅に對し如何なる決定を與へるやにつき今なほ多大の注意を拂つてゐるが大體左の如き觀測を下してゐる

一、條約の締結により財部海相は海軍部内の不統一を招き且つ今後の補充問題に善處し難き故を以つて引責辭職したのであるが海軍側の補充計畫に對する態度は強硬で殆んど剩餘財源の全部を要求せんとしてゐる

一、然るに政府は極力海軍側の妥協を希望し減稅財源の捻出に苦慮しつゝあるが補充計畫の完成年度延期は絕對に不都合である

一、即ち一九三六年條約滿期と共に更に新條約生るべく一方同年度より主力艦の代換建造が開始され潛水艦は軍事參議會の奉答文の結論にある如く三大原則に復歸するを要し五萬二千噸が七萬八千噸に復活し二萬六千噸の増加を見ることは必至の現勢である、次に八吋大型巡洋艦も三大原則の實現を見れば對米七割となり一萬八千噸を増加することゝなる

一、以上主力艦潛水艦大型巡洋艦において昭和十二年度よりは更に經費の増額を要し假令他の艦種たる輕巡洋艦驅逐艦において減少する事となるも結局經費増加は免がれぬ、故に十二年度において六千萬圓の保留財源ありとするも夫れにて足りる筈はない

故に政友會としては今回の補充計畫を一九三六年度以降に繰越す事は徒らに同年度以降の海軍費膨脹を招來し豫算難の繰越しに過ぎぬも參議官會議の奉答文の上からいふも國防上の缺陷は條約期間に補充するが當然であるとなし政府はこの結果進退兩難の立場に陷るであらうとこれが成行を非常に重要視してゐる

阿部陸相代理報告

【東京十八日發電通】阿部陸相代理は十七日午後北海道より歸京したが十八日午後零時十五分東京驛發列車で國府津に宇垣陸相を訪問し視察狀況につき詳細報告の上明年度豫算對策につき種々報告諒解を求むる處あった

大演習陪觀

【東京十八日發電通】アルゼンチン協和國では來月行はれるわが陸軍特別大演習陪觀のため陸軍砲兵大佐エンリケー・ハウレギ氏を我國に特派する旨十八日陸軍省に通知があった

法權視察終了をまち審議機關を設置
司法權統一や人事刷新の研究

【東京十七日發電通】川崎司法政務次官は十七日午後一時東京發滿鮮地方の法權視察の途に上つたが同次官の歸京を待つて井本參與官が臺灣の法權視察に行く事になつてゐる右兩政務官の視察が終了すれば司法省ならびに各植民地法務官より各三名の委員を選任司法權の中央統一、人事の刷新等につき研究を開始する筈である

園公風邪の氣味

【興津十七日發電通】西園寺公は數日前より風邪氣味で一切政客の訪問を避け主治醫勝沼博士に隔日來診を求めてゐるが、今春大患の後でもあり殊に老體の事とて近親者は憂慮してゐる、原田熊雄男は十七日午前九時半來興、公を見舞った

政治教育と豫算
九十八萬圓餘を計上

【東京特電十八日發】政治教育に關し施設すべき事項につき文部省では明年度豫算に新規事業として計上すべく既に立案を終へたので選擧革正審議會總會において決定案を得次第、右決定案と對照して正式に成案として大藏省に豫算を要求する手筈であるが文部省立案の政治教育案の豫算額中主なるものは

一、政治教育に關する中等教員講習費十萬圓
二、選擧革正を主眼とする團體を新設しこれに補助金を交付する經費三十萬圓
三、既成の政治教育團體に對する補助金十萬圓
四、政治教育指導者講習會費二十萬圓
五、成人教育講座及移動文庫に要する經費十萬圓

その他を併せて九十八萬五千圓に達するが右の中選擧革正團體の新設(三十萬圓)は未定で、現在決定の分は六十八萬餘圓であるが、これでも新規事業費としては尨大な案であるため審議會總會を經て後正式要求案作成の際には會計課において適宜削減して大藏省へ廻付する筈

救護法實施 財政難で見合せ
内務省の切望を退けて

【東京十七日發電通】救護法を六年度より實施すべき事は五十八議會において内相藏相より言明せるところであるが、未曾有の財政難のため大藏省では内務省側の切なる要求を退け遂に實現を見合せることにここに決定した

財政計畫に基き大局的說明
廿四日の閣議で藏相

【東京十七日發電通】井上藏相は二十四日または廿三日繰上げの閣議において六年度豫算査定案の說明を行ふ事となつてゐるが、その說明は今後十年間の財政計畫案に基き新規事業の全廢改定計畫の大削減及び國防補充計畫と減稅との振合につき大藏省としての方針を明示せんとするもので、藏相がかゝる前例なき方途を選んだのは種々難問題累積しこれ等につき各省との事務的折衝を繰返す以前に財政計畫に基き大局的說明を試みて政治的解決に便する最良策と認めたからである

間島各地の不安益々つのる
鮮人共産黨の跋扈甚だしく 朝鮮人民會憂慮さる

【間島特電十七日發】去る十二日夜十時ころ武裝せる鮮人共産黨員數十名が延吉縣春陽郡轄角樓を襲ひ、野積の穀物に放火してこれを全燒し鮮人男女二十數名を慘殺したので百草溝より支那歩兵團が追跡中との報に接し、局子街、延吉警備軍より軍隊が急行した、わが當局には未だ入報がないが同地方面は最近共産黨の跋扈甚だしく、しかも朝鮮人民會關係者の親日鮮人を覗ひ既に數名を殺してゐる因に間島各地の不安はますます甚だしきにも拘らず龍井にある、第一次應援警官隊は奥地に出る模樣なく、また上三峰に集結中の第二次隊も依然踏み止まつてゐるので間琿十八ケ所の朝鮮人民會は何れも外務省の保護を絕望し、この調子では辭職者續出するに至るべく憂慮されてゐる

南京政府の緊縮政策
宋部長態度強硬

【南京特電十八日發】國民政府財政部長宋子文氏は來る十一月十二日開かるべき第四次中央執監會議に對し、行詰れる國民政府現下の財政改善の一策として極端な緊縮政策實行の提案を爲す筈で、若しこの提案が容れられなければ宋子文氏は提案者たる責上斷然その職を去る意嚮だと觀られてゐる

神嘗祭
賢所大前に新穀を天皇陛下お供へ
南庭で伊勢神宮御遙拜の後 御儀滯りなく御終了

【東京十七日發電通】天皇陛下には十七日午前十時各皇族殿下文武顯官拜列のうちに賢所に御參進、南庭にて先づ伊勢神宮を御遙拜遊ばされ、ついで玉串を献ぜられ御告文を奏せられて御禮拜新穀を大御饌として賢所に供御の御儀を終らせられた、次いで皇后陛下御代拜竹屋典侍參進拜禮し皇族殿下御初め參列諸員の拜禮あつて陛下入御森嚴なる御儀は同十一時滯りなく御終了遊ばされた

皇后陛下御懷姙の御祝詞を言上す

【東京十七日發電通】濱口首相以下各閣僚は十七日午前十一時宮中神嘗祭に參列したるのち東御車寄において皇后陛下御懷姙の御祝詞を言上し退下したなほ濱口首相は午後一時大宮御所に伺候し皇太后陛下に皇后陛下御懷姙の御よろこびを申あげた

外米輸入關稅 約二倍に引上げる
法制局に改正案廻附

【東京十八日發電通】農林省は米穀對策として外米輸入關稅の引上げを行ふ事となり現行輸入稅百斤一圓を二圓(一石二圓五十錢を五圓)に引き上ぐるに方針を決定し本日改正案を法制局に廻附二十日米穀委員會に附議する事となつたので町田農相は十八日午後一時濱口首相を訪問し此の旨報告諒解を求めた

在滿邦人と公民教育の急務 (二)

奉天 根岸卯太郎

「而して少年青年に對する教育方針たるや頗る獨創的なものあり、即ち何等纏りたる意味に於ける學課なるものなしこれに代ふるに討論、協議を以てす而してその題目は多く學校生活に現はれた實際的事件のみなり、斯くて彼等は選擧又は指名された議長の許に論議に熱中し一日の大半を費やすを常とす、而してその殘りの時間は乘馬狩獵に用ゐらるゝなり、結局彼等は文字を學ばむが爲めに學校に在るに非らずして、正義を敎へられむが爲めに登校するなり」

勿論今日斯かる單純な制度を復興することは出來ないが、其の精神の在るところを酌んで參考としなければならぬ。

是れに就き現今の學校生活に於て、特に獎勵して可きは生徒の自治的訓練である。是れは常に年少學生をして、事務の分掌、制裁の妥當なる執行等に關し訓練するのみならず、又學校生活の改善進歩せしむる爲めに、有力なる素因を作る事ともなるのである。併し生徒の自治的訓練に關しては、飽くまでも周到な注意が肝要である。さうでないと折角の結構な計畫も、徒らに高遠に走つて生徒の理解を超越するやうになつたり、又は餘りに組織に溺れて、實績を擧げるに難くなる危險がある。

次に學校生活を終へた後の公民生活に就いては成人教育の範疇に入るものである。成人教育に關しては、別に項を改めて論じ度いと思ふ。しかも公民教育のうちで成人教育が最も其の重要な部分を代表してゐるものであるから、成人教育協會の沿革、又成人教育の主智的考察を試み度い。故に茲では只私見として極めて實際的な一箇の提案を讀者諸彦の前に呈する。

夫は滿鐵附屬地內に建てられたる社員倶樂部の如き建物をして、公民生活に關する研究調査のための建物であらしめたい。幸ひに其地に大學なり他の有力なる學校があるならば、夫との協調を慮ることである。不幸にして其の如き便宜を得る途が無いならば、特別の後援會を組織して、智的開發に志ざすやうに計畫し度い。さうして其の建物には何物よりも先に善良なる圖書室を備へて、政治、經濟、産業史、社會史、人種學、其他に關し、標準となる可き著書を網羅し、夫れに加ふるに代表的な雜誌新聞を以てす可きである。次に文書保管部を設け、其の處に凡ゆる重要記事を新聞紙より雜誌より、切り拔いて備へ付けるやうにし度い。

又講堂を備へて社會問題、政治問題に關する講演討論等に充つる事とする。而も此處において行はるべき論議は斷じて抽象的、學究的のものならずして、實際的のものであらしめたい。最後に事務室であつて、其の建築物に於て働く事務員の詰所とする。斯る建物の効果は顯著である。夫れは直に公民生活に關する凡ゆる意見が綜合する場所となる。さうして新知識の絕えざる供給所となるのである、夫れは同時に大學の研究室ともなり、商議會議所ともなる役目を爲すのである。是に要する經費も大して困難な事でないと思ふ。恐らく滿鐵附屬地の一般住民が斯の建物に就いて、其の精神を理解して利用せんとする時、滿鐵當局は是れに應ずるに決して吝かなるものでないと信ずる。而も想像せらるゝ經濟上の困難も、必ずして解決の途を得るであらう。

公民と云ふ權利――元來公民とは都市に居住する者の名稱である。此語の語原はラテン語の「シビス」であつて、ロオマ帝國に於ける都市の定住民を指して云つた語である。是を少しく詳細に言ふて見るならば、他の人々と社會的交渉を緊密に保ちつゝ生活する者をいふのである。茲に我等が考察しなければならぬ第一の點は、人間生活が孤立的でなく社會的であることである。尤も古へより世を隔ち人を避け、恬淡を好む野獸のやうに、沙漠に、森林に、或は山野に隱遁して孤立の生涯を送つた者がある。さうして其の數も少くない、且つ多數の人々からは決して外なる行爲として見做されてゐるのである。事實人間が孤立して暮すといふことは、假令何と言ふて見ても不自然としか思へない。人性のうちに社會的性情のあることは爭ふ可らざる事實で、人は社交的精神の的に綜合して、社交的生活を營むのが常態なのである。

濟南事變の行賞
人員約二萬名に上る

【東京十八日發電通】昭和三年支那事變論功行賞の中第三師團の分は十八日發表されたが人員約二萬人に達してゐる中將官級の行賞左の如し

勳一等瑞寶章一時金九百三十圓 陸軍中將 安滿欽一
一時金四百圓 陸軍少將 佐藤三郎
旭日中綬章一時金四百二十圓 陸軍少將 倉岡直熊
一時金三百圓 陸軍々醫監 宮崎弘隣
勳二等瑞寶章一時金五百二十圓 陸軍少將 蜂須賀喜信
勳二等瑞寶章一時金五百二十圓 陸軍少將 三宅光治
勳二等瑞寶章一時金九百三十圓 陸軍少將 牛島貞雄

失業問題に英各政黨協力

【英國トーキー十八日發電通】當地に開催中の自由黨大會で黨首ロイドジョージ氏は失業問題解決につき各政黨の協力を提議し同黨は關稅問題につき好意を以て考慮せんと述べた

東北省に一大製紙會社

東北交通委員會委員長高紀毅氏は東北四省の官署及一般民間において使用する洋紙は莫大なるものありこれをすべて日本その他各國の輸入に仰いでゐるのを遺憾とし資本金一百萬元を以て製紙會社を設立すべく目下計畫中である(奉天電話)

女縣知事の首繫ぎ運動成功

一昨年河北省の縣長試驗に合格して同省の某縣々長に任命され支那唯一の女縣知事として一時有名であつた鄧鳳鳴女史は河北省が山西派から奉天派の天下と代つたので首繫ぎ運動のため數日前來奉し張學良氏に面會諒解を求むるところがあつたが新人張學良氏のお氣に入つたらしく首の保險を得て引下つたと(奉天電話)

錢舖空家增加
最近奉天城内に

支那新聞の報ずるところによると奉天城内で最近特に目立つて增加したものは兩替屋の看板と貸家、貸家の貼札であつてこれは銀安に因る空前の不景氣のため現金を有する商人が確實な錢舖に融資替へしたのと融資の行詰りで歸農する者多く空家が激增したのであると(奉天電話)

安樂椅子

十八日の晝に、大連製氷會社の榮町工場落成披露宴があつた佐藤社長の挨拶に對し、村井商工會議所會頭が來賓總代としての祝辭▲その村井さんの祝辭の内に滿洲における日本人經營の會社も澤山だが、或は興り、或は仆れ、そこに幾多の波瀾を有してゐるに、獨り製氷會社は、絕えず進一進の徑路をたどつて今日に至り、大連に二工場、青島に一工場のほか、更に這次第三工場を榮町に建つるに至つたことは滿洲邦人事業界の羨望である、驚異であるこれ事業の時世に適應したるによるべけれど、經營その人を得たるによらずんばあらずであると▲聽くものは皆これに首肯を與へた、事業はこれでなくちやならない、だが製氷事業も更に發展して滿洲の生産で、內地の食料問題を解決するに有効のものとならなくてはその事業に滿足を與へられない、願はくは製氷會社も、今一飛躍でこの域に達して貰ひたいとは列席者の所感

市況(十八日)

株式 內地株弱含み 當市弱保合

大阪後場引は前場引に比べ大株三十錢高、大新三十錢安、鐘紡五十錢高、鐘新二十錢安、東京短期後場寄も前場引に比べ新東三十錢安と弱含みを報じたので當市も大新十錢安、新東三十錢安と弱保合を呈した

▲現物後場引(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
商信	―	―	―	―
新豆	―	―	―	―
錢鈔	―	―	―	―
氷新	―	―	―	―

◇現物(乙部)

銘柄	寄	引
大新	四三三	―
鐘新	―	―
新東	八八五〇	―
滿鐵新	―	―

特產 仕手關係から各品強含

後場の市況は依然仕手關係から各品一齊に強保合を示し商內又活況を呈した

◇定期後場(銀建)

▲大豆(強保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	六六〇	六六〇	六六〇	六六〇
十一月末	六四三〇	六四三〇	六四二〇	六四三〇
十二月末	六四一〇	六四一〇	六四〇〇	六四一〇
一月末	六四〇〇	六四一〇	六三九〇	六四一〇
二月末	六四〇〇	六四〇〇	六三九〇	六四〇〇
出來高	一二百〇四車			

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	二一一〇	二一一〇	二一一〇	二一一〇
一月限	一〇四〇	一〇四〇	一〇四〇	一〇五〇
二月限	一〇六〇	一〇四〇	一〇六〇	一〇六〇
三月限	一〇六〇	一〇六〇	一〇六〇	一〇六〇
出來高	五萬七千枚			

▲豆油(不變)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇	一九〇〇

錢鈔 人氣添はず依然頭重

後場の市況は更に人氣添はず依然仲買商勢の保合で大引

◇定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
出來高 期近	二百五十一萬圓			

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
寄付	三六五	一〇〇九	一六〇
二時半	不申	一六五	一六五
三時半	不申	不申	不申
出來高	銀對金二萬五千圓	銀對洋五千圓	

◇現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込) 大豆(裸物)	六六七〇	六六八〇
出來高	二十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二三三〇	二三三〇
出來高	五千枚	
豆油	一九五五	一九五五
出來高	一千箱	
包米	出來不申	

商品 三品反騰に當市賣込む

大阪三品後場引は前場引に比べ三月限二圓二十錢高、その他各限とも一圓内外の反騰を報じたので當市は相當大手筋新規賣があつた

綿糸定期取引

銘柄	約定期	値段	數量
福助	一月限	一二二六六	五〇
同	三月限	一二二二七	一〇〇
同	同	一二二二四	一〇〇
出來高	四百梱		

市場電報(十八日)

神戸特產

品名	値段
大豆現物	四九〇
先物	三九五
豆粕現物	一四〇
先物	二四〇
滿洲小麥	三七五
豆油現物	一七八〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一〇〇四〇	一〇〇四〇
東新	八八二〇	八八二〇
豆信	不申	不申
豆新	不申	不申

東京株式(短期)

	東新	鐘新
寄値	八八六〇	五六〇〇
引値	八八四〇	五五九〇
高値	八八七〇	五六一〇
安値	八八二〇	五五五〇
滿鐵新	不申	五五五〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	不申	五五七〇
大新	四二一〇	四二〇〇
鐘紡	一三五四〇	一三五二〇
鐘新	五六六〇	五六五〇
日糖	二七八〇	二七九〇
郵船	二五七〇	不申
東新	八七九〇	八七七〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十月	一三九二〇	一三九九〇
十一月	一三五八〇	一三六三〇
十二月	一三〇七〇	一三一二〇
一月	一二六三〇	一二七三〇
二月	一二三三〇	一二四四〇
三月	一二一八〇	一二三四〇
四月	一二〇四〇	一二一〇〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
十月	一八〇五	一八一五
十一月	一六三六	一六四〇
十二月	一五五四	一五三〇

神戸期米

限月	後場寄	後場引
十月	一八六〇	一八六〇
十一月	一六二九	一六二六
十二月	一五三四	一五三九

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十月	一八六三	一八七一
十一月	一六四三	一六四七
十二月	一五三九	一五四七

コドモ

草花にも……やつぱり魂がある

太郎さんの聞いた 蠅取り草や人を食ふ植物の話

太郎さんは草花を手切ることが大好きでした

「あゝきれいな花が咲いてゐる」

太郎さんがさう思つた時にはもう其の美しい花が太郎さんの手に手切られてゐるのです

太郎さんは野原に行つても山に登つてもむやみに花を手切りました、しかし其の花を家に持つて歸つて花瓶にさすでもなく歸りにはもう道ばたに捨ててしまふのです

ある日のことです、太郎さんはお父さんにつれられて近所の山に登りました、山にはかあいらしい秋の草花が時を得がほに美しく咲きそろつて柔かな秋風になびいてゐました

「お父さん、あそこにきれいな花が……」

太郎さんはさう言つて駈て行かうとすると

「ちよいとお待ち」

お父さんは太郎さんの肩をおさへました、

「むやみに草花を手切つたりするものではない、草花にも人間と同じやうにやつぱり魂があるのです 草花には口がないから痛いとも何とも言ふことは出來ないが、千切られた草花がどんなに悲しんでゐるかわからない」

お父さんはさう言つて次のやうなお話を太郎さんに聞かせました

「太郎はまだ蠅を捕へて食べてしまふ草のあることを知らないだらう、この草は蠅取草と言つて背の低い木であるが、此の草の葉の内側には蠅の好きさうなおいしい甘い汁をいつも出してゐる、そしてそのいゝ匂におびきよせられて其の上に蠅がとまると其の葉は忽ち蠅を包んでしまひ何日もかゝつてそれを食べてしまふのだ、食べ終ると葉はもとどほりに開いて又次の蠅の來るのを待つてゐる、どうだ面白い草だらう」

「まるで動物のやうですれ」

「まだ／＼面白いのがある、これは南アフリカにあるアカシヤの一種で自分のからだを護衛させるために澤山の蟻を木の上に養つてゐるのがある、何でも此の附近には植物の葉を食ひ荒す昆蟲が多いさうであるが、此のアカシヤは葉の先の方から蟻の好きなおいしい蜜を出して蟻に御馳走を與へてやつてゐる、そこで蟻は此の木の根元に自分の巣をこしらへ、常に木に上つたり下りたりして生活してゐるが、此のアカシヤに取つて蟻達は全く近衛兵で葉を食ひ荒す昆蟲が來ると蟻は忽ち其の昆蟲を追ひ拂つてしまふのださうだ」

「かしこいアカシヤですれ」

太郎さんは感心してゐます

「まだ／＼變つたのがある、ボルネオや、スマトラあたりに行くと恐ろしい殺人植物があるさうだ、フランスのある探檢家の話によると、此の草は高さが六十尺もあり花は六尺もあつて葉の表面からは恐ろしい毒ガスを出しそのあたりに一日も居ると動物でも人間でも忽ち死んでしまふといふのだ、それからもつと恐ろしいのはアフリカの東南沖のマダカスカル島にある人食ひ植物だ、まるでパインアツプルのお化のやうな高さ十尺もあらうといふ莖の下の方には長さ十二尺位もある大きな葉が生えてゐてその葉は風もないのに常にブル／＼震へてゐる、そして莖のてつぺんには何ともたとへやうないおいしい汁がたまつてゐて、その莖によぢ登つて其の汁を食べると人間でも鳥獸でも忽ちからだがしびれてしまひ、それと同時にまわりの大きな葉はスク／＼と立つて人間を包んで食べてしまふのださうだ」

「恐ろしい草ですれえ」

お父さんのお話をじつときいてゐた太郎さんは、すべての草花に人間と同じやうな魂があるやうに感じられて來ました、そしてこれまでむやみに草花をむしり取つては捨てたことが何だか恐ろしく思はれて來るのでした。

アフリカ土人の 面白い狩り

アフリカの土人は鐵砲を持たないので狩をするのには弓だとか槍などを使ひます、しかし矢は鐵砲のタマのやうに遠くにとゞきませんから、土人はいろ／＼工夫をして動物に近づいて行きます。駝鳥の皮を着て駝鳥の群に近づいたり、頭に水鳥の皮をかぶつて湖の中を泳ぎ廻りながら水鳥を捕へたりすることは中々上手です、此の寫眞も其の一つで今一人の土人が頭に鳥の首をつけた帽子をかぶり手に弓を持つて鳥のそばに近づいてゆくところです、

ヒロチヤン ト……ジヨン

ヨウイチロ

ジヨン ハ ヒロチヤン ノ ダイノ ナカヨシデス、ジヨン ハ タイヘン カシコイ イヌデ ヒロチヤン ノ イフコト ヲ ヨクキキマス。

ヒロチヤン ガ カバン ヲ サゲテ、ガクカウ カラ カヘルコロニ ナルト、ジヨン ハ マチノ カドノ トコロ ニ キテ、マイニチ マツテヰマス ソシテ ムカフノ ハウニ ヒロチヤン ノ カゲガ ミエルト、ジヨン ハ イキホヒヨク トンデイッテ ヒロチヤン ノ ムネニ トビツキ、リンゴ ノ ヤウナ ヒロチヤン ノ ホッペタ ヲ ペロペロ ナメマス。

ヒロチヤン ハ オカアサン カラ オクワシ ヲ モラフト ハンブン ハ ジヨン ニ ヤッテシマヒマス。

ジヨン ハ アヤシイ ヒト ヲ ミタリスルト モノスゴク ホエツキマスガ ヒロチヤン ガ 『ジヨン イケナイッ』 トイッテ シカルト ホエルノヲ スグ ヤメマス。

コノマヘ ヒロチヤン ガ ジヨン ヲ ツレテ ヤマニ イッタトキ、ジヨン ハ ウサギ ヲ ミツケテ ヤマノ テッペン デ トウトウ ツカマヘテ シマヒマシタ。

ジヨン ハ ヒロチヤン ノ オトウサン ガ ガイコク ニ イッタ トキ ヒロチヤン ノ オミヤゲ ニ カッテキテ クダサッタ イヌデス。

カンガルーは 高飛びの レコードホルダー

動物の中でハイジャムプのレコードホルダーは何と言つてもカンガルー君でせう、皆さんの中にはどこかの動物園で此のカンガルー君を見た方があると思ひますが、寫眞でごらんの通り後脚がまことに長くピヨーンと一跳ね跳ねると八尺位の高さのものを平氣で跳び越えます、ところで此の動物のおかしなことは雌のお腹に袋がありその袋の中にお乳がぶら下がつてゐてこどもをこの袋の中に入れて育てるのです、變な動物ですねえ。カンガルーにはいろいろ種類がありますが大カンガルーは身長が四尺もあつて立ち上ると六尺位にもなります。此の動物は元來おとなしい動物でめつたにけんくわをしたりしませんが、どうかするとお互同志で大喧嘩をすることがあります、其の喧嘩がまことに珍妙で後脚をあげてムチヤクチヤに相手をひつかきまわし、ひつかかれた方も血みどろになつてひつかき返しますが、他のカンガルー共はそれをだまつて見物してゐる、そして負けた方がしまひに逃げだしてしまふ、其の逃げる格好はまことにこつけいださうです。

綴方

遠足

松林小學校三年 福田澄子

敷島廣場からでん車にのりました。水源地でおりて水道橋を渡つてすつと行くと、ぼくじやうがありました。そこには牛が一ぱいゐてみんな白と黒とのきれいな牛ばかりでした。牛がわは青々とした草がはえてゐました。そこに木がいつぱいうえてありました。

龍ケ岡についてすこしやすみました。はたけには、かんなやだりやや、百日草がさいてゐました。だんだんをおりて下の方には池もあり、まつかな花もさいてゐました。

小道を通るとどつちを見ても草や木ばかりでした。のう園にはいると色々の種類のぶだうがふさ／＼となつてゐました。りんごも、すずなりになつてゐてとてもおいしさうでした。

星ケ浦の山に來ておべんたうをたべました。そこでは西洋人がゴルフをしてゐました。そこでまめちやを一ぱいとりました。

それから星ケ浦にいつて海べであそびました。それから電車にのつてかへりました。昨日はほんとに面白かつたです。

雨ふり

松林小學校二年 濱崎ミツ子

私が學校からかへつてしばらくすると、雨がチヨボ／＼ふり出しました。

おかあさんに「雨がふりだしたよ」といふとおかあさんは、いそいでせんたくものをお入れになりました

その時に、かはいらしい子ねこがはいつてきたので「おかあさんねこがはいつてきましたよ」といひますと「さう、かはいさうだから入れておきなさい」とおつしやつたので、入れておきました。

そして、赤と青とのきれで、くびわをして、はめてやりました。

初秋

大連常盤小學校五年 齋藤匠一

今朝は、めつきり寒い、外に出て見た、秋風がひいやりほほに當る、山に登らうと思つて外に出たのであがる、あまり寒いのでもう行きたくなくなつた、思はず手がブル／＼ふるへる、おもてを牛乳屋が勢ひよくかけて通る、腕をくんだクリーが口から白い息を吹きながら通る。

どこかでブーと汽笛が鳴つた、山田さんの、お母さんが庭で落葉をはいて居る。

前の通りの街路樹はゆふべの霜にうたれたのか葉が黄色になつてゐる

二三歩あるいて見た、雀が屋根でさへづつてゐる。

懸賞童話（丙賞） 遊びに出る金魚

早水遼子

三人の子供達は出窓の上の四角い大きな硝子の鉢の中に、ゆらゆらと尾や鰭を動かして泳いでゐる金魚を見ながらお八ツを食べてゐました。

「ビスケツトおいしいな、僕金魚に分けてやらうかな、お姉さん、金魚ビスケツトを食べる？」五ツの定男さんが蝶子さんにきゝました。

「食べるかもしれないわ、でもやつては駄目よ、ビスケツトなんて人間のお菓子ですもの、金魚がおなかを惡くしますよ」十の蝶子さんはお姉さんぶつて敎へました。

「僕は金魚がいつも／＼小つぽけな鉢の中でよく窮屈しないと思ふなあ。僕だつたら退屈きちやうのになあ」八ツになる成吉さんは日に燒けた口のはたに餡こを附けたまゝ言ひました。

「あら、成ちやん、餡こが附いてゝよ、口の傍に」蝶子さんはさも可笑しさうに笑つてから、急に眞面目な顏付になつて

「私もさう思ふわ、同じ鉢の中にゐるばかりで、よく退屈しないわれ」と云ひました。

「金魚はいつも鉢にゐるのぢやありませんよ、成ちやん達が夜眠つてしまふと、金魚は鉢から出て公園の大きな池に遊びにゆくんですよ」その時まで部屋の隅で、子供達のお喋りも聞こへない樣子で新聞を讀んでゐらした叔父さんが急にかう仰有いました。

「本當？叔父さん、本當？」

「嘘だわ、又叔父さん私達をだますのよ」

「嘘ぢやない、本當とも、叔父さんが昨夜、夜中に見たら鉢の中が空つぽだつた」

「嘘だ、嘘だ、水が無いのにどうして公園まで金魚が行かれる？」

「嘘だわれえ」と三人の子供達は同聲しました。

「本當とも。水が無くともお月樣の光の中を泳いで行くのさ、この窓からお月樣が鉢の中に射し込むだらう、すると金魚達は大喜びでお月樣の光を泳いで公園のお池に行つて鯉と遊戲したり、鬼ごつこしたりして遊ぶのさ」

「ぢや僕達今夜寢ないでかくれて見てゐよつか」と定雄さんが言ひました。

「見てゐたら金魚は利口だから決して遊びに行かないよ、さうだ、好い事がある」と叔父さんは大きな聲で言ひました。

「なあに、どんなこと？」と子供達はお菓子を放つて叔父さんのまわりに集まりました

「今夜も、若し夜中に鉢が空つぽになつてゐたら、叔父さんがお月樣の光のさゝない所に鉢を持つてゆかう。すると金魚は窓まで歸つて來ても鉢の所まで泳いで行けないから公園に戻つてゆくよ、朝起きて鉢が空だつたら、お前達にも金魚が公園に行くことが分るだらう」

「だつてさうしたら、うちに金魚がなくなつちまうなあ」と定ちやんが心配さうに云ひました。

「大丈夫、あさつての晩、窓の所に置けば又歸つて來るよ」

「ぢや、さうしよう」子供達は嬉しさうに言ひました。

夜になると子供達はいつもより早く床に入りました。早く明日になれば好いと思つて、そして三ツ並んだ寢床の中で睡るまで金魚が明日の朝居るか居ないか話しあひました。翌日の朝一番先に目を醒ました成吉さんは、直起きて見に行きましたがやがてびつくりした顏つきで歸つて來ました。

「お姉さん、起きなさい、金魚がゐない、本當に居ない」

「えッ居ない？本當？」

三人の子供は寢卷のまゝぞろぞろかけ出しました。行つて見ると月の射さない部屋の隅に置かれた鉢には水だけ殘つてゐて、澤山の金魚は一匹もゐなくなつてゐました。口もきけない程驚いてゐると寢卷の叔父さんがのつそり入つていらつしやいました。

「どうだ。ゐないだらう」

「不思議だなあ」

「おかしいわれえ」成吉さんと蝶子さんは心から驚いた樣に言ひました。

「金魚又歸つて來る？」と小さい定ちやんは心配さうでした。

その時女中の千代が大きなお鍋を重さうに臺所から下げて來ました。叔父さんは急いで止めようとしましたが、千代は氣附かずに、

「叔方でせう、お鍋に金魚をお入れになつて」と云ひながらザアッとお鍋をかしげると、赤い金魚は美しく鉢の中を泳ぎ出しました。

子供達はワアッといたづらな叔父さんにかぢりつきました。しばらくは叔父さんの「痛い、痛い、ごめん、ごめん、あやまつた」などと云ふのが、子供達の明るい聲に雜つて聞えました。

滿日各地版

奉天

旅團演習了つて愉快な宿營
奉天に休養の將卒

第十六師團の旅團對抗演習は既報の如く十六日の拂曉戰を以て全く終局を告げ三千餘名の將卒は秋季演習中最も樂しかるべき奉天市內の指定宿所に散宿し一日乃至二日間の休養をなした

◇

七日間も十日間も殆ど不眠不休で何十里となく突破し追擊、突擊限りある身體を全く限りないほど動かし動かして疲れ切つてゐる身體を市民が心から迎へて吳れる家に休業する……これが最大の樂みである

◇

隨分お疲れでせう、どうぞお湯へ、何にもありませんがほんの粗末な料理ばかりで……どうぞごゆつくりお休みなさい……さ兄弟も及ばぬ心盡し……國家のためとはいひながら恰も家庭にあるが如きのこの親切に沈着て機敏で、豪膽であるさすが將卒も淚を以て感謝する

◇

十七日は秋には珍しい小春日和、各自私用をすましてニ々伍々市內を見物、買ひたいものは澤山あるが演習中荷物の多いのだけは一個人にとつて重大問題である塵紙、タオル位を求めて歸る

◇

愈々出立、各宿所では今後の辨當にと二回分も三回分も作つてくれるその厚意は有り難いがこれ又荷物の一となつてなるべく少くする、誠に有り難うございましたと宿所の所に氏名と手帳に控へて勇しく出立十七日夜揃つて北行長春方面に向つた一年に一度あるかなきかのこの宿營奉天市民としても大に記念すべき日である

梅蘭芳の興行 中止

張學良氏夫人于鳳至女史の主宰する遼寧水災協賑會は義捐金募集のため來月下旬北京から梅蘭芳を迎へて盛大な慈善演劇會を開催する豫定で準備中であつたが梅一座を招聘するには莫大の費用を要するといふので遂に中止することゝなつた、もかし梅蘭芳は天津興行中の收入の一部を義捐金に寄附することになつてゐると

飲食店への卸賣忌避
ケチな日本商人

奉天飲食店組合が時代の趨勢に順應して酒、醬油等の自家必需品の廉價仕入機關たる購買部を新設し顧客に對する利便を圖る計畫を樹てゝゐるに對し市中卸商並に輸入組合でもこれを喜ばず組合への卸賣を忌避する態度に出てゐるが、これに對し白石飲食店組合長は左の如く語つた

吾々のこの計畫は最初組合としては自衞的手段であり又顧客に對してはサービスの一つでもありしかも人氣商賣であるので市中の卸商とも協調して取引を決行しやうと思つてゐた、然る處卸商側は市價を亂すものなりとの理由で卸賣りを忌避され吾々の期待に反するやうになつた、吾々としても奉天に居住してゐる限り在奉商人相互扶助の精神から此話を進めたのであるがかやうな結果となつたのは遺憾千萬である、吾々の計畫に對しては大連からも撫順からも種々好意的照會に與つたのであるがかゝる意志で奉天で物品の入手が出來ない場合は他から購入してこの計畫を遂行する積りである

立川署長就任式
十七日同署の講堂で

半歲餘りで奉天署長は漸く決定した、署長に任命された立川俊三郞氏の就任式は十七日神嘗祭の佳節をトし嚴かに本署講堂に於て擧行された

久し振りに署長を迎へるやうになつた署長室は十七日は早朝より明け放されて塵一つなきまでに淸められ中央の署長席たる廻轉椅子は立川署長の出馬でどつかと腰が据えられ署長としての書類の整理をなし講堂に署員一同を集めてこれ又署長としての一場の挨拶で式が終り再び署長室に納まる、愈々落ちついた奉天署長である

邦人傷害犯人捕はる

十四日夜市內橘立町十三番地ヤマトホテル洋車取締人岸本淸八(四四)傷害犯人に關しては奉天署で引續き嚴探中であるが犯人はホテル出入の洋車夫北京生れ井福元外數名で共謀の上計畫的に行つたことが判明し直に逮捕に向つたが井福元は某方面に高飛びし殘る連累者數名を取押へ引續き嚴重取調べをなすと共に某方面に活動を開始してゐる

公安局長等八名戰死

新民縣第六區に去る十二日頭目大生子の率ゐる馬賊團百餘名が蒙古方面から來襲したので新民縣公安局長閔全斌は百名の公安隊を引率し現場に急行、賊團を包圍した處賊は民家土壁などの地物を利用して頑強に抵抗して屈せず激戰を續けた結果閔局長以下部下七名戰死し負傷者四名を出した、之がため新民駐在第廿五團第二營から一ケ中隊十四日應援に向ひ目下討伐中であると

八人殺し犯人に死刑宣告

本年五月九日職爭地浩然里の李鎭舟方の一家八人慘殺事件は稀有の大殘虐事として一世を戰慄せしめたが主犯王維國、鄧海泉の兩人は逮捕され奉天地方法院にて裁判の結果王、鄧二人の罪狀明白となり去る十三日死刑の判決を下され且つ懲治盜匪法によつて控訴を許さぬ旨宣告されたので右兩人の死刑は確定となつた

法廷便り

原籍和歌山縣、奉天紅梅町三三濱本權七(四七)は阿片取締規則違反で懲役六ケ月、二ケ年の執行猶豫、滋賀縣生れ住所不定早瀨隆一(三二)は橫領罪で懲役六ケ月、平安北道生れ崔奉寅(三四)は痲醉劑取締規則違反で罰金廿圓、同住所不定超基贊(二四)は懲役四ケ月一ケ月間の執行猶豫の判決言渡しが十六日出つた

人事

▲厚東旅順要塞司令官　十六日長春へ
▲國澤滿鐵事長　同上
▲佐藤安之助氏　同上
▲菊竹鄭家屯公所長　十六日四平街へ
▲青木奉天車輛事務所長　十六日歸奉
▲京城女子商業生五十八名　十七日朝來奉

瀋滴

立川警視も愈々署長室に納まつたが今まで署長代理をやつてゐたゝめ突然署長になつたからといつても一向署長として新しい氣分が湧き出ないよといつてゐる▲これぢや折角署長になり祝辭を述べても何も効果はないと考へてゐる有志は署長としての新しい感情を起させる何等かの方法を考究中であるから▲今に署長は勿論一般市民もハツとするやうな思ひ切つた何等かの方法がなされるであらう▲久しく門が鎖され空家同然となつてゐた署長官舍も一兩日中に門が開き煙突から も煙が出るやうになる▲これは立川署長並に署員一同の喜びばかりでなく市民にとつても最も喜ばしく心強いことだ

鞍山

市中側選手堂々凱歌を擧ぐ
全鞍山斷郊競走

鞍山體育協會運動部主催の第三回全鞍山クロスカンツリーは既報の如く十七日午前十時より陸上競技場に於て開催せられたが出場團體は庶務課、製造課、工作課、五星會、市中側の五團體百數十餘名の選手出場し久留島會長の挨拶あり直に競技開始せられたが日頃猛練習を續けた市中側選手は遂に榮冠を握り威風堂々として凱歌を揚げ扇屋に於て祝勝會を催したが盛會であつた此の日は祭日に當り絕好の運動日和に惠まれ一般觀衆多數にして頗る盛況を呈した

女生千山登り

奉天高等女學校生徒百數十名は十七日午前九時二十一着列車にて來鞍し製鐵所各工場を見學し小學校の講堂に一泊し十八日午前六時三十分發運鐵電車に便乘して千山の秋色を探るべく登山した

千山探勝會

大連營口方面よりの千山探勝會一行百數十名は十七日午前六時十分着列車にて來鞍し直に運鐵電車に便乘して大孤山に至り五佛頂無量觀等を巡り午後五時四十分歸鞍し湯崗子に向つた

石川氏夫人

鞍山地方委員副議長石川義助氏夫人は兼れて病氣靜養中の處藥石効なく遂に十七日午後死去したので十九日午後二時齋祭場に於て葬儀執行の筈

◇第二回戰
○小學校 ┌二一一四┐ 地事A○ ┌一一一七┐
○天狗倶 ┌二一一〇┐ 貨物係× ┌一一一九┐
○地事B ┌二一一四┐ 普通學× ┌一一一九┐
○公學堂 ┌二一一六┐ 市中× ┌二一一〇┐
◇第三回戰
○小學校(棄權)貨物係×
×天狗倶 ┌一〇一一┐ 地事A○ ┌二一一二┐
○地事B ┌二一一三┐ 市中× ┌二一一八┐
○公學堂 ┌二一一五┐ 普通學× ┌二一一七┐
◇順位戰
○小學校 ┌二一一九┐ 地事A× ┌二一一七┐
◇優勝戰
×公學堂 ┌一四┐ 地事B○ ┌一〇┐

弓道部納會

鞍山弓道部にては昭和五年度納射會を左記により十九日午前十時より滿鐵弓道部に於て開催する筈である
▲矢渡式橋本三段▲禮射各員一手▲金的三光各員一手▲競射二十射▲射割三個各員一手一本通し▲道中的十射▲納射▲賞品授與▲閉會

開原

全開原排球大會 地事B組優勝す
出場八チームの奮戰

全開原排球大會は既報の通り十七日午前九時より小學校々庭に於て開催し同九時半競技を開始し出場八チームは左の通り第一回戰第二回戰第三回戰の結果地方事務所B組公學堂の二チーム三勝にて優勝戰も地方事務所A組小學校の二チーム二勝一敗にて順位決勝戰を行ひ大接戰を演じ午後三時半終了優勝者地方事務所B組濱崎優勝カツプを受け其他第二位公學堂第三位小學校第四位地方事務所A組の四チームに夫々賞品を授與し萬歲を三唱して散會した

◇第一回戰
×小學校 ┌一一七┐ 地事B○ ┌二一一一┐
×天狗倶 ┌一六┐ 公學堂○ ┌一五┐
○地事A ┌二一一八┐ 普通學× ┌二一一七┐
×貨物係 ┌一九┐ 市中○ ┌一八┐

近松會記念會

開原近松會にては十八日が創立滿五周年に當るので午後六時より公會堂に於て記念大會を開催し盛會を極めた語り物左の如し
▲玉藻前道春館の段　芳悦▲太功記尼ケ崎の段　三枚▲菅原傳授松王丸敷　芳山▲忠臣藏二度目淸書(平右衛門切腹)小竹▲加賀見山亦助住家　鬼笑▲壺坂靈驗記澤市內　芳雀▲艶姿女舞衣酒屋の段　三木▲菅原傳授寺小屋　一瓢▲戀娘昔八丈鈴ケ森　舟月▲三味線ひさご、芳光

平岡女子來開

平岡喜智女史は嘗に學習院女子部の教職を辭し十數年來與京上落台に學寮を開き主として朝鮮人學生の世話をなしつゝあり今回學生達の修養と娛樂向上の爲め青年會館を建設せんとして鮮滿各地を巡歷中であるが十六日當地に來り各有力者を歷訪し後援方を依賴した

佟開原縣長

新任開原縣長佟玉堰氏は十七日第十七列車にて前任地鳳凰縣より着任した、開原驛頭には縣政府各委員公安局長其他盛んな出迎へがあつた

貔子窩

仲本前驛長

前貔子窩驛長仲本正秀氏は今回榮轉となり十五日午前八時當地發列車で家族同伴赴任したが驛頭には武波署長以下日支官民多數の見送りがあつた

十九日午後六時より公會堂に於てキング連載小說「鯰離女離」全二十七卷を上映公開すると

信而有徵
滿洲日日報社雅鑒
雪橋楊鍾羲

雪橋翁書展　二十、二十一の三日間本社に於て開催、楊鍾羲氏の書展

---

25 Nen おらが町の歩み (卅九)
本溪湖の卷 (2)

驛前滿鐵社宅街の存在は本溪湖のため遺感
たゞ徒らに夢みるだけの日支共存共榮の銀座通り
野村一郞氏寄

現在本溪湖太子河から牛心臺までの間にある溪城鐵路はこの奉安線のレールや列車をそのまゝに使つてやつて居ります。ついでにすから溪城鐵路に就いて少し語つて見ませう。この鐵道は牛心臺炭坑及び城廠方面の開發を目的として敷設されたもので、鐵礦の總辦大槻吉氏と本溪縣知事會長金品三その共同經營の下に成立して大正三年二月一日から運轉を開始したのです。そして大正五年の四月に全然この二人の關係を離れて、滿鐵と奉天鐵公司との合辦經營に移り同時に溪城鐵路公所と改名して今日に及んでゐるわけです。城廠までの敷設權は今でもありますが、ホア延長出來るでせうか現在の狀態から察しると到底實現は困難でせうれ。思はず話が橫道に外れましたが、鐵道の話はこれ位で止めて、再び町の話へ……。

附屬地の道路が出來た

のが四十三年だつたと思ひます。今の永利町通りが驛の前から觀光館料理店のあたりまでついて、現在の私の家と今の支那商店質增永の二軒だけが始めて建ちました。

またその時は旭町、桃月町方面は大和町からの山つゞきで丘陵地帶でした、これ等が町らしくなつたのは安奉線改築後の第二期工事からで、山をけずつて地ならしをした上、現在のやうな街が出來たのです、これがたしか佐多彥美氏の地方事務所長時代だつたと記憶してゐます。この附屬地經營で今なほ殘念に思はれることが一つありますが、それは驛前に住吉町の滿鐵社宅街が在ることです、これは昔の滿鐵が市街計畫とか將來の發展とか云ふ方面に餘り關心を持たなかつたが爲で、今少しの努力があつて欲しかつたものです。若し萬に永遠の市街繁榮に思ひ致して今の永利町を一直線に支那街へ貫通せしめて置いたならば、日支共榮の銀座通りが立派に出來上つて居たでせうに惜いことでした。次に社寺、學校、守備隊などに就いて話しませう守備隊――これは

戰爭直後に

は支那街に

一ケ中隊駐屯してゐましたが、三十九年九月?に大隊本部が置かれ連山關、賽馬集から各々一ケ中隊づゝ來て都合二ケ中隊があつたわけです、この大隊本部は現在連山關に移つてゐます。兵舍は現在地方事務所西方にある工事用材料置場の建物(一時日語學堂――公學堂――に使つてゐました)でしたが大正四年秋に神社山下の現兵舍を建て、移轉しました。神社の建つたのが大正三年、忠魂碑は明治三十八年四月建設、この碑に埋葬されてあつた骨は大正五六年頃安東に合祀されました、現在神社裏高地に臺石だけが殘つてゐるのがその跡です。寺院としては大德寺が最初で、大正元年十一月全本溪湖の寺として建立したものです。この寺にある不動尊は故大倉喜八郞氏の寄進にかゝる大正天皇御卽位記念の像であつて、なかなか立派で有名なものです。小學校は牽天の分教場として四十三年六月に設立されました、

現在校庭の公會堂側に

垣の礎掘して居る所がありますがあすこに建つてゐた一軒の煉瓦支那家屋が校舍になつてゐたのですこれはその後幼稚園に使用してゐたことがありますが取壞してしまひました。それも十五年程前のことです。公會堂は大正五年の建築ですが、その出來上る前色々な催しをする爲めには安奉線改築に使用してゐたセメント倉庫を使つてゐました、これは永利町田中熊藏商店の裏に在りましたが芝居も浪花節も皆この倉庫でやつたもので す。

× × ×

とりとめのない昔話ばかりをやつてしまひましたが、今度は色んな出來事(事件)等を話して見ませう……。

秋色深し―奉天東陵にて

本社敬老の喜字祝ひ 銀杯受領の人々
(9)
七十七及八歲

佐賀 嘉永六・一一・二三 大連桔梗町九六ノ二 西村タカ

神奈川 嘉永六・一一・一 大連山城町三ノ五 行谷クラ

福岡 嘉永六・[illegible] 大連[illegible] [illegible]

福岡 安政元・二・一一 大連[illegible]町一〇ノ一四 村田シナ

山口 安政元・一・二 大連[illegible] 山崎ヒナ

山口 安政元・二・二八 大連[illegible]町二〇一 吉中キヌ

石川 安政元・三・一 大連沙河口町 酒井セイ

福岡 安政元・四・二 [illegible] 佐藤マサノ

廣島 安政元・[illegible] 大連[illegible] 馬場イカ

兵庫 安政元・四・七 大連市[illegible]町一〇 矢野ヨネ

秋晴れに若人の尋駄天目覺まし

觀衆熱狂せる旅順戰跡リレー

長官盃 大連A倶樂部 旅順二中A組 獲得

關東廳體育研究所主催の第六回驛傳リレー大會は紅葉ゆる秋晴れの十七日午後二時三十分、旅順運動場を起點として全市の驚異的人氣の裡に擧行された、午後一時半參加二十一チームの出場選手百五名役員席前に集合、前年優勝チーム大連遞信、旅順二中兩チームより關東長官盃の返還後、中繼選手それぞれ自動車で各中繼所に運ばれ正二時半スタンドを埋めるファンの

拍手裡

にスタートした白玉山を登りつめるとき既にA倶樂部永谷トップを切り旅順實業河野旅順二中郭これに續き殿りの土木課Bと A倶樂部との差二百米突、十年町派出所の第一區中繼所にて先づ永谷、八重樫に代る所要時間二十七分五九秒、續いて旅順實業河野、一分十秒遅れて鶴飼に代り殿り土木B組一着との差八分三十七秒をもつて第二走者と交代、第二區は松樹山に登る全コース全部

上り坂

この間旅順實業八位に落ち關東廳宮崎、遞信松本力走し大連A、旅二中A、大二中に續き松樹山中繼所では大連A、旅二中との差四分、三時三十七分三十八秒滿電ラストを承つて第三中繼所體育研究所前に向ふ、十年町派出所前――松樹山間の急坂にそれぞれ應援隊を派遣して各チームとも聲援物凄い、大連A倶第三走者金光力走ますますその差を大きくし旅二中、大二中、關東廳の三走者

接戰し

應援の人々熱狂する、第五位にあつた遞信大塚旋れ十一位に落ちその他番狂はせもなく第四走者と交代、第一位のA組と殿りの滿電との差十一分五秒第四區たる體研――二〇三高地間は各チームともこゝを先途とせり合ふ、大連A倶樂部花田些か疲れを見せたが最早優勝確實である、旅二中A、大連二中、關東廳は各約二十米づゝの差をもつて進み、旅一中A組、師範學堂A組を抜き第六位となり前三者に迫る、A倶樂部四十六分三十六秒でアンカー大藪に代り續く各チームも

最後の

コースへと進み午後四時二十六分先づA倶樂部大藪萬雷の拍手裡にテープを切り、六分遅れて旅順二中A組到着し、大二中、關東廳併行してトラックに現はれ關東廳稍ゴール前で大二中を抜いて三着となり、滿電を殿りとして全チームとも元氣よく歸着、終つて各チーム役員席前に集合一般優勝チーム大連A倶樂部、學生優勝チーム旅順二中A組に長官盃を、その他各チームにそれぞれ賞品を授與し御影池會長閉會の辭を述べ天皇陛下萬歳を三唱して盛會裡に閉會した

到着順位

一般の部

▲一着大連A倶樂部（永谷、八重樫、金光、花田、大藪）一時間五十六分三十四秒（本會新記録）
▲二着關東廳（宮本、宮崎、中本樋上、積）二時間三分四一
▲三着大連遞信倶樂部（志水、松本、大塚、鈴掛、中本）二時間九分三十一秒四
▲四着綠倶樂部二時間九分四二秒四
▲五着旅順實業團二時間十一分四十八秒八
▲六着工大二時間十一分五十五秒八
▲七着大連土木課B組二時間二十分二十六秒
▲八着大連土木課A組二時間二十六分三十六秒
▲九着滿電二時間二十八分六秒六

學生の部

▲一着旅順二中A（郭、鶴飼、高）二時間一分七秒六
▲二着大連二中（深町、渡田、眞井、丁）二時間[illegible]六秒六
▲三着旅順一中A組（[illegible]五十嵐、山田、坂元）二[illegible]分三四秒六
▲四着旅順二中B組二時間[illegible]四秒四
▲五着師範學堂A組二時間[illegible]二秒四
▲六着旅順一中B組二時間[illegible]八秒四
▲七着大連商業二時間十[illegible]秒八
▲八着旅一中C組二時間[illegible]八秒八
▲九着師範學堂B組二時間[illegible]八秒八
▲十着師範學堂C組二時間[illegible]二十六秒
▲十一着附屬公學堂二時間[illegible]分二十六秒
▲十二着番外師範附屬[illegible]

6A―4

後半戰に形勢逆轉 早大軍涙を呑む

きのふの對慶應一回戰經過

全日本野球ファンをして極度に熱狂せしめた早大對慶大第一回戰は既報の如く十八日午後二時より明治神宮球場に於て全スタンドを埋めるファンの拍手聲援裡に天知（球）鍛村、横澤（壘）三氏審判の下に早大先攻で開始、劈頭早大三原の三壘打で先づ佐伯還り、續いて三原野選で生還二點を得、二回表またも早大二四球、一安打で一點を得てリードしたが、四回裏慶大多勢の疲れに乘じて三點を返して同點となり場内總立ちとなる、續く五回裏慶大三谷の左翼三壘打に二點を得て形勢逆轉し、早大となつて攻めたが宮武の好投に惱まれ、慶大八回またも一點を加へたるのち早大九回裏最後の反撃僅か一點を奪ひしのみで、遂に六對四で慶大先づ勝つ閉戰四時二十五分

（早大）										
回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
得點	2	1	0	0	0	0	0	0	1	4
（慶大）										
得點	0	0	0	3	2	0	0	1	A	6A

＝經過＝ △第一回 早大佐伯遊飛失に生き矢島のバントに二進し三原の右中間三壘打に佐伯生還、伊達の遊飛を牧野本壘に投じたが間に合はず野選となつて三原生還、佐藤右翼二壘打し走者三二壘に寄つたが多勢の投飛は伊達を三本間に挾殺し今井遊飛▲慶大堀右前單打したが楠見の一壘直球に重殺山下二飛失に出たが井川投飛
△第二回 早大富永、西村ともに四球に出で佐伯左飛、矢島三邪飛、[illegible]二飛、矢島一飛して入らず▲慶大山下四球、井川三壘左を抜いて續き三谷のバントに走者三二壘に進み小川四球で一死滿壘となり宮武（川瀬代打）萬場の拍手に迎へられてボックスに立つたが三飛、次打者上野一ボールの後梶上代り四球を得、山下を押し出し牧野の右前單打に井川、小川ともに還り同點となる堀左飛
△第五回 早大（慶大宮武投手水原三壘となる）三原四球伊達三振のさき二盜し佐藤も四球に續いたが多勢三振、今井左翼直飛▲慶大楠見中前單打に出て山下四球（早大多勢退き小川投手となる）井川バントで走者進壘し三谷の左翼三壘打に楠見山下還る、三谷の代走本鄕は小川の三振の[illegible]とき本壘を衝いたが一壘の送球に重殺、慶大二點を勝ち越す
△第六回 早大（慶大岡田捕手、富永遊邪飛、西村一邪飛、佐伯遊飛でこの回はじめて走者を出さず▲慶大宮武遊飛水原左中間二壘打し牧野四球に續いたが堀三振、楠見の二飛に牧野三壘に封殺
△第七回 早大矢島四球に出で三原の右飛後伊達中堅單打したが佐藤三振、小川（嘉代打）左飛▲慶大（早大小川投手となる）山下二飛井川遊直飛、本鄕二飛
△第八回 早大（慶大高橋右翼、堀左翼となる）今井、富永ともに遊飛せるのち西村左中間に二壘打したが佐藤四[illegible]して空し▲慶大（早大村井一壘に入る）岡田第一球を右翼に三壘打し宮武の三[illegible]後水原のスクイズプレーを小川本壘に投じたが間にあはず岡田生還、水原一壘に生き牧野の三飛に二進したが堀左飛
△第九回 早大最後の攻撃に入り矢島右前單打、三原四球に無死一二壘を占め伊達投飛、佐藤二直飛に二死となつたが小川中堅に單打して矢島還り、三原三進（小川の代走島田）なほ有望であつたが今井の中堅大飛球を楠見後走好くこれをとらへ萬事休す

大藏盃は紫組に

十七日の滿鐵色別庭球戰

滿鐵色別け部内對抗大藏盃爭奪軟式庭球戰は十七日午前九時から北二條滿鐵コートで擧行されたが、滿鐵の健鬪も空しく中央試驗所、販賣部等の繼續を擁する紫組斷然強味を見せ、本年も再び勝利を擁る閉戰五時、成績左の如し

一回戰

（紫）		（綠）
高川久保	二―四	阿部長沼
工藤木	四―一	大石伊藤
佐藤石	四―二	菊地川原
吉岡下重丸	四―二	仲本津島

（橙）		（海老茶）
大高安藤	四―一	三科林
工大石	四―三	阿部長沼

（青）		（白）
中根島本	四―〇	德永小野寺
津田本田	三―四	笠原森田
萩原廣瀬	四―三	山田
野添常松	四―三	堺地米川
川上住田	四―一	森木鈴根
根本中島	四―二	三原笠田
門江永脇	〇―四	森田
		堀芹澤

二勝戰

（赤）		（橙）
村上土井	四―二	竹田江頭
岡見仙頭	一―四	豆谷宮澤
古西今村	四―四	前田築地
內谷關村	四―三	島末阿蘇
村土井上	一―四	堀芹澤
內谷關村	四―二	前田築地
關谷	四―三	堀芹澤

（黄）		（青）
川原印牧	三―四	內瀬廣藤
重松岡山	四―二	川上住田
二見薩山	四―二	萩原常松
齋藤田川	二―四	根本中島
北川酒井	四―二	津田橋本

決勝戰

（紫）		（青）
吉丸下重	四―二	內瀬廣藤
大高安藤	二―四	津田江本
工藤大石	四―一	川上住田
高川久保木	四―二	中根島本
佐藤岡	四―三	萩原常松
吉岡下重丸	四―一	津田江本

（赤） 松岡重山 四―二 廣瀬內藤／二見薩山 一―四 中根島本／北川酒井 三―四 中根島本／重松岡山 一―四 中根島本

紫、青の二勝戰は青組棄權して紫組の勝となる

老いの眼に感謝の涙

日出町婦人會の敬老會盛況

日出町婦人會主催の敬老會は十八日午後二時半より日出幼稚園の講堂で開催された、この日は婦人會總動員のありさまで手さり足さるやうなゆき屆いた會員の接待ぶりに集まつた六十餘名の老人たちはいづれも感謝の涙さへたゝへてお菓子や折詰を開きながら心づくしの餘興に打興じて午後六時和氣藹々裡に閉會した、滿鐵よりは野地地方課長、勞務課長代理の堀義雄氏等多數來賓の臨席があつた。

【寫眞は婦人會合唱團のコーラス】

冬ごもりを控へて 壯んな商人の武者ぶり

行く末を悲觀の態

石炭需要家にはトテも嬉しい話

―(C)―

冬の脅威を前に各家庭では暖房設備が一心配である、今市中職人でストーヴ屋さんが一番元氣よく實出官傳に大活躍してゐるが附きもの、石炭の方はさみれば、市內八軒の特約販賣人は「まあ十一月中頃からですな」と暢氣なもの滿鐵から特定された石炭販賣人に

大連市內一冬に使ふ家庭用炭は約十三萬噸見當、滿鐵關係以外の工場で一年十萬噸で、年々[illegible]も

[illegible]人の需要もまた[illegible]

◇――◇

借家から何からお指圖通りで、內地の煙草屋さん同様販賣競爭も出來ない人だからおちついてゐるのも無理はない

◇――◇

い勢ひで家庭が增築されるし從來のペチカ等が段々なくなつて灑水暖房、スチームに變つてゆく今日家庭用石炭の需要は正比例して殖えても一噸や二噸は殖えてゆかなくてはならないのだが事實は反對「本年は昨年同様暖かい冬だつたら需要は一割位減るでせう」

◇――◇

現在撫順炭で持込價、塊炭が一噸當り十六圓、中塊炭が十六圓三十錢切込が十三圓五十錢、最低の粉炭が十二圓七十錢だが本年から始めて二號塊炭が十圓七十錢、三號塊炭が九圓七十錢で賣出された、これは少し大塊りがある位のもので家庭用炭として十六圓の塊炭と品質は大して變らない、使ふ際に碎いたりするのに少し手間がかゝるが何分三分の一安いのだからボイラーなんかに支那人ボーイを一人餘計に使つてもお話にならぬほど得だ。

と石炭屋さんは行く末を悲觀の態である

「大連の家庭炭の需要は大體日本人が六分、支那人四分と思つてゐますがこの銀安のため支那人側の石炭使用がぐつと減ると思ひます、今まで石炭を焚いてゐるところもキビ殼なごで濟ませるでせうし、また銀安の結果支那側の復州無煙炭が一噸位入つて來てゐますからね、これは一切洋錢ですから支那人にとつては可成り利益でせう」

◇――◇

と石炭屋さんの話は續く、だがこの冬石炭を焚く各家庭にトテも嬉しい福音を紹介しやう。

「從來大連は精炭許り賣るとになつてゐたのですが今冬から塊炭をも賣ることにし二號、三號塊炭が出來たのです、別に內地炭や他の石炭が入つて來るから對抗の意味でもありませんが要するに滿鐵が不況の折柄消費者へコウいふ格安の製炭を賣始めたのです、だから未だ値下げこそしないが事實三割以上の値下げをしたのも同樣です」

シベリヤ横斷の航空路開設

ロシヤが關係機關に訓令 歐亞愈よ距離短縮

【東京十七日發電通】最近其筋に達した情報によるとソウエート聯邦では明年よりシベリア横斷歐亞連絡飛行を開始する事に決定し、それぞれ關係機關に訓令を發した由である、同航空路開設のうへは一週に三回の豫定を以て實施されるものであるから歐亞旅客並に郵便物の輸送はまさに新時代的進歩を示す事となるであらうと

北滿のペスト 死亡者は三百名

四洮沿線で又復五名罹病し 東鐵防疫に心を碎く

【ハルビン十七日發電通】北滿防疫局發表によれば北滿全體の今日までのペスト死亡者總數三百名、最近四洮鐵道沿線で又復五名死亡し結氷期を控へ益々猖獗の恐れあり東鐵醫務局で會議を開き防疫に腐心して居る

無殘六名燒死す

澁谷の放火

【東京十七日發電通】十七日午前四時四十分ごろ市外澁谷町公會堂通り織村ゴム會社工場から發火全燒したが、二階に寢てゐた管理人御園生弘（四）の妻フク（四〇）長男寬一（二）次男秋弘（八）四女ヒロ（三）及び雇人長谷川[illegible]太一（二）の六名は無殘の燒死を遂げた、取調の結果同家鶏小屋に去る九月解雇されし職工齋藤信一郎（三）が縊死を遂げてゐたが、齋藤は十六日夜一升德利を携へ御園生方を訪ひ醉つて泊り込んだ男で計畫的に放火し自殺したものである、主人弘と長女ミヨ子（一）三女ナガ子（七）三男昌實（四）は辛くも難を免れて避難した、殊に長女ミヨ子はナガ子を起して先づ二階から飛下りた勇敢の行動は稱讃されて居る、犯人は解雇以來自暴自棄的に酒ばかり飲んで居た事も判明した

映畫名優の裏面

及川道子、林長二郎等一流俳優の家庭のぞき、赤裸々な話、讀談倶樂部十一月號の特輯記事はファンの間で大變な評判！

香椎丸に長久丸衝突

十七日大連港で

十七日午前十時四十分大連入港の日出汽船株式會社所有長久丸（二千九十六噸、船長常谷孫吉氏）は內港に投錨の際誤つて三埠頭の先に繋がれてゐた八幡製鐵所々有香椎丸（三千百七十三噸、船長森脇直枝氏）の船尾に衝突し長久丸は五千圓、香椎丸は三千圓程度の損傷を被つた當日の如き無風晴天日に衝突したのは全く長久丸の方に責任があるといはれてゐる

お菓子で偉人は
南國特産
ボンタンアメ
全國到る菓子店にあり
用トツケポ 大十錢小五錢
鹿兒島製菓株式會社

實行委員をあげ四項を要求

學生聯合委員會協議の結果 早大の入場券騷ぎ

【東京十七日發電通】早大學生聯合委員會は十七日午前十時より緊急委員會を開き協議の結果、早慶戰入場券問題につき實行委員をあげて左の四項を學校當局に要求した

一、犧牲者を出さざる事
一、全部を入場せしむる事
一、聯合委員會の設置を認める事
一、學校當局に於いて陳謝する事

しかして一方昨夜體育會の聲明せる「體育部員二千名をこれとは別個に入場せしむる」といふ事は全學生に對する裏切行爲であるとなし極力これを阻止する事となり、體育會所屬の委員は別個的に各部に運動を開始し、相撲部柔道部は既に體育會に反對の態度を表明し斯て本問題は學校當局に對する學生自治權擁護の運動化さんとし成行注目さる

九谷燒商や窯元全滅か

北陸方面の地震被害甚大

【金澤十七日發電通】今朝北陸方面を襲ふた强震により石川縣能美郡小松町方面の被害は相當甚大にて同町內物產陳列所の陶器全部破壞し損害數千圓のほか小松町の各陶器店は殆ど全部損害相當に上つてゐる、また能美郡寺井野町では九谷燒窯元及九谷燒商の窯及び九谷燒殆ど全部全滅に瀕し、その損害巨額に達すべく、また溫泉地山中、山代方面も電信電話不通で詳細知り難きも損害相當甚大ならんと憂慮されてゐる

片山津の慘狀

【金澤十七日發電通】片山津溫泉地は地盤軟弱の爲め被害も多く全地域に亘り二、三寸方低下し最も甚だしきは大聖寺川水電出張所の七寸低下である、全町數十ケ所は各所に約三寸位の龜裂を生じて水を噴出し溫泉湧出量は俄に增加を見てゐる、なほ片山津町神山治作（二）は離れかゝつた金庫の下敷となり慘死

滿鐵大勝す

對大商ラグビー

大連滿鐵對大連商業のラグビー蹴球戰は十七日午後二時より大連運動場においてレフェリー金川氏、線審古瀬、稲田兩氏、滿鐵のキックオフで開始されたが四十對零にて滿鐵大勝す、閉戰同三時五分

滿鐵 40｛24／16｝0｛0／0｝大商

▲前半滿鐵二分關田、七分尾田（ゴール成る）二十五分再び尾田（ゴール成る）二十八分清田それぞれトライして十六點を先取し
▲後半九分森高、廿五分小數賀（ゴール成る）廿七分森高（ゴール成る）廿八分、清田廿九分、清田（ゴール成る）とトライ、廿二分には高橋のペナルチーゴールもあつて廿四點を占む

滿鐵
FW 松田橋愛賀高田田倉
HB 浦網原漫島井野田[illegible]
TB 渡高小森清尾高
FB 草
[illegible]

大商
FW 本塚野崎村田沼田橋中松川藤輔川
HB [illegible]
TB 川大天野木澤小前中田高深內小金
FB [illegible]

辯護士會臨時總會

關東州辯護士會では來る廿四日關東廳に於て開催される司法官縣護士協同協議會に提出する議案に就き十八日正午から大連地方法院內で臨時總會を開催協議した

妻シマヽヒ儀永々病氣の處養生不相叶本十七日午後八時死去致候に付此段謹告候也
追而葬送の儀は明後十九日午後二時自宅出棺[illegible]に於て佛式を以て執行可仕候
十月十七日
夫 石川義太郎
親戚總代 月隈臺助
林清勝
間野山松
友人總代 加藤政八
增田直次

海の唄（一八八）

仲木貞一作　林唯一畫

反感（三）

青木に伴れられ和雄は、ダルチヤンへの途中もう、青木の口にされた女が京子であると斷定してゐた。で何の苦もなく一途に迫寄つてくる京子への感懐で、和雄は眼が眩むやうに歡喜に襲はれた。

「こゝだ、和雄君、ちよつと風變りな家だらう！」

青木は馴れ〳〵しくダルチヤンの扉に寄りかゝつた。

と、中から斷髪の洋裝が二人を抱くやうに扉に身を寄せて媚た。

「マア、今晩は……」

青木は何の苦もなく醉に任せて姑娘の手を握つた。

「君んとこに關西から來た婦人がゐたね？今夜は、あの人に逢ひに來たんだ」

青木の臆から拂といつた調子にその姑娘はちよつと不意打ちを喰つた形だ。

「さう、どうか知りませんけど…まあ、おは入りになつては……？」

と、冷たくあしらつて、姑娘は先へ扉から離れた。

和雄は青木の後の方で、何か錯戀の姑の睫毛を眼の端まで感じたやうな氣持ちに襲はれた。

二人は二階へ案内されると、青木だけは安心したやうにクッションへ身を投げた。

が、和雄は、まだ、うろ〳〵して落ち付けないで起つてゐた。

「訊いて來てくれ、若しゐたら、ちよつと僕が逢ひたいからつて云つてくれ給へね」

青木の親切な態度に、和雄は感謝したいやうな感情がこみ上げてきた。

「これで若し京子が上つてきた時その時はどうなるんだ？」

と和雄は思ふと、サロン、ミルで見た月枝の姿のやうに、判然と京子の姿が眼に見えてきた。

その時、トン〳〵と階段を上つてくる氣配を感じた。

「京子ではないか！」

といふ深い驚愕に慄懼されるになる。

サッと階段の口へ現れた姿を縮むやうにして見ると、それは、さつきの姑娘だ。

青木が注文したものを左手で支へながら、微笑してゐる。

「お氣の毒さま。あの方は、もう一ケ月位前にやめて、何でも今ぢや阿佐ケ谷とかで愛の巣の女主人公ださうよ」

「なんだ、さうか。もうやめたんか。つまんれいな」

青木は憮になつたまゝ、かう云ふと、ちらつと和雄を見返つた。

「君、君のその女は何て云ふんだれ？」

と青木は不審に訊れた。和雄は逆に諒察るやうに躊躇した。

「ね、君、なんて云ふんだい？」

和雄は、もう、再び青木の執拗さを躱る勇氣がなくなつた。

「京子っていふんです」

と、羞恥んだ。

「京子さんなの！」

その時、突拍子に、その斷髪が二人の會話を遮つた。

「あの方なら、うちへよく來た眞野さんって工學士の方と一緒になつてますわ、ちよつと魅惑的な方。人ずれのしない處が……」

和雄は、まるで豫期しないものが飛込んだ時のやうな、突飛な感懐で心の底までえぐられるやうな氣がした。

「君は、そ、その居處を知つてるかれ？」

と、和雄は要求が、やり急ぎすぎたかも知れないと云ふ風に急き立つた。

「さあ、どこか知らないんですが……」

呆氣ない返事が、和雄を再び絶望の深淵へ蹴落した。

「そもて、また、京子といふ風の様な存在との間に、取除かれない隙壁が隔間なく立て込まれた。さうした暗い絶望の闇の中へ幽閉されて、頭から水を浴びせかけられた時のやうな戰慄が彼を戰慄させた。

新刊紹介

▲批判（十月號）政治家登錄法案（如是閑）所謂「學生思想問題」の歴史的考察（長谷川萬次郎）社會的自由の一範疇としての大學の自由（井口孝親）板橋倫行氏の批評に答ふ（瀧川政次郎）阿房宮を脅かすロシア秘書（鈴木某）ラジオ無線事件に就て（鹽谷某）其他（四十錢、東京市外中野町批判社）

▲第一歩（十月號）われらの秋（卷頭言）らつきようの皮をむく（小砂丘忠義）治子さんと僕（江馬修）熱病時代（峠乙彦）働く人々（門脇英鋪）少年の頃（櫻井忠温）其他（廿錢、東京市神田錦町郷土社）

▲郷土（創刊號）宣言（郷土教育聯盟）郷土を如何に見るか（新渡邊、白倉、三浦、長谷川、下田土居）郷土教育の重要性と實施案（篠原英太郎）ソウエート・ロシヤの郷土地理的研究（茂木威一）郷土音樂の移動とその分布について（田邊尚雄）その他（三十五錢、東京神田區北甲賀町刀江書院）

▲考へ方（十一月號）卷頭言（社同人）如何にして數學の實力を涵養すべきか（懸賞論文二等當選東京川井康文）受驗英語私見（清田武夫）その他高等專門學校入學準備のための懸賞問題を滿載した受驗生必讀の雜誌（四十錢東京神田一ツ橋通り考へ方研究社）

▲拓殖公論（十月號）偉大なるスラブ民族（卷頭言）倫敦條約の成立まで（若槻禮次郎）協力精神の勝利（幣原喜重郎）倫敦條約の感懐（松田源治）侵略外交の時代去る（山縣五十雄）間島問題の回顧（篠田治策）滿鐵の減收整理其他（大平駒槌）

▲ジヤーナリズム（十月號）編府なへコましたのは新聞の力（篠山醒客）新聞雜誌の編輯責任は誰が負ふべきか、新聞に不景氣なし（高木利太）新聞人過去帳（荒木武行）新聞隨想（小川渉）新聞記者列傳（鴨居悠）海外邦字新聞めぐり（松枝保二）其他（四十錢東京本郷新聞評論社）

▲フイルハーモニー（十月號）殺戮者としての音樂家（服部龍太郎）秋の歌（小栗孝則譯）詩人的音樂と諸家的音樂（横山喜之）歐洲雜影（佐藤秀郎）新響の立場（近衞秀麿）其他（廿錢東京荏原町中延新交響樂團）

▲同仁（十月號）秋に寄す（卷頭言）支那の醫學界と文化事業、支那民族は何故亡びぬ乎（上田恭輔）上海の醫學校、病院參觀記事（下瀬謙太郎）其他（廿五錢東京神田北神保町同仁會）

▲土木建築雜誌（十月號）技術關係大會を企劃せよ（社說）日本の河川における洪水式（久永勇吉）子午線略測法（石橋絢彦）其の他（六十錢東京市神田區錦町シビル社）

▲婦人新報（十月號）全國町村の婦人は公民權を要せざるか（久布白落實）日本廢娼運動物語、全國總立ちの酒なし日（全國支部）公民講座（ガントレット恒子）其他（廿錢東京市外大久保百人町其社）